SPORTS PROMOTION COMPANY

問合せ先：東京都生活文化スポーツ局スポーツ総合推進部スポーツ課
〒163－8001　新宿区西新宿二丁目8番1号
TEL　03－5320－7847

令和4年度　東京都スポーツ推進企業取組事例集
東京都生活文化スポーツ局

令和4年度　東京都

スポーツ推進企業取組事例集

実践

◆階段の利用促進

◆オフィスでみんなで体操

◆オンライントレーニング

◆スタンディングミーティング

◆スポーツイベントの実施

◆障害者アスリートの雇用

支援

◆アスリートの応援支援・スポーツ大会の協賛

◆ボランティアスタッフの派遣

東京都生活文化スポーツ局
Bureau of Citizens, Culture and Sports

はじめに

東京都では、企業等におけるスポーツへの意欲を高めるために、従業員のスポーツ活動を推進する取組や、スポーツ分野における社会貢献活動を実施している企業等を「東京都スポーツ推進企業」として認定する制度を平成２７（２０１５）年に創設し、今年度は３６６社をスポーツ推進企業として認定しました。

認定した企業の取組は多岐にわたっており、ルールに基づいて勝敗や記録を競う競技性の高いスポーツの実施のほか 、健康づくりのため仕事中に 意識的に身体を 動かす取組も多く見られました。

具体的な事例として 、オフィスの階段昇降や自転車通勤の奨励、従業員に貸与したウェアラブル端末やアプリを活用した社内のウォーキングイベントの開催、コロナ禍における新しい日常を踏まえオンラインも活用したラジオ体操や定期的なストレッチの実施などがあります。

また、社会貢献活動の例として、共生社会の実現に向けた障害者スポーツの大会への協賛や競技体験の実施、アスリートの雇用、スポーツを通じた地域の方々との交流などもあります 。

これら推進企業の取組を広くＰＲするとともに、今後の企業におけるスポーツの活動に生かしていただくため、事例集として取りまとめました。

本事例集が、今後の企業におけるスポーツの取組の継続・発展に寄与するとともに、従業員やその家族の健康増進につながれば幸いです。

令和５（２０２３ ）年3月
東京都生活文化スポーツ局

目次

東京都が考えるスポーツの範囲・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

令和４年度東京都スポーツ推進企業認定制度の概要・・・・・・・・・・・・ 4

令和４年度東京都スポーツ推進企業交流会・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

令和４年度東京都スポーツ推進モデル企業取組事例

〇殿堂入り企業

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社・・・・・・・・・・・・・・・ 6

〇実践（五十音順）

① エームサービス株式会社 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

② ジェイレックス・コーポレーション株式会社 ・・・・・・・・・・・ 10

③ 株式会社 JAL サンライト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

④ SOMPO ひまわり生命保険株式会社・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

⑤ 明治ホールディングズ株式会社 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

⑥ 株式会社メディヴァ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18

〇支援（五十音順）

① ケイアイスター不動産株式会社・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20

② 中外製薬株式会社・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

③ 三井住友海上火災保険株式会社・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24

④ 株式会社ルネサンス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

令和４年度スポーツ推進企業取組事例（五十音順）・・・・・・・・・・・ 28

令和４年度スポーツ推進企業一覧（五十音順）・・・・・・・・・・・・・ 118

令和４年度東京都スポーツ推進モデル企業選定委員会・・・・・・・・・・ 120

東京都が考えるスポーツの範囲

スポーツの範囲

スポーツには「遊びや楽しみなどを目的に行う身体活動」も

東京都では、「スポーツ」の範囲を野球やサッカーなどの運動競技だけでなく、健康を目的に行う身体活動、遊びや楽しみなどを目的に行う身体活動まで、幅広く含むものと定義しています。

「身体活動」を「スポーツ」に、キーワードは「計画性」と「継続性」

また、ルールに基づいて勝敗や記録を競うものだけでなく、気晴らしのための散歩や、通勤途中に歩いて階段を昇るといったものまで、計画的に、継続的に実施している身体活動を幅広く「スポーツ」をしてとらえていきます。

東京都が考えるスポーツの範囲

令和４（2022）年度東京都スポーツ推進企業認定制度の概要

事業内容

「東京都スポーツ推進企業認定制度」の目的

企業のスポーツに対する社内外への積極的な取組を認定し、広く都民に周知することで、働き盛り世代のスポーツ活動を推進するとともに、スポーツに対する社会的気運の醸成を図る。

「東京都スポーツ推進企業」とは

従業員のスポーツを通じた健康増進やスポーツ活動の促進、アスリート雇用や競技大会への協賛等に取り組む企業等のうち、東京都が認定したもの

認定された企業には

〇認定証・認定ステッカーの交付
〇都ホームページ等において社名等の公表
〇交流サイトの利用、Enjoy Sports カタログの利用　等

「東京都スポーツ推進モデル企業」とは

認定した企業のうち、特に先進的な取組や波及効果のある取組を行っている企業等
（学識経験者を含む選定委員会を経て、東京都が決定）

選定された企業には

〇表彰
〇都ホームページや都スポーツイベントで取組内容の公表　等

「東京都スポーツ推進殿堂入り企業」とは

累計５回「東京都スポーツ推進モデル企業」に選定された企業

参考：令和３年度表彰式

募集対象

都内に本社、事業所を置く、社団法人、財団法人、NPO 法人　等

認定期間

１年間（更新可）

スケジュール

令和４年	８月 16 日～10 月 28 日	東京都スポーツ推進企業募集
	10 月 12 日	東京都スポーツ推進企業交流会
	12 月	東京都スポーツ推進企業認定
令和５年	１月	東京都スポーツ推進モデル企業候補選定
	３月	東京都スポーツ推進モデル企業選定
		東京都スポーツ推進モデル企業表彰式

令和４年度東京都スポーツ推進企業認定数	366社
令和４年度東京都スポーツ推進モデル企業	うち 10 社
東京都スポーツ推進殿堂入り企業	うち　１社

関連ホームページ

◆スポーツ TOKYO インフォメーション「東京都スポーツ担当推進企業認定ホームページ」
https://xn--sports-tokyo-info-8939ay489c.metro.tokyo.lg.jp/company/
◆東京都スポーツ推進企業交流サイト
https://www.sportscompany.metro.tokyo.lg.jp/

令和４年度東京都スポーツ推進企業交流会

スポーツを通じた従業員の健康づくり等を積極的に行う企業同士が情報交換等を行い、
今後の取組に活用していただくため、対面式とオンライン形式で開催しました。

交流会スケジュール、開会から閉会まで

開催日　：　令和４年 10 月 12 日（水）
場　所　：　東京体育館メインアリーナ
構　成　：　第一部　基調講演、プレゼンテーション（オンライン配信）
　　第二部　スポーツ・レクリエーション実演、情報交換・交流

第一部

〇主催者挨拶
・生活文化スポーツ局スポーツ総合推進部スポーツ課地域スポーツ振興担当課長　南　友和

〇基調講演
・東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社　合田　一朗 代表取締役社長
テーマ「社員一人ひとりの健康維持が経営の重要なテーマ
～ウェルビーイング宣言～ で取り組む健康づくりの推進」

〇プレゼンテーション（推進企業の企画担当者による事例紹介）
・山本光学株式会社　テーマ『身近なところで身体を動かす習慣を定着～足は第二の心臓～』
・株式会社 協和　　テーマ『毎朝、全員参加のトレーニングで働く世代に習慣を！』

第二部

〇スポーツ・レクリエーションの実演
・一般社団法人世界ゆるスポーツ協会
『AR ゆる スポーツ体験・レクリエーション体験』

〇情報交換・交流
・プレゼンターや東京都スポーツ推進モデル企業担当者※1等との
意見交換や参加者同士の情報交換等

※1 ご協力いただいた企業 16 社（50 音順）

・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
・アクサ生命保険株式会社
・株式会社朝日新聞社
・株式会社イトーキ
・エームサービス株式会社
・大塚製薬株式会社
・株式会社 CAC Holdings
・野村不動産ライフ&スポーツ株式会社
・日本航空株式会社
・日本生命保険相互会社
・株式会社パソナグループ
・一般財団法人 明治安田健康開発財団
・公益財団法人 明治安田厚生事業団
・明治安田生命保険相互会社
・山本光学株式会社
・株式会社ライフィ

※基調講演やプレゼンテーションの資料、交流会の様子を動画公開しています。以下のサイトからご覧ください。
https://www.sports-tokyo-info.metro.tokyo.lg.jp/company/kouryukai_2022.html

Information　※東京都スポーツ推進企業にご利用いただける事業

Enjoy Sports 派遣カタログ
オリンピアンなどによる講演、実技指導、
セミナー等に、インストラクターを派遣します
※初回は無料で利用できます。

推進企業交流サイト
推進企業のスポーツに関する
取組等の発信、企業間の情報
交換ができます！

殿堂入り
東京都スポーツ推進モデル企業

東京都スポーツ推進殿堂入り企業

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

東京都主催イベントにブース出展！

東京都主催で 2022 年 8 月に行われた「TOKYO パラスポーツパーク＠駒沢公園」、「東京パラリンピック 1 周年記念イベント＠有明アリーナ」にてブース出展し、当社所属古崎倫太朗選手による車いすバスケットボールシュート体験や、所属選手の紹介パネル・競技グッズの展示を行った。

FIS女子ジャンプワールドカップ2023札幌大会に協賛！

2023 年 1 月に大倉山ジャンプ競技場（北海道札幌市）にて開催された「FIS 女子ジャンプワールドカップ 2023 札幌大会」にメインスポンサーとして協賛。

本大会には、当社所属の櫻井梨子選手も出場した。札幌支店の社員を中心とした、櫻井選手の応援団「AD 梨子サポーターズ」が応援に駆け付けエールを送った。

あいおいニッセイ同和損害保険
MS&AD INSURANCE GROUP

企業データ	
所在地	渋谷区
業種	損害保険業
従業員数	16,596 名

力を入れた取組

車いすバスケ・秋田啓選手がドイツブンデスリーガに挑戦！

2022年9月より、車いすバスケの秋田啓選手が、ケルンを本拠地とするドイツ最大のクラブチーム「９９ｅｒｓ」に加入し、ブンデスリーガに参戦している。秋田選手は海外現地法人に人事異動、会社として前例のない中、所属選手の新たな海外での挑戦をサポートしている。

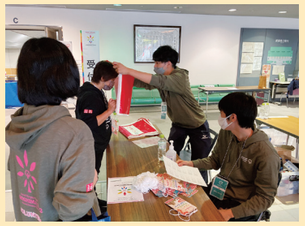
川内優輝選手との「マラソンキャラバン」を全国で展開！

プロランナー川内優輝選手と当社が協働で行うマラソンを通じた地域貢献プロジェクト「マラソンキャラバン」は、コロナ禍で大会中止が相次ぐ中も、講演やランニングイベント等、工夫をしながら続けている。今年度は、北海道から沖縄まで全国各地で18回実施した。

その他の取組

「スペシャルオリンピックス2022広島」をボランティアでサポート！

2022年11月に開催された「スペシャルオリンピックス2022広島」に、地域の社員約30名がボランティアとして参加した。なお、大会では当社所属の海老澤京子選手が卓球・ダブルスで優勝し、2023年「スペシャルオリンピックス夏季世界大会（ベルリン）」日本代表に選出された。



国体・全国障害者スポーツ大会への協力

2022年10月に開催された「いちご一会とちぎ国体」にて、当社ブースを出展した。ブースではボッチャ体験等のコンテンツを用意し、500名の来場があった。また、両大会には所属選手5名が出場。国体・競泳では東京都代表として2名が出場し、リレー3種目で優勝する等活躍した。他にも2024年開催地である佐賀県では選手育成指導や機運醸成事業へのサポートを実施している。

＼ 担当者の声！ ／
STAFF'S VOICE

オンリーワンのスポーツ支援

当社の活動は、「スポーツ×SDGs」を標榜し、地域と連携したCSVの活動につなげています。これはSDGsと連動した持続可能性を追求した取組を展望している証左かもしれません。私たちは「アスリート支援≒スポーツ支援」と認識し、アスリートの活動に関わるあらゆる領域を支えるべく、”本気“で取り組んでいます。

実践

令和４年度 東京都スポーツ推進モデル企業

エームサービス株式会社

二刀流パラアスリート村岡桃佳選手と社内交流会を開催
楽しく「ボッチャ」を知る！

給食事業会社として、クライアントが進める健康経営をサポートし、お客様の健康づくりに寄与し続けるためには、サービスを提供する自社の従業員の心身の健康維持・向上が必要不可欠であると考え、様々な取組を行っている。

その一環として、スポーツを通じた従業員同士のコミュニケーション活性化と一体感の醸成、パラスポーツの認知拡大を目的として、当社が支援する二刀流パラアスリートの村岡桃佳選手と、従業員・家族を対象としたボッチャ体験会を初開催。参加した約 40 名を 6 チームに分けて行った対抗戦では、ボッチャ初体験の人も多かったが、一般社団法人日本ボッチャ協会によるレクチャーもあり、楽しくパラスポーツを体験することができ、交流も深められた。

また、同日に行われた「村岡選手との交流会」では、インタビューやクイズに加えて、村岡選手から簡単にできるストレッチ法をご紹介いただき参加者全員で実際に体を動かしてみるなど、パラスポーツへの理解を深める良い機会となった。

エームサービス株式会社

企業データ	
所在地	港区
業種	給食事業
従業員数	25,812 名

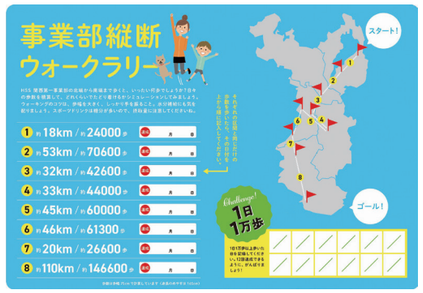
力を入れた取組

約8割の従業員の運動意識が向上！リアル×デジタルでの「ウォーキングイベント」を開催

従業員の健康維持・増進とコミュニケーションの活性化を目的として、全従業員対象の「本部対抗戦ウォーキングイベント」を2022年5月に開催。全国各地で働く多くの従業員に参加してもらうために、社内掲示板や各部門の会議で案内した結果、約1,700名が参加した。期間中、楽しみながらモチベーション高く取り組めるよう、「目指せ一日平均8,000歩」という目標を掲げ、「なんでもランキング」として途中経過を配信。あわせて、ウォーキング中に撮った写真を投稿してもらう「フォトコンテスト」を行い、コミュニケーションの活性化も図った。実施後のアンケートでは運動意識の向上だけではなく、日常生活や健康管理の面においても行動の変化があったと回答し、意識・行動変容につながる結果となった。

継続意欲を高める企画が人気で西日本から広がる「歩こう会」

男性肥満者の割合が高いという課題に対する健康増進活動として、西日本エリアで2019年よりスタートしたウォーキングイベント「歩こう会」。いつでも気軽に参加できるようにイベント期間を約6カ月と長めに設定し、「事業部横断ウォークラリー」や「1日１万歩チャレンジ」などの企画を配信、参加者カードのQRコードからオリジナルストレッチ動画を視聴できるようにするなど、様々な工夫を凝らし、現在はエリアを限らず参加できるようになっている。取組の継続により、健康診断の結果で肥満度や有所見率が低下傾向にあり、健康改善の効果が表れている。



その他の取組

子供たちの夢を応援するプロジェクトに賛同

当社所属のプロテニスプレーヤー鮎川真奈選手が、テニスを通じて子供たちに新たな事にチャレンジするきっかけを与えたいという思いから、2020年より「スマイルテニスプロジェクト」を始動。当社はその思いに賛同し、活動を支援している。同年10月、テニス経験者の小中学生を対象に開催されたイベントには、当社女子テニス部員がヒッティングパートナー、公認スポーツ栄養士が栄養セミナーの講師として参加した。

＼ 担当者の声！ ／

STAFF'S VOICE

スポーツの未来を支えるために

当社は、"「食」から日本の未来を支えます。"のコーポレートスローガンのもと、全国約1,500カ所の施設で「食」を中心としたホスピタリティサービスを提供している企業です。スタジアム・トレーニングセンターにおける飲食提供やスポーツ栄養サポートなどの本来事業で培ったノウハウを生かし、国際大会での飲食運営やアスリートへの支援の幅を広げるとともに、約26,000名の従業員の健康維持と社内活性化に努めています。これからもリアル×デジタルでの健康施策の「実践」により、スポーツの未来を支える取組を継続していきます。

実践

令和４年度 東京都スポーツ推進モデル企業

ジェイレックス・コーポレーション株式会社

J&REX Development of the Next Pleasure ジェイレックス・コーポレーション

企業データ	
所在地	新宿区
業種	不動産業
従業員数	50 名

スポーツを「知る」「楽しむ」「体験する」社内イベントを実施

コミュニケーション活性化にもつながるスポーツ健康研修

社内におけるコミュニケーションを活性化させることで、組織の見えない壁にとらわれることなく、業務や事業をより円滑に進めやすくするクラブ活動を企画。この活動は全社員から希望者が集まり、野球、フットサル、ランニングなど、チームで行えるクラブ活動を実施。参加した社員は率先して月２回程の練習を行い、他企業との交流試合や同業種内でのスポーツ大会などに参加して親睦を深めている。

各種スポーツ大会に積極参加

日頃の練習の成果を発揮するため、東京不動産健康保険組合の主催する各種スポーツ大会へ積極的に参加している。主な参加種目は、野球やフットサル、テニスなど多岐にわたる。チーム一丸となり目の前の勝利を目指したり、共通の目標を追う楽しさを体験。活動にあたっては、業務時間との調整や活動補助金の支給を行うなど、会社のサポートのほか試合に参加しない社員のバックアップも活動の継続につながっている。

力を入れた取組

コロナ禍の運動不足を解消！社内でトレーニングのできる環境を。

身体を動かしたり、運動を行う機会が減少傾向にあったコロナ禍において、気軽に身体を動かせる環境を社内に用意。ウォーキングのできるトレッドミルや自転車型のエアロバイク、体幹トレーニングやストレッチにも効果のあるメディシンボール、ダンベルやヨガマットを設置。休憩中や終業後に利用する社員も多く、仕事中の健康状態を保つと共に、モチベーションの向上や生産性のアップにもつながっている。また、毎週全員でラジオ体操を実施。在宅勤務の場合でもリモートで参加できるように工夫している。

世界を目指すアスリートや団体競技を支援・協賛。

コロナ禍での大会の中止、延期といった状況下でも、目の前の壁を一つずつ乗り越えていく選手の姿に共感し、世界へ挑み続けるアスリートとスポンサー契約を結んだ。個人ではスポーツクライミング競技におけるパリ五輪強化指定選手の天笠颯太選手と、団体ではバスケットボール女子日本リーグ（Wリーグ）に所属する東京羽田ヴィッキーズとスポンサー契約を締結。また、千葉ロッテマリーンズと千葉県が共同で運営する「ちば夢チャレンジ☆パスポート・プロジェクト」へも毎年協賛している。

その他の取組

プロスポーツ観戦の場を創り、ボルダリング教室を実施。

スポーツ大会への参加以外にもスポーツに触れる場を創るため、プロスポーツ観戦を企画。全社員を対象に希望者を募り、皆で共感する楽しみを体験。

また、スポンサー契約を締結している、スポーツクライミング競技・パリ五輪強化指定選手の天笠颯太選手によるボルダリング教室を開催し、第一線で活躍している選手から直接、指導いただける場を設けた。

＼ 担当者の声！ ／

STAFF'S VOICE

目に見えた社員の意識変化

手探りではじまった様々な取組。最近、運動習慣のなかった社員がランニングを始めたり、会社のスポーツ補助金で利用したことをきっかけにフィットネスクラブに入会したり、エレベーターではなく階段を利用して移動したりといった、日常から運動に意識を向ける社員が増えてきました。今後も、社員の健康と活気ある職場づくりに向けて、より一層の取組を積極的に進めて参ります。

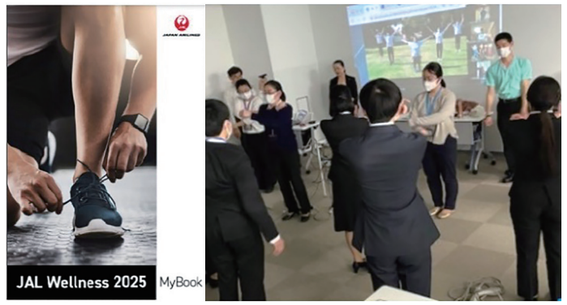
実践

令和４年度 東京都スポーツ推進モデル企業

株式会社 JAL サンライト

「JAL Wellness 2025」に基づく社員の健康づくりを推進！

全社員の 50％以上が障がい者である当社は、JAL グループ健康推進計画「JAL Wellness 2025」に基づきながら、様々な障がいに配慮しながら運動イベントを行っている。各職場のWellness リーダーの約半数が障がいのある社員だが、JAL「本気の！ラジオ体操」、「ストレッチ教室」、「ウォーキングイベント」、「JAL サンライト Wellness 夏祭り」、「ヘルスツーリズム」などのスポーツイベントに全社をあげて積極的に取り組んでいる。



各職場のWellnessリーダーがJAL「本気の！ラジオ体操」を配信！

天王洲、羽田、成田の各職場の Wellness リーダーが持ち回りで独自の企画を立て、各職場の雰囲気が伝わるアットホームな JAL「本気の！ラジオ体操」を配信している。日本航空ウエルネス推進部に手ほどきを受けた JAL「本気の！ラジオ体操」リーダーがお手本を示すことにより、運動効果を最大限高められるよう工夫している。

JAPAN AIRLINES

企業データ	
所在地	品川区
業種	サービス業
従業員数	423 名

力を入れた取組

ウオーキングイベントにチームで参加！

日本航空健康保険組合が主催するウォーキングイベントに役職や組織の枠を超えたチームを作り、参加した。休日にハイキングに出かけたり、帰宅時に声を掛け合って一駅分歩いたりと、楽しく健康増進に取り組んだ。

参加型「JALサンライトWellness夏祭り」を開催！

社員の健康増進と交流を目的として、2022年8月にJAL「本気の！ラジオ体操」「ストレッチ教室」「ブラインドサッカー®体験教室」の三部構成から成る「JALサンライトWellness夏祭り」を開催した。オンラインにより、離れた職場や自宅からでも参加することができ、また、手話通訳を付けることで多くの聴覚障がい者の参加もあり、大いに盛り上がった。

マッサージのプロが指導するストレッチ教室！

当社マッサージルームの視覚障がいのあるヘルスキーパーによるストレッチ教室は、オフィスワークによる肩こり・腰痛の予防・症状の緩和につながると好評で、社内ホームページに字幕付きストレッチ動画を掲載し、社員がいつでも見れるようにしている。夏祭りの際は、ヘルスキーパーが会場に出向いて参加者と一緒にストレッチを行い、参加者も汗をかくほど熱心に取り組んだ。

その他の取組

運動を苦手とする障がいのある社員へのストレス解消や運動後のリラックス効果を高める「アロマ体験型教室」を開催

＼ 担当者の声！ ／

STAFF'S VOICE

当社は、「障がいを仕事の障害としない環境をもとに多様性を活かし、新たな価値を創造し続ける」ことで、「全社員の物心両面の幸福を追求する」という企業理念の実現を目指しています。障がいの有無にかかわらず、一人一人の個性や強みを活かしながら新たな価値を生み出すには、社員の「心身の健康」が欠かせません。「JAL Wellness 2025」に沿って各職場のWellnessリーダーが渦の中心となり、健康づくりに取り組んでいます。

※ブラインドサッカー®：「ブラインドサッカー」はNPO法人日本ブラインドサッカー協会（JBFA）の登録商標です。

実践

令和４年度 東京都スポーツ推進モデル企業

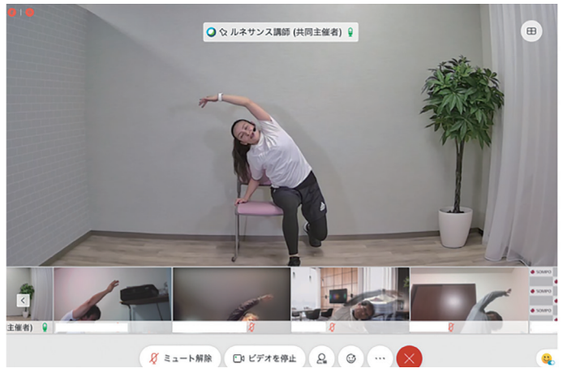
SOMPOひまわり生命保険株式会社

ウェアラブル端末の活用

2016 年度より全社員を対象にウェアラブル端末を貸与している。日々の健康増進に役立てるとともに、ウェアラブル端末を活用したウォーキングイベントを定期的に開催している。また、更なる活用を目指し、各人の活動量に合わせたウェアラブル端末の活用方法を検討するプロジェクトを発足し、活用ツールを作成・公開して各社員が有効に活用している。さらに、退職等で返却された中古端末について、健康維持・増進や端末の再活用も兼ねて社員の家族へ提供している。

オンライン運動セミナーの実施

コロナ禍をきっかけに、在宅勤務や外出自粛による社員の運動不足解消を目的として、2021 年度より毎月、株式会社ルネサンスが提供するオンライン運動セミナーを実施している。プログラムの内容は腰痛や肩こり予防、ストレス対策などを中心に毎月異なるメニューを用意し、気軽に運動することができる機会を提供している。さらに、本セミナーは社員だけでなく、社員の家族や取引先なども参加可能とし、広く案内を行っている。



SOMPOひまわり生命

あなたが健康だと、だれかがうれしい。

企業データ	
所在地	新宿区
業種	生命保険業
従業員数	2,706 名

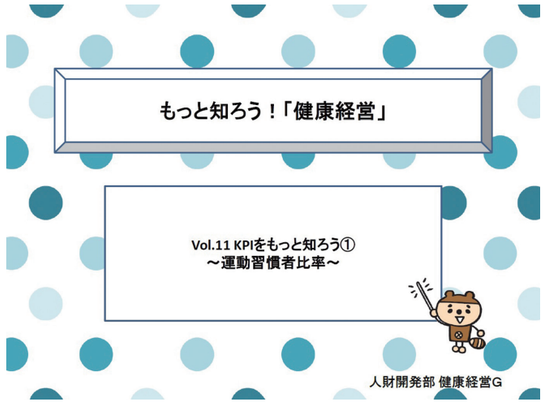
力を入れた取組

職場単位で体操を実施

社員の健康課題でも多く意見の挙がる「運動不足」を解消すべく、隔月で職場単位で実施している「健康応援ミーティング」（健康に関するテーマでディスカッションを行う取組）の冒頭に、「オンライン運動セミナー」の振り返りを行っている。職場単位、またミーティングの中で行うことで、ミーティングの活発化及びコミュニケーションの活性化にも寄与している。

健康づくり動画の配信

2020年度より健康づくりに役立つ様々な情報について動画を作成・社内イントラに公開し、いつでも視聴可能な状態にしている。動画の内容には、運動に関する情報提供もあり、当社の運動習慣の傾向や運動の重要性、プラス10運動の紹介など、身近に感じつつ気軽に取り入れられる取組を多数紹介している。



その他の取組

「ここスポ」の社員案内

「オンライン運動セミナー」に参加できなかった社員へスポーツ庁ポータルサイトの「ここスポ」を案内し、地域のイベントへの参加を促すなど、運動機会の情報提供をしている。

4．「ここスポ」のご案内

ここスポはスポーツ庁のポータルサイトで、スポーツ実施率を向上させるための施策の一つとして、消費者がスポーツをする際に必要とする仲間、場所、指導者、大会・イベント等に関する情報を集約しています。

ひまわりの！のフィットネスには時間が合わず参加できない方は、このようなサイトを利用して、地域のイベントなどに参加してみてはいかがでしょうか。

ここスポ利用にあたってはアカウント（myここスポアカウント）を作成せずとも利用は可能ですが、アカウント作成により、スポーツ施設やスポーツ教室へのお問合せ機能が利用できます。

また、myここスポアカウントの個人ページには、登録情報に基づいたおすすめのイベントが表示されるようになるので、アカウントの作成をオススメします。

「ここスポ」URL	https://cocospo.go.jp/
myここスポアカウント作成ページURL	https://cocospo.go.jp/register/

＼ 担当者の声！ ／

STAFF'S VOICE

健康経営における運動習慣定着の取組を行っての感想、意気込み

当社は「健康応援企業の確立」をビジョンに掲げており、まずは社員とその家族の健康が重要であるという考えのもと健康経営を実践しております。運動習慣の定着についても注力している取組の一つで、コロナ禍をきっかけにより一層重要性を実感しています。運動を身近に感じ、日常に取り入れることができるよう今後も工夫した取組を行っていきたいと考えております。

実践

令和４年度 東京都スポーツ推進モデル企業

明治ホールディングス株式会社

健康にアイデアを
meiji

企業データ		
	所在地	中央区
	業種	製造業・食品・薬品等の製造
	従業員数	11,325 名

文化体育活動費の会社補助を実施！

従業員の勤務時間外に自主的に参加するクラブ活動に対し、会社より活動費補助を行うことで文化体育活動を奨励する制度を設けている。従業員の心身の健康づくりと、社内交流の活性化を促進することを目的とし、現在、当社傘下の株式会社明治では、野球、サッカー等の 25 クラブ、Meiji Seika ファルマ株式会社ではテニス部、バスケットボール部等 12 クラブが活動している。

朝礼時のラジオ体操を実施！

工場において、朝礼時にラジオ体操を実施。適度に身体を動かすことで、労働災害を防止する目的を含み、当日の体調不良者を除き参加率 100％である。また、新入社員研修時においても、全員の体調確認や長期間の宿泊研修による運動不足解消を目的として実施。研究所においても朝と昼にラジオ体操を放送。労働災害の防止やデスクワークで固まった身体をほぐし、リフレッシュした状態で業務に取り組めるよう実施している。

力を入れた取組

「Kenko My Boom宣言」を実施！

自身の健康目標を立て、最長5ヶ月間取り組んでもらう施策。習慣づけることを目的として継続性を重視した目標設定としている。役員も参加することで、従業員の積極的な参加を促している。目標を立てた場合は参加賞を、目標を期間中に達成した場合は達成賞を贈呈し、モチベーションアップにつなげている。

「ウォーキングマイレージ」の実施！

従業員の生活習慣病予防やストレス解消を目的に、健康保険組合協力のもとウォーキングマイレージを実施。全従業員（短期パート除く）を対象に積極的に参加を呼び掛けている。健康保険組合の提供するアプリを活用し、期間中の歩数をカウントすることが可能。1日当たりの歩数が8000歩を超えたり、月間の歩数合計が15・24・45万歩を超えた従業員に対し、健康グッズなどと交換できるポイントを付与し、モチベーションアップにもつなげている。

その他の取組

企業対抗ゴルフ大会出場への支援を実施！

全従業員から参加者を募集し、社内予選を経て選抜されたメンバーで企業対抗ゴルフに出場しており、その支援を行っている。ゴルフ好きな社員も多く、仕事以外での士気高揚につながり、企業を代表することで愛社精神の醸成にもつながっている。2022年度の結果は、㈱明治は決勝大会に進出し16位、Meiji Seikaファルマ㈱は予選Aグループの中で11位/36チームであった。今後も上位進出を目指して、支援を行っていく予定である。

＼ 担当者の声！ ／

STAFF'S VOICE

明治グループでは、2018年に『明治グループ健康経営宣言』を制定、会社と健康保険組合で構成する「健康経営推進委員会」を設置し、各種施策を実施してきました。明治グループとして、「meiji=健康」のブランドイメージへと進化させていくためにも、グループで働く従業員自身が「こころもからだも健康であること」が重要との考えのもと、引き続き「健康経営」の取組を強化していきます！

実践

令和４年度 東京都スポーツ推進モデル企業

株式会社メディヴァ

MEDIVA
Medical Innovation and Value-Added

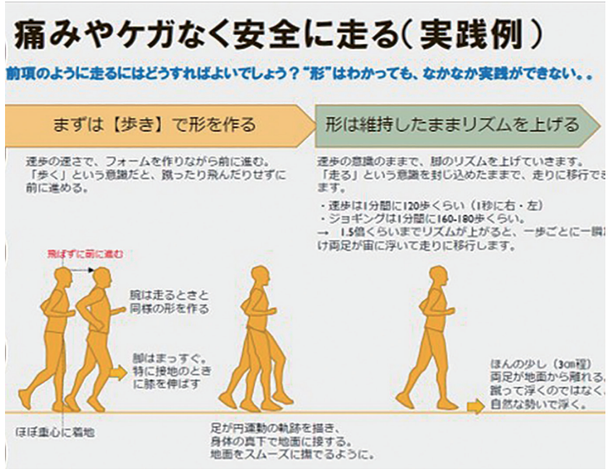
企業データ		
	所在地	世田谷区
	業種	サービス業（医療コンサルティング）
	従業員数	210 名

オンライン×リアルで運動習慣のきっかけづくり・実践支援

社員や家族の健康づくり、健康で働ける企業文化づくりの一環として実施。特に、社員自らが主体性をもって参加できる健康推進プロジェクトとして、「ウォークラリーイベント」、「フルマラソンチャレンジ」や、社内健康管理室主導の体験型オンラインイベントから情報発信まで、就業環境・状況にとらわれず参加できるよう Teams、Yammer などのオンラインツールを活用し、全社員への継続的な実践機会と情報の提供を行っている。

フルマラソンチャレンジを通じた挑戦者と閲覧者の変容促進

社員の自主運営による運動班では「運動を通じて社員と家族を健康にする」のミッションを掲げ、社員の出来ること・出来ないことを、まずは班員が体験し、その体験を活かした企画を行っている。その一つである新企画「フルマラソン・フィニッシャーを目指そう！」では、人生を変えるチャンスと題し、運動習慣のみならず、自己肯定感の向上などにも訴求。チャレンジの様子を発信し、挑戦者、閲覧者ともに、変容を促している。



力を入れた取組

全社ウォークラリー、今年は「1day3000」を開催！

毎年恒例ながら、毎年違うアプローチにてウォークラリーを開催。今年度は新採用のアプリ「aruku&」を活用し、企業対抗ウォークラリーを10日間実施。イベントの説明からアプリの使い方などを参加者募集時に全社へ向けて発信。イベント期間中はオンライン上にて、社員の自主運営で活動している運動班による取組のコツの紹介や楽しみ方を共有、オンライン上で声をかけあい、参加者一丸となって取り組んだ。

全社ウォークラリー×里山ツアーで楽しく歩数をゲット

歩数アップと運動機会の提供、モチベーションアップを狙い、上記イベント期間中に里山ウオーキングツアーを実施。リアル、そしてTeamsへの投稿によるオンラインと、参加方法が選べ、そしてみんなが運動で健康になれるように、社員の他、ご家族も参加し開催。実施後は歩数・順位ともに上昇し、対抗企業202社が参加した中で「たくさん参加してくれたで賞」を受賞、第7位に入賞した！

その他の取組

包括的な視点の健康づくり推進、全社オンラインイベント

体験型オンライン健康イベントのブース上にて、筋力・柔軟性測定を実施。各社員一人ひとりの興味に合わせてブースへ自由に出入り、参加できるようにし、勤務形態やスケジュールに拘らず参加しやすい環境下で実施。実際に参加している感覚となれるようプラットフォームを活用するなど多角的な仕掛けを用いた。他ブース（食事、睡眠、コミュニケーション等）から運動ブースの推奨を行う等、包括的な視点で健康づくりを推進。

＼ 担当者の声！ ／

STAFF'S VOICE

運動推進と健康づくり実践の要！運動班

健康のために運動を、と思っても、継続の難しさを感じる人が多いと思います。私たち運動班は、そんな悩みも運動の喜びも、自ら体験・発信し、きっかけ作り、仲間作り、楽しさ作りを通して運動習慣を無理なく広げることを目指して活動しています。

「全員が歯磨きのように毎日当たり前に運動する会社」を夢見ています！

支 援

令和４年度 東京都スポーツ推進モデル企業

ケイアイスター不動産株式会社

企業データ	
所在地	千代田区
業種	総合不動産業
従業員数	2,078 名

所属アスリートで「ケイアイチャレンジドアスリートチーム」を結成！

車いすバスケットボール・バドミントン、デフフットサル・柔道など競技の垣根を超え、さらには競技専念型、デュアルキャリアと多様な雇用形態のアスリートからなるチームを結成。パラスポーツの体験会、社内外での講演活動など障害やパラスポーツを身近に感じられる活動に注力。マイナースポーツの活性化、障害者スポーツの普及、認知向上を目指すとともに、自社の営業所にて研修の実施、全社会議で活動報告をするなど社員への障害への理解促進を図っている。

冠大会やスポーツ大会の主催・協賛、チームスポンサーで幅広くスポーツを支援！

車いすバスケットボールチーム『NO EXCUSE』（東京）、女子デフフットサルチーム『SDFC アレグリーナ』（埼玉）、日本ろう者サッカー協会とスポンサー契約を締結し、活動を支援。さらに自社主催で社名を付した『ケイアイカップ』と称して車いすバスケットボール、ジュニアサッカー、ミニバスケットボールの各大会を概ね１年ごとに実施。大会内で体験会や自社所属選手とのエキシビジョンマッチを組み入れるなどして夢を目指して頑張るアスリートやスポーツの未来を担う子供たちを支援している。

力を入れた取組

社内イントラやSNSにてアスリートによる健康増進情報を発信

社員の運動機会を作るために、所属アスリートによる簡単にできるストレッチ紹介の動画を作成し、定期的に社内イントラにて発信。仕事の合間、椅子に座ったまま出来る簡単なストレッチを考案することで、デスクワーク社員の健康増進を図っている。

SNSではアスリートのトレーニング動画を公開し、効果的に筋力向上できるポイントなどを紹介。運動機会の提供につなげている。

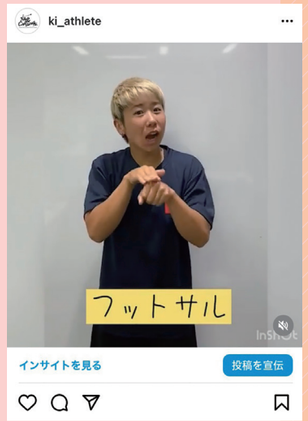
自治体や地域と連携してスポーツ教育を支援

パラスポーツの普及・発展を目的として、本庄市主催のスポーツイベントにて車いすバスケットボール体験ブースの設置、その他でも地域と連携しパラスポーツの体験会を実施するなどスポーツ活動を推進。また教育機関とも積極的にコラボレーションして授業にパラスポーツ体験会を組み入れるなど積極的に教育活動に参加している。

その他の取組

デフスポーツ推し！さらには監督も採用でスポーツ支援の意識を改革

マイナー競技とされがちなデフ（聴覚障害者）スポーツにスポットを当て、認知度向上を目指す。アスリート雇用＝企業PRと思われがちな概念を壊すべく、健常者である監督を社員として採用。本来あるべきスポーツ支援・共生社会の実現を追求し、チームSNSでは手話動画を配信したりデフリンピックについての説明をするなどして聴覚障害やデフスポーツの理解促進・認知向上に努める。



\ 担当者の声！ /

STAFF'S VOICE

パラスポーツの力で社会を変えたい！

人は誰でも、夢を持ち挑戦することができます。また、スポーツをすることの喜びや楽しさは、誰でも味わうことができます。スポーツや夢や情熱は、障害で失うものじゃない。障害を乗り越えスポーツとともに人生を前向きに生きる彼らだからこそ伝えられるメッセージを、一人でも多くの人に届けることが、社会を変える大きな力になりますように。彼らがチャレンジする姿を伝えることで、誰かの希望になれたら・・・。そういった想いで、当社はパラスポーツ支援をしています。

支援

令和４年度 東京都スポーツ推進モデル企業

中外製薬株式会社

すべての革新は患者さんのために

CHUGAI 中外製薬

Roche ロシュ グループ

企業データ		
	所在地	中央区
	業種	製造業（医薬品等）
	従業員数	7,664 名

中外製薬presents全国縦断車椅子ソフトボール体験会の開催

一般社団法人日本車椅子ソフトボール協会（JWSA）とオフィシャルトップパートナー契約を締結し、全国各地で開催される体験会を支援している。

車椅子ソフトボールは用具や条件を同じにすれば、障害の有無、年齢、性別を問わず楽しめる共生社会実現へつながるスポーツであり、体験会はその楽しさを多くの方に知ってもらい、競技としてのすそ野を広げることを目的として開催している。

障害児を対象とした定期的なスポーツ機会の提供

楽しく体を動かすこと、運動機会を継続的に提供することを目的として、年間を通じたスポーツクラスへの協賛活動を行っている。車いすバスケットボールや、テニス、マラソンといった様々なプログラムを通年で楽しむことができ、障害児だけではなく、障害の無い子供たちもたくさん参加するクラスである。

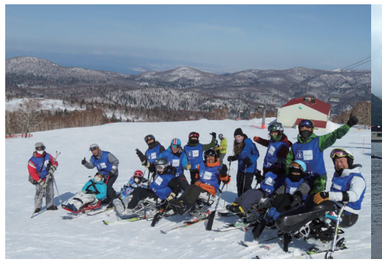
力を入れた取組

「みんなのダンス教室」、ダンスイベントへの協賛

中外製薬は、日本アダプテッドブレイキン協会（JABA）の「みんなのダンス教室」を支援し、障害のある子供たちが継続してダンスを楽しむことができる機会を提供している。また、JABAと文化庁が主催する障害のある方を対象としたダンスコンテスト「ART FUNK BREAKIN」にも特別協賛を実施。この大会は様々な障害がある子供から大人まで参加している。障害の種類によってもダンスの表現方法は多岐に渡るが、どの参加者もダイナミックかつユニークなダンスを披露する姿を見ることができる。

親子で楽しむスポーツイベント教室への協賛

一般社団法人ZENが開催する、障害のある子供たちとそのご家族のための、親子で楽しむ「チェアスキー教室」「カヤック教室」「ハンドバイク教室」を支援している。いずれの教室でも、子供たちのチャレンジ精神はすさまじく、短時間でどんどん上達していく姿を見ることができる。ゲレンデや水上など、非日常体験を通じて仲間と一緒に過ごした時間は、参加した子供たちやご家族、スタッフにとっても特別な思い出になっている。



障害者アスリートの雇用とアスリート社員による啓発活動「サッカー出前教室」の実施

当社は障害者アスリートの就労支援の機会を提供することを目的として、障害者アスリート雇用制度を設け、2018年より選手の雇用を実施。当社員は、自身の競技活動と並行し、デフサッカー・フットボールを通じて、小・中学生を対象とした「サッカー出前教室」を実施。障害理解や多様性への気づきを促すプログラムの講師なども務めている。その他、共生社会実現を目指して一人でも多くの方に聴覚障害への理解と関わり方を身に付けてもらうための啓発活動を行っている。

＼ 担当者の声！ ／

STAFF'S VOICE

当社は、障害者スポーツの理念である「活力ある共生社会の創造」実現の一助となるべく、障害者スポーツを積極的に応援しています。条件やルールを設定することで障がいの有無、年齢、性別にかかわらず楽しめるスポーツは多くあります。このようなスポーツを一人でも多くの方に体験頂けるように支援することで、誰もが自分の能力を発揮し、チャレンジできる社会を目指しています。支援を通じて、少しずつでも障害への理解促進、共生社会の実現につながれば嬉しいです。

支援

令和４年度 東京都スポーツ推進モデル企業

三井住友海上火災保険株式会社

女子柔道部による「ころびかた教室」を開催！

全日本柔道連盟協力のもと、危険から身を守る「受け身」に焦点を当てた地域向け柔道教室を開催。柔道競技の普及に貢献するとともに、自社の経営理念である社会への安心と安全の提供に資するイベントとなった。

SON×三井住友海上　オンライン柔道イベント開催！

SON（Special Olympics Nippon）※と女子柔道部が連携し、柔道オンラインイベントを開催。知的障害のあるアスリートに対し、大会での体験談や技を披露し、競技の普及・強化に貢献。今後も、スポーツを通じて包摂的社会の実現に向け注力していく。
※知的障害のあるアスリートがスポーツを通じて社会への参加を応援する国際組織。

三井住友海上
MS&AD INSURANCE GROUP

企業データ	
所在地	千代田区
業種	損害保険業
従業員数	14,168 名

力を入れた取組

トライアスロン部による「MS Kids Triathlon」を開催！

トライアスロン部の練習拠点である、東村山市の児童を対象に、イベント「MS　Kids　Triathlon」を開催。トライアスロン部から自転車の安全な取扱を伝えるほか、ごみ拾いや座学を通じて、SDGsへの理解を深めた。トライアスロンは、自然環境と密接に係る競技であり、今後も活動を継続していく。

うるま市と連携協定の上、自社アスリート派遣を実施！

スポーツ庁が掲げる「運動部活動の地域移行」に対する支援を開始。うるま市と連携協定を締結の上、自社アスリート派遣による指導者向け動的ストレッチ教室・地元中学校との交流会を実施。今後加速する本社会課題の解決に向け、支援を本格化させていく。
（写真は、沖縄県うるま市との同件に対する連携協定締結式の様子。自社アスリートも参加。）

その他の取組

東京都スポーツ推進企業カタログメニューを活用した社内ヨガレッスン

東京都スポーツ推進企業が利用できるカタログメニューを活用し、社内ヨガレッスンを実施。終業後に１時間、デスクワークで疲れた体を癒すイベントを開催。トライアスロン部選手もデモンストレーションで参加した。

＼ 担当者の声！ ／

STAFF'S VOICE

スポーツ振興を通じ、活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支えます。

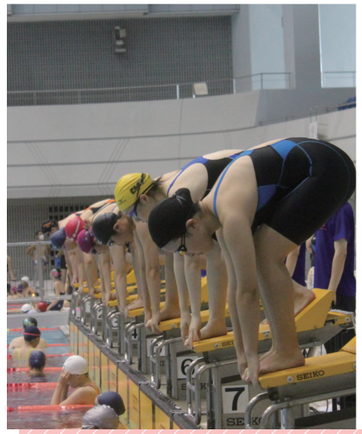
当社の経営理念の一部である「活力ある社会の発展と地球の健やかな未来を支える」ために、スポーツ振興に取り組んでいます。

所属アスリートが、よりワールドワイドに活躍することを支援すると共に、アスリートと一緒に社会課題の解決や地方創生・振興に積極的に関与し、今後も取組を加速させていきます！

支援

令和４年度 東京都スポーツ推進モデル企業

株式会社ルネサンス



池江璃花子選手によるお子さまへの水泳教室の実施

子供たちに水泳に親しんでもらうための「普及」と競技力向上の後押しをする「育成」を目的として、「Number Sports Academy 池江璃花子 水泳教室 supported by NIPPN」をルネサンス富士見台で開催した。この水泳教室には当社のスクールレッスンで導入しているスマートスイミングレッスンが活用され、自分の泳ぎを確認するとともに、池江選手が大きなディスプレイに映した自身の模範演技の映像を見せながら泳ぎの解説をすることができ、とても分かりやすい指導を実施することができた。

障がい児、障がい者に向けたスポーツイベントの実施

スポーツクラブ ルネサンス・イオンタウン吉川美南と一般社団法人チーム・アダプテーション、CA SOLUA の主催で、地域の皆さまに向けた、障がいのある方と一緒に多様な視覚環境を体験するコミュニティベントを開催した。本イベントは障がいをお持ちの方への理解と交流を深めることを意図している。

【イベント開催実績】
・視覚障がいを知るコミュニティイベント　2022年9月19日
・障がいのある子どもときょうだいのためのあそびの教室～水中運動～
　2022年8月8日

企業データ	
所在地	墨田区
業種	サービス業
従業員数	2,776 名

力を入れた取組

乳がんサバイバーに向けたオンラインレッスンの無料提供

10月のピンクリボン運動の強化月間に合わせ、乳がんを経験された方や乳がんの治療に取り組んでいる方を、フィットネスを通じて応援するイベント「乳がんサバイバーのためのヨガWEEK／オンラインフィットネスフェス」を開催した。本イベントを通じて、乳がんに罹患された方にフィットネスの機会を提供し、体を動かすことでQOLの維持・改善につながるきっかけとなることを意図している。

マスターズ水泳大会、フィットネス業界の水泳大会への積極的な参加

生涯水泳の普及を目的に、マスターズ水泳競技大会に参加。会員へのマスターズ登録促進とともに、当社の水泳のコーチを中心としたスタッフも積極的に登録し、自らが企業理念の体現の範を示しながらマスターズ大会を活性化している。

また、一般社団法人日本フィットネス産業協会が主催する「FIAマスターズスイミングフェスティバル」に毎年協賛。

その他の取組

地域のスポーツ活動への支援、施設の開放

スポーツクラブは、地域の行事、催事に協賛企業として参加し、体験チケットやテニスボールの配付、抽選で招待券をプレゼントする等、地域の方々が運動を始めるきっかけづくりをしている。

また、各スポーツクラブで地域開放デーとして、地域の方々に施設を無料で利用できる日を設けている。地域行事、催事への参加や施設の開放を行うことで、地域の皆様とのコミュニケーションの中で、健康づくりのきっかけを提供することができる活動となっている。

＼ 担当者の声！ ／

STAFF'S VOICE

様々なステークホルダーに向けて運動・スポーツを通じた健康づくりを広げたい

今年度の申請を行うにあたり社内の情報を収集したところ、様々な部署がそれぞれのステークホルダーに向けて「健康」を軸に置いたスポーツ・運動支援をしていることを再認識することができました。今後も、長期ビジョンとして掲げた「人生100年時代を豊かにする健康のソリューションカンパニー」を目指し、目の前の方々が抱える健康課題の解決に取り組んでいきたいと思っています。

株式会社IHIインフラ建設

株式会社 IHI インフラ建設

毎朝一斉にラジオ体操を実施し、従業員の健康を促進

コロナ禍による在宅勤務の普及をはじめ、日常的にも運動不足になりがちの中、毎朝一斉にラジオ体操を実施することで従業員の運動不足解消を促進している。ラジオ体操にはダイエット効果、体の歪み改善、全身の筋肉を鍛えるなどの効果があるため、朝一で体操をすることで、心身ともにリフレッシュでき、すっきりした気持ちでその日の仕事を始めることができている。

株式会社IHIエスキューブ

株式会社 IHI エスキューブ

健康と幸せを目指したオリジナル体操とウォーキングイベントの開催

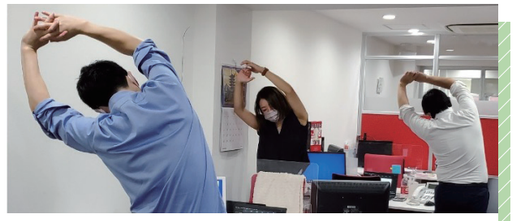
肩こり・腰痛・足のむくみに効果的な動作を組み合わせたオリジナル「グッドコンディション体操」を2019年度から毎日、各職場で一斉実施している。導入から3年以上が経過するため、笑顔になる動作を組み入れた新バージョンの体操を制作中。また、年2回のウォーキングイベントを開催し、ウォーキング先で見つけた幸せを感じる風景写真を共有するウェルビィンゴアルバム大会を同時開催し、参加への興味を高める工夫をしている。

株式会社 IHI ビジネスサポート

株式会社 IHI ビジネスサポート

健康増進と活力アップ！運動イベントを通じてコミュニケーション活性化

2021年から毎年「さつきウォーキング」を開催してる。スマホで歩数を競うもので、2021年は個人戦、2022年は団体戦で盛り上がった。コロナ禍で運動不足になったため、昼休みにトレーナを招きストレッチイベントを開催したり、定時後ウォーキングを実施した。今後はボッチャ競技で団体戦出場を構想中。なかなか話せない人と運動を通じて笑顔で会話を楽しんでいる。



i-tax

税理士法人アイ・タックス

毎朝のストレッチ&年３回のウォーキングイベントで運動意識を向上

毎日朝礼時に動画配信し、在宅勤務を含む全社員で行うストレッチや、筋トレの実施が運動不足や肩こり・腰痛改善に役立っている。また、健康管理アプリを活用し、年３回ウォーキングキャンペーンに参加することで、歩数増進・運動への意識が飛躍的に向上し、社内コミュニケーション促進にも繋がっている。今年度初の試みとして事務所対抗戦を行ったところ、過去最高に歩数が増えたため、今後も全社で運動促進活動を盛り上げていきたい。

Achilles

アキレス株式会社

ウォーキングの推奨・ラジオ体操の実施・アスリート支援

毎年10月から11月までの2か月間でウォーキングキャンペーンを実施し、インセンティブを強化（参加賞の設定、賞品増量等）しながら、年々参加者が増えている取組となっている。また、毎朝ラジオ体操を全役職員で継続して行っている。さらに社内運動サークル（野球・サッカー・テニス）への費用補助をパラアスリートの支援と合わせ実施、健康保持増進に役立てている。

AXAS CO.,LTD.

アクサス株式会社

ラジオ体操の実施と階段の利用促進で健康意識を醸成！

従業員の一人ひとりの健康意識の醸成と健康増進を目的として、ラジオ体操の実施と階段の利用を促進。コロナ禍において、外出の機会が減少し、社会全体で人々の運動不足が問題となっているなか、従業員の健康促進の為に様々な取組を企画・実施している。身体を動かすことは健康増進やリフレッシュにつながるほか、従業員同士のコミュニケーション活性化にもなるため、今後も会社全体で積極的に取り組んでいく。

AXA アクサ生命保険株式会社

アクサ生命保険株式会社

社内健康増進サイトとパラアスリートによる運動コンテンツの提供

社内イントラネット上に、従業員の健康増進に特化した「アクサ・ウェルネス・プログラム」サイトを開設。運動をはじめとした各種情報やコンテンツを提供。パラアスリート従業員のマッサージセラピストによる、オンライン健康教育「Health KIOSK」でストレッチやツボ押しを開催。また1日限定「毎時5分企画 オンライン運動ライブ」を開催し、ラジオ体操や肩こり腰痛予防のための各種ストレッチを実施。のべ649名が参加し一斉に身体を動かした。

AXXiS

アクシス株式会社

オフィスでの階段利用の促進、ラジオ体操、スタンディングミーティングの実施

当社では新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、在宅勤務（リモートワーク）を導入した結果、運動不足を感じる従業員が増えた。そのため運動不足解消を目的にした、オフィスでの階段利用の促進、バランスボールの導入、週一回を目安に部署単位でのラジオ体操、スタンディングミーティングを継続的に実施している。

アクトライシステム株式会社

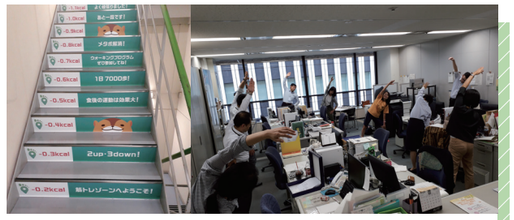
活動量の数値化や心と体の健康を促進するリフレッシュ補助制度

健康向上のため、社員へＩＣ内蔵活動量計の配付と「すこやか勤怠」システムを導入。活動量登録時に社内順位と健康リテラシー向上情報を画面表示することでナッジ効果を狙った運動促進を実施。また、リフレッシュ補助制度を実施し社員の心と体のリフレッシュを目的とした目標を宣言することで取組に掛かる費用を毎月最大1万円まで会社が補助する制度を設け、運動を促進している。

株式会社浅野製版所

人との距離を保ちながらいつでもどこでも楽しく運動を実践

毎週オンラインで実施している担当者が「ラジオ体操指導員」の資格を取得。ラジオ体操のポイントを伝えることで、運動効果をさらに高めている。また、社内にはスマホをかざすと約30のミッションの中から運動の指示が出るARポスターを掲示。ミッション以外に「あたり」が出ると、ドリンクチケットがもらえるなど、イベント性も高めながら運動の機会を提供している。



株式会社朝日新聞社

運動不足の解消や健康増進のために様々な運動メニューを実施

インストラクターが各職場を巡回する10分間のオリジナル体操や、社内のフィットネスルームなど、コロナ禍の影響で中止していた取組を徐々に再開。スマホアプリ「ａｒｕｋｕ＆（あるくと）」を活用したウォーキングプログラムを年１回秋に実施。ＲＩＺＡＰ社と提携しウエルネスプログラムを計3回ＬＩＶＥ配信。食事や運動に関するＲＩＺＡＰメソッドを職場や自宅で無料で視聴できるようにし、運動不足解消の機会を提供。

朝日信用金庫

朝のストレッチ体操の推奨・各種スポーツ活動への支援

当金庫では、職員一人ひとりが心身ともに健康で、その能力を最大限に発揮することを目的として、40年以上前から朝礼時に「信ちゃんストレッチ体操」を行っている。当金庫は永年の健康保持に関する取組と支援体制が評価され、令和2年に『健康優良企業「金」の認定』を取得した。

アサヒ飲料株式会社

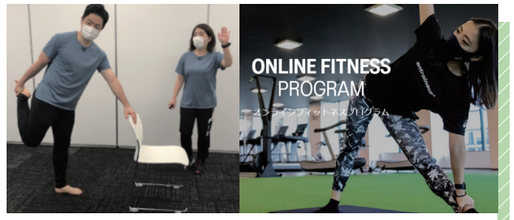
健やかな毎日を生み出すことを目的に歩くことを中心とした取組を実施

「日常の生活リズムを整え、健やかな毎日を生みだし“笑顔”を広げていく」をコンセプトに健康施策を実施。歩数管理専用アプリの導入やウォーキングキャンペーンを企画し、社員の運動意識向上に繋げた。社員の歩数分に応じた飲料（1万歩につき1本）を世の中に提供する「Walk for a smile」を2021年より開始。健康推進活動を行う団体などを通じて商品を提供し、笑顔を広めるとともに、在宅勤務下においても社員の毎日の健康づくりを応援。

旭化成株式会社

心も体も健康に！同僚との会話も弾む、ウォーキングイベントの開催

三井不動産の健康経営支援サービス「＆well」を活用し、年に３回、チーム対抗戦のウォーキングイベントを開催し、従業員間のコミュニケーションの活性化に寄与している。出張測定会等も開催し、自身の身体の状態を知る機会を提供している。また、柔道及び、陸上選手を雇用し、会社として活動を支援し、オリンピックにも出場している。また、ＣＳＲ活動として全国各地での柔道教室等も積極的に行っている。



株式会社アシックス

スポーツを通じた健康・快適な社会の実現につながる取組を推進

運動実施率向上、生活習慣改善を目指し、コロナ禍でも安心して楽しく参加できるイベントやセミナーを開催。フィットネス・トラッキング・アプリ「ASICS Runkeeper」を活用した、6人1チームで競うバーチャル駅伝大会「ASICS World Ekiden 2021」は世界中の従業員約40,000人が参加。その他「身体のゆがみ改善セミナー」「オンラインフィットネス」「オンラインでおうちヨガ」等も実施。また、2022年からはランニングかウォーキングで通勤した区間の交通費を支給する「ランニング・ウォーキング通勤」を実施。

株式会社アスポ

働く全ての人にコンディショニングを

働く人へのコンディショニングTipsとして、健康リテラシーの向上を目的とした情報発信。

テレワーク体操や呼吸瞑想、様々な目的に合わせた健康コンテンツの開発して活用。

また、スポーツの普及に向けたアスリート支援として、NFLに挑戦する日本トップクラスのアメフトプレーヤー、女子ラクロス日本代表、陸上マスターズ選手等を支援している。

一般社団法人アスリートネイル協会

スポーツをする全ての人へ爪の重要性を発信するネイルトレーナーを育成

プロスポーツ選手からスポーツを楽しむ老若男女全ての人の怪我予防とパフォーマンス向上を目的としたアスリートネイルケア。今シーズンはプロバスケットボールチームの千葉ジェッツふなばしの選手の手足の爪のケアをネイルトレーナーが定期的に訪問施術している。スポーツを通して爪のケアの重要性を発信するネイルトレーナーのスキルアップのための研修も実施。

株式会社アセットリード

日本ブラインドサッカー協会への協賛及び普及・促進活動

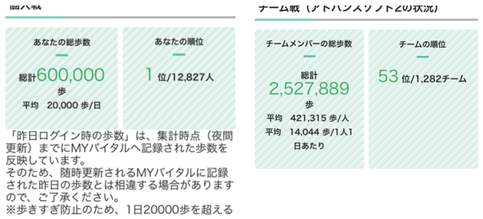
体験型研修「OFF T！ME」では、ブラインドサッカー体験を通じ、障がい者理解のみならず、コミュニケーション、チームビルディング、ダイバーシティ理解など、日常生活にも活かせる新たな発見をコンセプトに、社内外の方にも積極的にご案内している。

株式会社アドックインターナショナル

脱肥満！少しずつ始めよう！運動と食事改善！

毎週月曜日には、朝礼前にラジオ体操！を実施。また、日々の運動はyukhoeを利用しての運動推進をしている。

さらに、スポーツジムの補助金を支給して、スポーツジム利用も推進中です。3年後には、BMI25以下を目標にしている！



アドバンスソフト株式会社

通勤を利用した運動や在宅勤務時のストレッチを推奨、またウォーキングイベントへの参加を推進

通勤電車・エレベーター等の出社時における3密の回避と健康促進を考えて、時差通勤を実施。無理のない範囲で徒歩通勤を実施して、階段を利用するなどの工夫を各自実施している。在宅勤務期間中には、「自己管理能力」を高めるべく、自宅や近所でできる運動や、散歩などを推奨。関東ITソフトウェア健康保険組合主催、毎日6000歩以上歩いて健康になろうという主旨のイベントに任意参加した。

株式会社アップセール

大学体育会自転車部 現役学生アスリートへの製品支援

アップセールは美容と健康をサポートする企業として、ひたむきに挑戦し続けるアスリートを応援している。

その一環で、明治大学体育会自転車部の選手に、毎日の練習後の使用にと、合宿所へ「ヘアケア製品（シャンプー＆コンディショナー）」の無償提供を行っている。

有限会社アテイン

アスリートへの支援や地域に向けたパラスポーツの普及活動

2021年の夏に開催された世界スポーツ大会を契機に、国内外、プロアマを問わないアスリートへ、治療器の提供や運動指導の支援を開始。

また、行政と地域の方々と連携して、地域に向けたパラスポーツの普及活動を実施している。

株式会社アドバンテッジリスクマネジメント

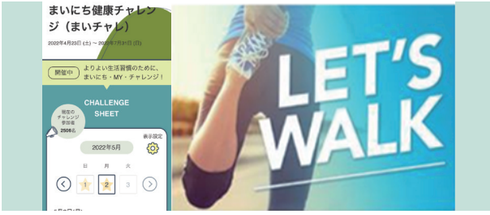
ウォーキングイベント「あゆみ」の開催

運動、ウォーキングの推進のために取り組んでいるイベント。2022年秋の回より、開催期間中の合計歩数が寄付金額につながる内容に変更し、運動と社会貢献を両立できるイベントとして生まれ変わった。目標達成者には、寄付金額を加算するなど、平均歩数目標の達成に向けて、社員のモチベーションが向上し、参加者同士のコミュニケーションの活性化にもつながるよう工夫して実施した。

アビームコンサルティング株式会社

国内外の全拠点を巻き込んだアビームグローバルオンライン駅伝

日本を含む海外9拠点でオンライン駅伝を実施。5人１組でチームを組み、走る、または歩く部門にエントリー。参加者は実施期間（2週間）に個人のタイミングに合わせて参加し、チームの合計速度と累計距離を競い合った。さらに期間中の良かった出来事をチーム内で投稿しあう "Goodthings" 企画や、運動した様子を写真に撮って、社内SNSに投稿するキャンペーンを実施。1,200名以上の社員が参加し、運動不足解消と社内コミュニケーションの向上を図った。



アフラック生命保険株式会社

運動習慣向上とコミュニケーションの活性化を目指して！

スマートフォンアプリを活用し、生活習慣改善に取り組むための目標を立て、100日間プログラム「まいにち健康チャレンジ」を実施。2,533人（役職員の48%）が参加。また、ウェアラブル端末等で測定した歩数を共有する「ウォーキングキャンペーン」を実施し、春は3,173人（同61%）、秋は3,242人（同65%）が参加。 運動不足解消や生活習慣改善に加え、部署ごとのチームで活動することにより、コミュニケーション活性化にも役立てている。

アフラック保険サービス株式会社

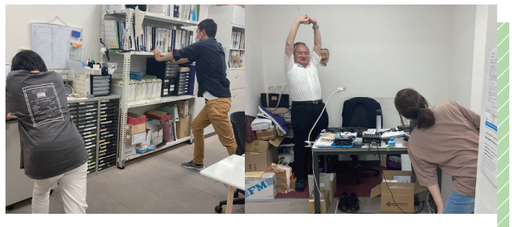
運動習慣者割合の向上にむけ、スニーカー通勤の推奨やウォーキングキャンペーンを実施

運動習慣の向上を目的に、スニーカーやウォーキングシューズなど、“歩きやすい”靴での通勤の推奨及びスニーカー勤務を認容。スニーカー通勤・勤務を促進するために、従業員おすすめのスニーカーや、スニーカー通勤・ウォーキングのメリットなどを社内掲示板で紹介。また、運動不足などの生活習慣の改善やコミュニケーションの活性化につなげることを目的にウォーキングキャンペーンを年２回実施。1日5,000歩を目標に設定し、目標達成者を表彰した。

株式会社アミックグループ

スポーツ大会・イベントの協賛、全社員対象のウォーキングの推進

アスリートのために開発したスポーツ化粧品を活用し、コロナの影響によりイベント等の機会は減少したままだったが参加できたイベントもあり、現役アスリートの大会協賛や支援活動は継続できた。その他、社員の健康維持のため平日にトータル３０分のウォーキングを実施している。



株式会社アメディア

ストレッチでカラダのコリをほぐし、階段の上り下りを積み重ねて体力アップ

午後2時に３分間のストレッチ。
１日100段、階段上り下りを週2回以上トライ。

株式会社 Avenir

関連会社の専属スポーツトレーナーを中心とし、従業員の健康の維持増進に努めている

リモートワークが進み離れた環境で仕事をしたり顔を合わせる機会が減った中、同じ時間にラジオ体操を行うことで感想を共有し、従業員を孤立させない職場環境を実現することができた。
また弊社専属のスポーツトレーナーが感染に配慮しながら、福利厚生としてパーソナルレッスンを行っている。
その他、テニス部やゴルフ部など社内の部活動やヨガイベントなどを定期的に開催し、異なる部署間でもスポーツを通じて心も体も健康増進に取り組んでいる。

アポクリート株式会社

健康アプリやWebを使用して健康管理！

健康アプリを導入。
楽しみながら、運動・食事・健康管理など、アプリに連動して健康習慣の改善を行っている。
更に、「Webウォーキングイベント」では、場所を問わずゲーム感覚で参加できるため、社員からも好評。
また、自社トレーナーが、社員向けに朝のストレッチ動画を配信。社員のモチベーションアップに役立っている。

株式会社 ALIGHT

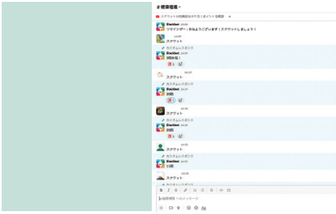
毎朝ラジオ体操を実施！

社員・パート・契約社員全員で朝礼時にラジオ体操を実施しています。コロナ禍より３年以上も継続し、やらないとストレスが溜まるという声も。

アルケア株式会社

社員が楽しく参加できるスポーツの促進とアスリートによるパラスポーツの魅力の発信

部門を超えた社内コミュニケーションを図るため、社員が自由に参加できる部活動を設置し、会社が支援をしている。マラソン部が前身のラン＆ウォーク部は、ウォーキングにも裾野を広げることで参加者を拡大。また、当社社員であるパラアスリートの北薗新光と古畑篤郎が、障害への理解促進とパラスポーツの魅力を伝えるため、2022年10月、それぞれの障害に関連した日に社内講演を開催。この様子は、公式サイトやSNSで社外にも発信した。



株式会社アルティネット

社内情報ツールを用いたスクワットの実施で社員の健康増進

全社的にリモートワークが中心となり、体を動かす機会が減っている中、自宅でも器具やスペースを必要としないスクワットで健康維持に取り組んでいる。社内の情報共有用のチャットで「スクワット」と発言すると、ランダムな回数（3～30回）のスクワット指示が通知される仕組みを採用し、各自のタイミングでスクワットができるようになっている。

アルフレッサ株式会社

ウォーキングイベントやオンラインヨガを開催し社員とその家族の健康も支援します！

3密を避け、楽しく継続的に運動が行なえるよう、ウォーキングアプリを利用し、毎日3,000歩以上を歩くことを目標とした「1Day3000」の開催や、コロナ禍で運動不足やストレスを抱えてる状況の中、家族も一緒に「身体」と「心」をケアできるよう、リラックスヨガを開催し、社員とその家族の運動不足の解消を後押し！また、イベントを開催することでコミュニケーションの活性化ができるよう支援、推進している。

株式会社 ANSIN-LINK

アスリートの雇用及びコロナ感染対策を徹底したスポーツ活動の推奨・実施

従業員の運動不足を解消し、リフレッシュする事で、生産性の向上と、健康促進を同時に確保する事を目的とし、各競技の社内経験者が中心となり、従業員が参加できる機会を企画・実施している。また、所属アスリートが大会に出場する際には応援ツアーを実施し、会社が一丸となって選手を応援する体制を作っている。マスク着用及びソーシャルディスタンスを意識し、競技前後の手洗い消毒の徹底（競技中も可能な限り実施）している。

株式会社イーウェル

健康経営を推進するために自社の健康管理アプリで運動習慣化のイベントを実施

登録した歩数を元にランキングや自分で設定したアバターが日本地図を移動するウォーキングマップなど、ゲーム性を持たせ毎日のウォーキングを促進している。また、歩数だけでなく体重・行動・睡眠・運動・食事も記録可能で健康課題を見つけることができたり、がんばった結果に対しての健康インセンティブポイント付与機能で、従業員のウォーキング参加意欲を促進、継続している。

株式会社アレックスソリューションズ

皇居1周ランニング会とオンラインランニング会のハイブリッド開催!!

毎月第4週木曜日に、本社のある溜池山王から皇居を一周して帰ってくる「社内ランニング会」を開催。また、出勤していない社員や在宅勤務の社員には、オンラインでの「ランニング会」を並行して、同時開催した。スタート時に「全員で頑張りましょう!!」と声を掛け合い、各自のコースを走っている。毎月オン・オフ合わせて10名ほどが参加しており、代表は毎回皇居一周コースに参加している。

株式会社アロー

自転車通勤手当の支給。毎月のミーティング時に運動機会の提供

2020年6月以降、感染対策と運動機会の確保も含め従業員の自転車通勤を推奨している。事業所から半径2km以内に在住する従業員、且つ自転車での通勤をする場合に月1万円の手当を支給。

毎月のミーティング時には運動機会の提供として、ヨガ体験やストレッチの研修を実施。講師は従業員からの有志で行うことが多く、従業員同士を知るきっかけとなっている。

E.OCT 株式会社

全社員参加による"街歩きオリエンテーリング"の開催

毎年10月に開催する「会社創立記念イベント」において"街歩きオリエンテーリング"を行っている。今年は「皇居周辺・丸の内」エリアにて開催。行幸通りを出発点に丸の内から日比谷公園に至る一帯において、各チームがエリアに関するクイズの「正解」を競い合うイベントを実施。全社員参加による約3時間、およそ10,000歩前後のレクレーションを楽しんだ。

イオン・シグナ・スポーツ・ユナイテッド株式会社

従業員の健康増進とコミュニケーションの場を創出

テレワーク勤務が主流となる中、健康増進とコミュニケーションの場として、従業員が主体となり共に楽しめるリクリエーションを実施。初心者が多いテニスでは顧問コーチが従業員一人ひとりに合わせたメニューを考案。従業員の家族も参加し、テニスの楽しさを実感する機会となった。また、業務時間中の軽いストレッチ運動など日頃から手軽にスポーツを行う機会を設けるなど、従業員の健康増進に役立てている。

株式会社イズミ・コンストラクション

本社及び、全現場にAEDを配備し、安全・安心なスポーツ施策を実施

当社はスポーツのもたらす効用を最大限引き出すために①毎日の朝礼時におけるラジオ体操の実施②階段利用の促進③スポーツ観戦機会の提供④速歩・小走りの勧奨⑤アスリートの積極採用⑥コロナ下での運動確保等の取組を行っている。そして、これらスポーツ推進施策を安全・安心に進めるためにも本社及び全現場にAEDを配備している。安全・安心な職場づくりや近隣住民の方々の緊急時にも役立てられるよう、AED研修を繰り返し実施している。

いちご株式会社

アスリートの社員雇用や、各競技協会スポンサー、Jリーグトップパートナー就任等による競技支援

ウエイトリフティング部・ライフル射撃部・陸上部を創部し、五輪メダリストを含む各部員を社員として雇用している。また、Jリーグをトップパートナーとして支援し、Jリーグの試合チケット等を株主様に抽選で提供し、スポーツ観戦とスポーツの振興に寄与している。

さらに社内には、ぶら下がり健康器などの健康器具を設置し、朝礼では、オフィスでできる健康豆知識等の紹介や、リモートワークによる運動不足などの予防として、健康に関するyoutube動画を全社員に定期的にメールで配信し、在宅で楽しめる運動やストレッチを紹介している。

伊藤忠エネクス株式会社

社内スポーツ活動支援制度による健康増進・コミュニケーション活性化への取組

グループ・部門を超えた各種スポーツ活動を行う社内同好会に対し、活動費用を会社が補助することで社員の健康増進の一助としている。

また、健康的な生活の習慣化を目指す取組と、社会貢献を掛け合わせたウォーキングイベントを実施。歩数平均（がんばり）に応じて寄付金が変動するなど、参加者全員が一体となって取り組める内容とした。

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

「健康推進イベント」の開催とスポーツイベントへの参加促進

「食べる・寝る・歩く」に着目し、楽しみながら生活習慣の基本を身につける健康推進イベントをエントリー制の非接触型で開催。動画セミナーの配信、ウォーキングのランキングなどを実施し、社員のコミュニケーションや「健康リテラシー」の向上に繋げた。また、3年ぶりに開催されたスポーツイベントの情報を発信し、感染対策を講じての参加促進に努めた。今後もより良い方法を検討しながら、スポーツを通した健康促進に取り組んでいく。

いちよしビジネスサービス株式会社

始業時にラジオ体操の実施

社員の健康が生産性の向上につながるとの趣旨で、短時間で全員が参加できることから、2017年4月から毎朝始業時にラジオ体操を実施している。コロナ禍のなか、感染対策を取りながら毎朝実施している。

出光ユニテック株式会社

スポーツを通じた心身の鍛錬とコミュニケーションの円滑化

心身の鍛錬と社員相互の親睦を目的として、社内スポーツクラブ活動に補助金を出している。その助成を受けるサッカー部は、取引先企業との対外試合等、一企業の枠を超えた活躍をしている。

また、新型コロウイルス感染症拡大による在宅勤務環境でもスポーツへの取組が続けられるように、イントラネットへのストレッチ動画掲載等、新しい働き方に沿ったスポーツ推進の取組を進めている。

伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社

Withコロナに応じた健康経営施策を実施

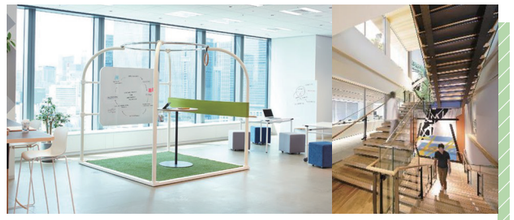
社内にインストラクターを呼び、月に一度、全従業員で実施する『オフィスでストレッチ』を、在宅勤務中にも参加できるようリモートでのライブ配信も導入・活用する形で実施。2022年11月の1か月間でウォーキングイベントを実施。アプリを通して随時、途中経過がわかり、参加者の平均歩数は1万歩を超えて社内コミュニケーションの大きな助けとなった。

株式会社イトー

北海道一周チャレンジウォークを実施 年間283.8万歩を目指す

全社員に万歩計を配付して歩数を毎月集している。

北海道の地図と主要11都市の周遊ガイドを掲示して、1年間で1,702.8km/283.8万歩を目指す。1か月毎に集計した累積結果を報告・周知して、社員の健康促進に対する意識向上に努めいている。



株式会社イトーキ

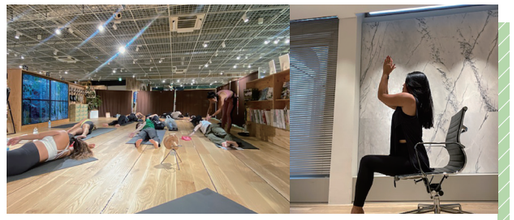
心身の健康を保つ「次世代Work Style」のオフィス空間を実現

日本橋本社オフィス「ITOKI　TOKYO　XORK」では、別フロアとのコミュニケーション構築のため、中階段の活用、全従業員向けの健康プログラム導入、スタンディングワークの配備、コピーや打合せでの移動といった業務に必要なオフィスでの日常行動が歩数アップにつながる仕掛けなど、各所に健康活動につながる工夫がちりばめられている。また京橋オフィスでは、月島からの移転時に健康になり仕事もはかどるような働き方を環境面から展開中。

INSIGHT LAB 株式会社

社内コミュニケーションを通じた運動提案で、それぞれのペースで行えるスポーツを提案

withコロナの時代となったものの、これまで行われていた部活動などの運動習慣が元に戻ったとは言えない状況。社内における新たな関わり方として、外部大会への出場に向けたチームメンバーの募集や、運動促進に役立つ福利厚生（健歩大会）についての周知など、それぞれのペースにあわせて行えるスポーツの提案を実施。リモートワークが主流になる中での、新たな運動との関わり方、社員への訴求方法を模索。



一般社団法人ウェルネスウェンズデー協会

オンラインでもリアルでも全力健康サポート！

エキスパートによる毎週水曜日に10分間デスクから離れヨガやストレッチなど、体と心のバランスを整える時間を設けている。

また、出社しなくても各自でアクセスできるツールも活用できるようにもなっている。

さらに、協会内だけにとどまらず協会員向けにも多種多様なコンテンツを用意している。

ウェルネス・コミュニケーションズ株式会社

健康意識向上のためスマートウォッチを希望者全員に貸与

社員の健康増進や運動習慣の動機付けを目的に、楽しみながら継続できる取組として、スマートウォッチを活用した健康経営を推進。ウォーキングイベントの参加者はスマートウォッチを使用し、歩数や心拍数を手軽に計測することで健康意識の向上や、運動習慣の継続化に役立っている。また、希望者は自ら減量目標などを設定し、週一回、定時1時間前に退社した上で、その時間を運動に充てることを許可する制度を設けている。

株式会社インテック

スポーツで「和」を深め時代の変化に対応しながら健康経営を推進

トランポリン日本代表のオフィシャルトップスポンサーとして、競技の普及に貢献し、選手の活躍を応援。

在宅勤務が進む中、アスリートのストレッチ動画を掲示板に掲載し、在宅勤務中や休憩時のストレッチを推奨している。

また、健康保険組合と連携しWeb上でのウォーキングイベントを開催。当社内やグループ企業間の社員がチームや個人で参加でき、楽しみながら競い合うことができることから、多数の社員からの好評を得ている。

株式会社ヴィクトリア

スポーツを愛するお客様に、健康増進・上達する為の最適な商品を提案するスポーツナビゲーターを育成

従業員を「スポーツナビゲーター」と呼び、自らの健康増進、スポーツ体験・経験を目的に、年２回まで個人・団体各種スポーツの負担費用をサポートしている。今年はコロナ禍で「ゴルフ」「トレッキング」「キャンプ」がキーワードとなり体験支援を実施。日本代表クラスのアスリート社員を雇用し、スポーツナビゲーターへの教育、店頭ではトップアスリート視点での接客アドバイスを行なっている。

また、フロア移動を階段で移動するよう推奨している。

ウェルネス・ブランド・コーポレーション

自ら姿勢改善の運動やウォーキングを実践。姿勢と運動・健康の大切さを知る機会・姿勢教育を普及

よい姿勢と健康な体づくりを提供するスタッフ自らが姿勢改善の運動やウォーキング、アウトドアスポーツを実践。自宅でできる筋力維持の運動や体の使い方、地域の人々の健康維持に役立つ情報提供をSNSで配信。体のゆがみと運動と姿勢の関係について知り、自らの体に興味をもってもらう機会を提供している。また、学校・公共施設での授業、講演会、地域の講座に講師を派遣し、姿勢教育の普及に努めた。

©ABEKEN/JWRF

株式会社内田洋行

国内トップクラス円盤投アスリート選手の雇用など日本のスポーツ振興を支援

2020年に陸上女子円盤投で国内トップクラスの競技力を有する辻川美乃利選手を採用。辻川は入社前の2019年日本陸上競技選手権で優勝、入社後の日本陸上競技選手権大会では3位の戦績を残す活躍をしており、競技活動と業務を両立する辻川を全社で応援することは、社内での一体感醸成にも寄与している。

他にも、日本車いすラグビー連盟オフィシャルサポーターとしての活動など、多方面から日本のスポーツ振興を支援している。

AGC 株式会社

オンラインヨガ講座の開催、職場や単身寮内に運動室を設置、任意参加の朝体操を実施

新型コロナウイルス問題を受けて外出や運動の機会が減っていること、また、在宅勤務を行う方も多く、心身のコンディションづくりが一層重要であることから、「オンラインヨガ講座」を開催した。

また、周辺にスポーツジム施設が少ない地域などは、職場内・単身寮内に運動室を設置して、日常的な運動習慣を促進している。

株式会社 HS コーポレーション

健康を通じて社会に貢献を企業使命として「企業・社員・地域の方々の三方が笑顔に」を目指し、取り組んでいる

学生部活動へのトレーナーボランティアの参加を行っている。全員参加の弊社名物「大運動会」、プロトレーナー主催の勉強会を社員向けに定期開催などを実施してる。

株式会社エコ・プラン

競技スポーツへの支援、そして職種間のコミュニケーションを促進

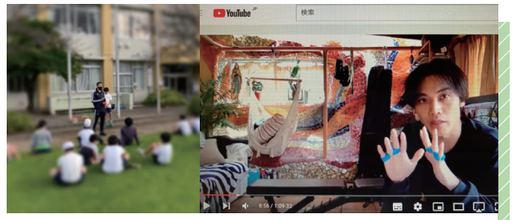
当社は採用・広報活動の一環として「部活動」「サークル活動」に力を入れている。2022年度、強化部活である軟式野球部が東京都秋季大会にて二年連続『優勝』。サッカー部も東京都社会人リーグ二部リーグ『優勝』を決め、来季より東京都一部に昇格。高いレベルを目指した競技としてだけではなく、部活動やサークル活動を通じて社員同士のコミュニケーション促進をはかり、人と人とのつながりを大切にしている。

株式会社エスエーティ

ボディチューニングの継続、健康アプリを活用したウォークラリーの実施

在宅勤務の社員が増え始めた、2022年よりオンラインでストレッチを行うボディチューニングを継続実施している。今年度は全社会議の際にオフラインでも実施した。

また、健康維持へのモチベーションを保つことを目的に健康アプリを活用したウォークラリーを実施し、部署間で競い合うことで普段より歩くことを意識できるような試みを実施した。



一般社団法人 A-wear 協会

公立小学校での運動指導ボランティア、アスリートへのトレーニング支援

公立小学校でのスポーツ指導ボランティアを月一度のペースで実施。

また、アスリートへのトレーニング指導及び運動器具提供支援その他。

YMCAやRFTC（乳がん早期発見啓発活動推進協議会）が主催するチャリティイベントでの景品として、運動器具とエクササイズのオンラインチケットを提供している。

ANA テレマート株式会社

社員の「アイディア力」で健康イベントを各部署で開催！

今年度は、スタンディングミーティングや終業後のヨガやウォーキング活動をはじめとしたイベントを社員自らが企画し、各部署で開催するなど社員の「アイディア力」で更なる健康促進を行っている。その他、例年取り組んでいる健康増進アプリを活用した「ANAグループWEBウォーキング大会」への参加や、オンラインで取り組めるヨガやフィットネスプログラムの利用を促している。

株式会社 NSD

自社開発アプリを活用し社員の心身両面の健康促進を支援

自社開発の遠隔健康支援システムCAReNAを活用した健康ポイント制度を実施中。これは歩数、血圧、体重等の入力や健康アンケートへの回答等により健康グッズ等と交換できるポイントを獲得できる制度。毎年改善を行っており歩数の順位がわかる機能や個人目標が設定できる機能等を追加。今年度はコロナ禍での社員の心の面にも着目し、ストレス低減や集中力アップを目的としたマインドフルネスを推進した。

NOK 株式会社

アスリート社員の活躍と従業員との交流を掛け合わせた【リモートWorkout】を実施

在宅勤務を行う中で、従業員の運動不足や社内コミュニケーションの低下が懸念される中、リモートにてアスリート社員によるトレーニング講習会を実施。2021年度より出張ワークアウトとして、全国各拠点へアスリート社員が実際に出向き、講習会の開催と運動指導を行った。多くの従業員が参加し、アスリート社員と交流し、従業員の運動不足解消と共に社内のコミュニケーション向上にも繋がった。

令和４年度 東京都スポーツ推進企業一覧（50音順）

NTT クラルティ株式会社

障害のあるアスリート社員の仕事と競技の両立を支援し パラスポーツで共生社会に貢献

2017年度より障害のあるアスリート社員をシンボルアスリートとして認定し、安心して競技に取り組めるよう様々なサポートを実施。社員が自主練習に同行したり、用具や練習のための施設費を会社が負担したり、現地へ同行できない試合はオンラインで応援。

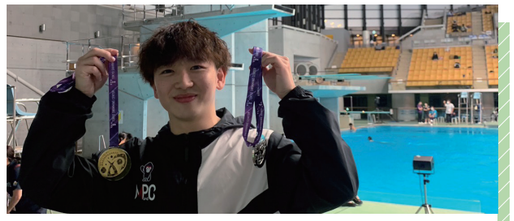
2016年度より実施している小・中学校等でのパラスポーツ体験授業では、感染防止対策としてビデオやオンラインを併用。パラスポーツの楽しさを通して共生社会の実現に貢献している。

株式会社 NTT 東日本 - 南関東　東京事業部

オンラインも活用したコミュニケーションで 社員・地域社会とのつながりにも新たな価値を

階段へのウォールデザインを実施。消費カロリーの掲出など、階段利用による運動の促進を訴求するとともに、SDGｓデザインも採用し、取組を複合的に展開。

また、「ウォーキングチャレンジ」を展開し、運動機会を創出。



株式会社 MPandC

アスリートの活躍が会社の活力に！ アスリート雇用を推進！！

スポーツビジネスの総合マネジメント企業であるMPandCでは現役アスリートを積極的に雇用し、デュアルキャリアを推進。現在は、陸上、フットサル、水泳（飛込）の選手がアスリート社員として活躍している。スポーツ市場15.2兆円に貢献する一つの施策として今後も積極的にアスリートを雇用し、競技の応援はもちろんのこと、業務を通じての人間的な成長をサポートしていく。

エモーショナルリンク合同会社

野球を通じてメンバー同士の 交流を活性化を図りました

エモーショナルリンク合同会社では、チームスポーツである野球を通じて、メンバー同士のコミュニケーションを活性化する取組を実施した。チームスポーツである野球では、メンバー同士のコミュニケーションが重要。スポーツを通してコミュニケーションを活性化、日頃の業務での会話のハードルを下げ、より業務でのコミュニケーションを活性化することを目的としている。

株式会社エフピコ

ユニバーサルスポーツであるフロアホッケー 活動をグループ企業あげて推進

障害のある社員・ない社員が同じチームの一員としてフロアホッケーに参加している。アスリートとしての参加は、全国９ヶ所（13チーム、うち東京3チーム）で、540名（障害のある社員181名、障害のない社員359名。2022/11時点）。さらに全国大会（東京）、西日本大会（福山）の大会運営スタッフとして多くの社員がボランティア参加している。

MS & AD インシュアランスグループホールディングス株式会社

スポーツを通じて「多様な人々の幸福（Well-being）」実現に取り組む

当社は、中期経営計画で掲げるサステナビリティ取組の中で、「多様な人々の幸福（Well-being）」を重点課題の一つに取り組んでいる。スポーツを通じて、健康で幸せな地域社会づくりやWell-beingの実現を目的に、MS&ADグループのアスリートやスポーツにゆかりのあるゲストを招いた「MS&AD Well-being Sports Project『晴れスポ』」やウォーキングイベントなどを全国各地で開催。

青梅信用金庫

全国大会出場を目指し活動する スポーツクラブへの支援

常に全国大会制覇を目標に掲げる野球部は天皇賜杯全日本軟式野球大会制覇を最大目標に掲げて活動している。今年3年振りに開催された東京都信用金庫野球大会では、10回目の優勝を連覇で達成し、各種野球大会でも常に上位入賞している。同じ目標を掲げるソフトテニス部は、全日本実業団選手権大会に27回目の出場を果たし、青梅市民体育大会では優勝している。さらに部の最大目標として日本実業団リーグ上位入賞を目指し活動している。

株式会社オーエンス

リレーイベントへの参加

日本陸上競技連盟主催の国立競技場で開催された、誰でも気軽にエントリーできるリレーイベント、「リレフェス2022」に参加。

4名×100mリレーに、200歳チーム（4名の年齢の合計が200歳以上のチーム）と職場の同僚チームでエントリーし、他部署、多世代の社員が一致団結しリレーに取り組んだ。

大塚製薬株式会社

社員と家族の健康と コミュニケーションをサポート

大塚製薬は健康宣言に基づき、社員とその家族の健康維持増進のための環境を整備。新しい日常の中での運動継続のため、トレーニング動画の在宅及び事業所での活用や、スマホアプリを用いたウォークラリーやバーチャルランを実施。各自の健康づくりと共に、グループ社員間のコミュニケーション促進にも活用している。各種大会では、選手・関係者の水分補給や体調管理支援と共に地域での健康啓発を関連団体と協業で実施している。

一般社団法人鬼ごっこ協会

鬼ごっこや各種スポーツやレクリエーションによる 社員の健康増進の取組

鬼ごっこを、子どもの学校教育や地域社会の遊びの時間の遊戯として、また大人には心身のリフレッシュや健康増進のための運動として取り入れて頂けるように活動をしている。

協会スタッフ自身も、心身の健康やメンタルヘルスのために、各種鬼ごっこやジョギング、フットサルなどの軽運動を継続的に実施している。

オリンパステルモバイオマテリアル株式会社

健康増進を目的に仕事の合間や 自宅でも可能なエクササイズの機会を提供

引き続きコロナ禍で在宅勤務の社員も多い状況の中、運動不足解消や健康維持が一層重要となっていることから、社員が気軽に参加できるオンライン形式でのエクササイズの機会を提供している。本社以外の拠点や営業社員の参加もあり、コミュニケーション活性化という観点からも、今後も同様の取組を継続する方向で考えている。

株式会社カーブスジャパン

全社員に対して「カーブスワークアウト」を 月8回以上実施することをルール化

全社員が月8回以上のカーブスワークアウト実施をルール化し、（一般職、時短勤務のメンバーは、月に５回以上としている）勤怠シフトにて実施回数を管理している。実施できない場合は、筋トレと有酸素運動を含む30分以上の運動をワークアウト1回分とした運動プログラムの実施を推奨。

鹿島建設株式会社

各種体操への取組 社会人アメフトチームに社員が所属

始業時のラジオ体操に加え、専門のインストラクター（社員）による全国の工事現場での体操指導も行っている。さらに、建設業界で開発された「建設体操」の普及にも積極的に取り組んでいる。また、鹿島ディアーズを由来とする社会人アメリカンフットボールXリーグ（X１SUPER）の強豪「胎内ディアーズ」に多くの社員が所属しており、チーム主力選手やコーチ、運営者として業務と両立を図りながら活躍を続けている。

株式会社かんぽ生命保険

ラジオ体操を通じて全ての人が 心豊かに過ごせる社会の実現へ！

ラジオ体操はかんぽ生命の前身である逓信省簡易保険局が1928年に制定し、現在は、かんぽ生命がラジオ体操で全国のみなさまの健康を応援する様々な取組を行っている。2022年7月31日（日）に、一宮市光明寺公園球技場で「第61回1000万人ラジオ体操・みんなの体操祭」を開催した。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で過去2大会が中止となったが、今回3年ぶりに開催することができた。

株式会社キープレイヤーズ

合同トレーニング会で健康的な 身体づくりを推進！

キープレイヤーズでは、一部パートナー企業との合同トレーニング会を実施している。基本は打ち合わせの後にオンラインで実施して、参加率を高めている。メニューは各自で設定しているが、メニューが思いつかない参加メンバーは、トレーナーにメニュー設定してもらい実施している。また、トレーニング用の器具の貸し出しも行い、自分の体調や目標に合わせたトレーニングができるようにしている。

株式会社キャプティ

労使共催による 『日本縦断ウォーキングイベント』の開催

社員一人ひとりの健康増進はもとより、運動不足・生活習慣病予防対策、そして社員間・部門間のコミュニケーションの活性化を目的として、労使共催による『日本縦断ウォーキングイベント』を開催した、2か月の開催期間中、高い参加率（81.7%）で開催することができた。

株式会社キャリアコンサルティング

感染対策しながらの縄文ストレッチと活力アップの歩け歩けコンテスト

日本の伝統的な動きを取り入れた「縄文ストレッチ」は、マスク着用・ソーシャルディスタンス・アルコール手指消毒を徹底して実施。コロナ禍での新様式に対応し、免疫力や基礎体力の向上に繋がっている。また、3人1組のチーム制で21日間の歩数を競う「歩け歩けコンテスト」では、参加者からは「仲間とやっていくとさらに楽しく健康につながることを実感できました。」という声も上がり、仲間と体を動かすことの価値がさらに高まる機会となった。

株式会社 協栄

トップアスリートの雇用と続けられる運動機会の提供

トップアスリートを雇用し、安心して競技で活躍できる環境を創出。

階段利用の促進や、バランスボールミーティング、スポーツゴミ拾いなど、日常的で継続可能なスポーツの実施をしている。

株式会社 協和

エクササイズのライブ配信でお客様も従業員も健康でキレイに

協和では2011年より平日朝、全従業員で朝のエクササイズをおこなっている。現在は生活様式の多様化に対応するためオンライン化。一般のお客様にも無料で開放している。講師は競歩の元五輪選手・柳澤哲ら、有資格者の社員などが実施。運動習慣をつけることを通じ、従業員とお客様の健康・美容に貢献するため、今後も継続していく。2023年1月には、さらに、”いつでも・どこでも”参加できる環境を作るためコンテンツのリニューアルを実施。

株式会社きらぼし銀行

スポーツの普及・振興を通じた地域社会の発展への貢献

Jリーグクラブ「FC東京」へ、応援イベントとして冠試合を開催する際に未来ある子供たちがスポーツを通して健全な心身の発達ができるように育成資金を贈呈。また2022年度は府中駅前のけやき並木通りにて府中市・NPO法人One Rugbyとの共催で車いすラグビー体験会を実施。車いすラグビーの元日本代表や現役リーグワン選手らがイベントを盛り上げ、地域の子供たちはもちろんのこと、幅広い年齢層の方が体験。

株式会社ぎょうせい

自転車通勤の推奨、階段利用促進など3密を避けた運動機会の提供

会社敷地内に無料駐輪場を設置したり使用距離に応じた手当を支給したりするなど、出社時の3密を避けることと、社員の健康維持との両立を考えて、自転車通勤を推奨している。また、階段利用した場合の消費カロリーを記載したポスターを掲示し、階段利用を促進している。

2017年から障害者アスリートの採用活動を開始。応援することを通じて組織力や社員のスポーツへの意欲を高めている。

©日本フェンシング協会

共同カイテック株式会社

クラブ活動が本格再開

対外的支援はプロボクシングからフェンシングまで実施、社内的には野球部、ランニングクラブを支援。マラソン大会が本格再開され、本格的に活動を再開した。

株式会社きらぼしコンサルティング

アスリートと提携しスポーツの力を活用して地域と共に歩む存在に！

元プロテニスプレーヤーが当社スポーツビジネスアドバイザーに就任、アスリートと提携した取組を実施。小学生バレーボール大会に参加し、未来ある子供たち、スポーツを通して心身共に健康に成長することの大切さを伝えた。また、車いすラグビー体験では、地域の人にスポーツを通して多様性に触れる機会を提供。他にも、アスリート人材の紹介を積極的に実施し、企業とアスリートとのマッチングも支援中。

錦城護謨株式会社　東京支社

社内ゴルフ大会の開催及びパラスポーツ大会への協力

健康増進や社員同士の交流を目的に全社的なゴルフ大会を開催している。現場の社員から管理職・経営層までが広く参加し、社内コミュニケーションの活性化に一役買っている。また、昨年度に引き続き、パラスポーツ大会への協賛・協力を実施。ゴールボールやブラインドテニス、フロアバレーボールの競技大会で、大会期間中に受付やコートの配置にあわせて誘導マットを貸し出すと共に設置協力を行った。

令和４年度 東京都スポーツ推進企業一覧（50音順）

クーリード株式会社

総合スポーツ部を設置。リレーマラソン大会に定期参加。

健康維持・増進や社内活性等を目的に「総合スポーツ部」を設置。活動費補助等の支援を通じて従業員のスポーツ活動を奨励し、リレーマラソン大会への定期参加等を行なっている。

コロナ禍においてもオフィスに機材を設置しての筋トレ、気分転換にウォーキングなど、新しい働き方の中で運動を取り入れている。また、秋には感染対策に留意しつつ人数を絞ってリレーマラソン大会にも出場した。

株式会社久慈設計東京支社

アスリート社員の広報誌発行による社内外への活動内容・近況等の周知とスポーツの推進活動

女子アイスホッケーの小西あかね選手を雇用しており、選手の近況や活動を報告する広報誌「あかねだより」の社内外への配付や、社員が練習の見学や試合への応援をするなど、社員一丸となって小西選手をサポートしている。

また、毎朝社内でのラジオ体操の実施や、パラリンピック競技の体験イベントへの参加など、積極的にスポーツの推進活動を行っている。

株式会社 Criacao

社員が選手も務める新宿のサッカークラブを通じ、地域に試合観戦・運動機会を提供

新宿を拠点にしたJFLのサッカークラブ「Criacao Shinjuku」の運営を行う。国立競技場での試合開催をはじめ、東京や新宿の方々に試合の観戦機会を提供。

また、サッカーだけではなく、スポーツを使った運動、学習の機会提供、交流のイベントなども、老若男女に向けて積極的に展開している。

株式会社グリーンハウス

部門ごとのオリジナルを加えて盛り上げるウォーキングイベント！

今年8回目となる全社ウォーキングイベントの実施や在宅勤務を推奨している本社部門向けのウォーキングイベントなど、働き方に合わせて手軽に運動ができる環境づくりを進めている。ウォーキングイベント開催期間にハイキングを企画したり、参加者同士で歩数達成の工夫やウォーキング中の風景写真をメールし合うなど、主体的に楽しみながら参加する工夫もみられる。また社内の健康運動指導士による3分程度の動画を社内報アプリ内で配信し活動量アップにつなげている。

株式会社グッピーズ

ウォークラリーイベントやスマートウォッチの支給アプリの活用で健康に！

今年度は「グッピーヘルスケア」の新機能の「ウォークラリー機能」を活用し、社内対抗ウォークラリーイベントを開催。楽しみながら運動の促進をする事ができた。元々社員の健康に対する意識は高い方ではあるものの、イベント以降より健康活動に参加する意欲も増え、さらに、健康に関するコミュニケーションも活性化した。また、スマートウォッチなどのウェアラブル端末を支給し、健康活動を身近に感じる事で社員の健康増進の後押しとなる支援をしている。

株式会社クボタ東京本社

ラジオ体操や健康管理室主催のイベントで社員の健康づくりを支援

JAPAN RUGBY LEAGUE ONEに加盟する「クボタスピアーズ船橋・東京ベイ」の強化、普及育成、企業・チーム・ファン・地域を繋げる基盤作りに取り組んでいる。

また、社員の健康づくりとして、毎朝のラジオ体操実施や生活習慣病予防の重要な柱である「食生活・運動・禁煙」に重点をおいた健康づくりセミナーを開催。

株式会社グリーンハウスフーズ

健康運動指導士によるいつでもどこでもちょこっとできる動画の配信

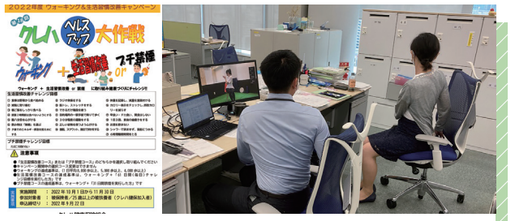
ラジオ体操の動画や、肩こり・腰痛などのテーマごとに、健康運動指導による3分程度の動画を作成。いつでもどこでもできる ちょこっと「ちょいトレ」として社内のだれもがアクセスできる社内報アプリを使って配信。在宅勤務下の運動不足解消はもちろん、手軽に運動ができる環境づくりを推進。その他、グループ企業が開発したヘルスケアアプリを活用し、チーム対抗のウォーキングイベントを開催。働き方を問わず運動の機会を創出している。

株式会社クレオ

社員の健康促進のため、健康イベントを開催

社員が楽しみながら運動を促進するチーム対抗のウォークレース「歩こうフェス」及び気軽にできる日常タスクの達成で健康の習慣化を促す「健康タスクチャレンジ」を実施した。

また、健康経営の取組のひとつで2014年から参加している「ITチャリティ駅伝」が3年ぶりに開催され、6チーム（計30名）が参加し、全員完走することができた。

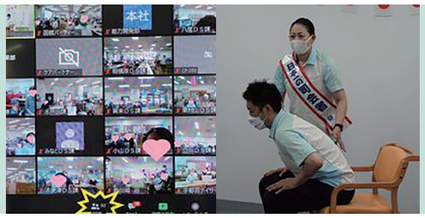


株式会社クレハ

在宅勤務でも運動習慣を意識付けられるよう、運動イベントを実施中

従業員に運動習慣を身につけてもらうことを目的に、健保組合と協力して4月～3月にかけて行う「年間ウォーキングイベント」や、生活習慣の気付きや意識改善を目的に、自身で設定した食生活や日常生活、運動習慣の目標をクリアしながらチャレンジする「短期（2ヵ月間）ウォーキングイベント」を企画し、毎年1回実施している。

その他、出社・在宅勤務中に軽い運動ができるよう、オンラインストレッチ講座を年に数回実施している。



ケアパートナー株式会社

全国の事業所をオンラインで繋ぐ仲間の輪

全国の事業所とスタッフを繋ぐ架け橋となった、オンラインを活用した「体操プログラム」は、コロナ過での運動不足や活動の制限を強いられる中、この時代だからこそ開催できた取組。ソーシャルディスタンスが求められる中、仲間との心の距離を縮める取組にもなった。ご利用者様とスタッフが、心と身体の元気が発信し続けるために「ケアパートナーで元気に！」を掲げている。

京王観光株式会社

クラブ活動を通じ、定期的な運動や部署間交流を実施・促進

多様なスポーツまたは、アクティビティを実施（水泳部、テニス部、サッカー部、マラソン部等）。主に終業後に活動を行っており、定期的に練習会や実業団・マスターズ等の大会へも参加。

また、合宿やキャンプ等も実施し、定期的な運動の促進と部署間交流を実施。

計機健康保険組合

健康保持・増進のため、年1回歩数年間ランキング表彰やスポーツイベントへの参加奨励

職員の継続的な運動のために、全職員に万歩計を配付し、歩数年間ランキング表彰を実施している。

また、コロナ禍で中止を余儀なくされていたテニス講習会を3年ぶりに開催した。テニスインストラクターによる、午前の部では「親子でテニスレッスン」、午後の部は大人の「テニスクリニック」を開催した。その他、フットサル大会、webウォーキング大会等、スポーツイベント参加を奨励している。

ケアプロ株式会社

スポーツを通じたケアプロ健康サイクル 考える・検査する・気づく・行動するの実践

当社のミッションである「革新的なヘルスケアサービスをプロデュースし、健康的な社会づくりに貢献する」を果たすため、社員の健康・スポーツ支援として、①健康・筋トレに関する教育コンテンツ作成 ②各事業所に体組成計を設置し、月初を「測ろう週間」と定め、社員の測定習慣を形成 ③ビジョンパートナー企業のサッカークラブ「クリアソン新宿」の応援企画を実施 ④有志メンバーで地域の駅伝大会に出場 等の取組を実施している。

KNT−CTホールディングス株式会社

『全国一斉 5:ゴ 3:ミ 0:ゼロ ウォーキング大作戦！』を実施

社員の健康な身体づくりと身近な社会貢献活動を目的とし、5月1日から5月31日までの1か月間で個人の歩数をスマートフォンアプリで集計し、ランキングを日時更新する「全国総参加型オンラインスポーツイベント」を実施。さらに1か月の期間の中で会社周辺の清掃活動も全国で行った。（ウォーキングウィークイベント参加者：343名　清掃活動参加者：514名）

株式会社ケー・ティー・システム

早稲田大学スポーツ科学学術院 岡教授監修、燃焼オフィス！

仕事をしながら運動ができる、そんな設備と環境を整えている。

昇降デスクは立ちながら仕事が可能で、良い気分転換にもなる。立ち会議スペースはちょっとした打合せ、午後の満腹タイムでも活躍中。

南東北グループ医療法人財団 健貢会 総合東京病院

職員の健康増進のための勤務外での部活活動実施

当グループでは毎年、球技大会・運動会、部活活動を開催・実施していたが、新型コロナウイルス感染症の影響でここ数年スポーツにおけるイベントを自粛せざるを得ない状況となっていた。本年度から徐々に規制緩和が始まり、職員の健康増進を目的として部活活動（野球、フットサル、バスケ、バレー）を再開。月に1～4回の頻度で実施し、11～12月には社内においてスポーツ大会を実施した。

株式会社健康体力研究所

真剣にカラダづくりに取り組む アスリートや大会を支援

私たち健康体力研究所は1977年から45年間にわたり、高品質で安全なスポーツサプリメントを開発し、アスリートに栄養とトレーニング情報を提供する支援をしてきた。今後もスポーツサプリメントのパイオニアとしてアスリート、大会の支援を行っていく。

また、パラ馬術競技日本代表の稲葉将選手やパリ大会出場を目指すパラサイクリング菅野一彦選手のサポートしている。

医療法人社団涓泉会　山王リハビリ・クリニック

アプリを利用した 法人内ウォーキングイベントの実施

企業対抗で1か月間の歩数を競う、スマホを用いたウォーキングイベントに法人として参加した。

それにより、オンライン上での自分の順位の確認などにより運動意欲の向上、そしてチームワークの強化などにもつながった。

広友サービス株式会社

お手軽スポーツのモルックで 社員が運動する機会をサポート！

従業員の運動の機会をつくるため、オフィス内でモルックができる環境を整備。勤務時間中のリフレッシュや、社員同士のコミュニケーションの場として活用している。

また、東京都主催のスポーツ推進イベントにて合計4日間モルックの体験ブースを出展し、年齢や身体的なハンデを問わず、誰でも手軽に楽しめるスポーツとして、来場者にモルックを体験して頂き、競技の普及活動をおこなった。

広友物産株式会社

手軽にできるモルックで「健康経営」を推進 社外でもモルック体験会を開催！

「健康経営」の取組の一環として、オフィス内でモルックができる環境を整備し、勤務時間中のリフレッシュや、社員同士のコミュニケーションの場として活用している。2022年は社内の活動以外に、社外のイベントにモルック体験会を出展し、来場者には体験をとおして、老若男女問わずプレーできるモルックの手軽さや楽しさを知って頂くことで、競技の普及をおこなうと共に、従業員の運動に対する意識の向上を図った。

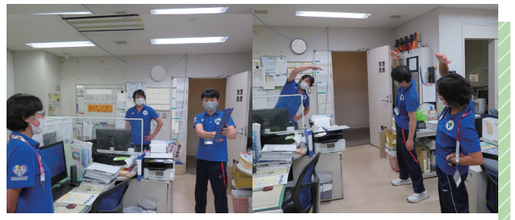
高栄警備保障株式会社

職務両道

空手道部は2008年に創部。

少人数からスタートして、現在は全日本実業団空手道選手権大会の団体組手で通算4連覇を成し遂げた。

仕事と空手道部の練習を両立させて大会連覇を目指している。



公益財団法人江東区健康スポーツ公社

職員全員で健康増進・ コミュニケーションアップを目的とした取組

職員の健康増進・コミュニケーションアップを目的とし、当公社が管理運営する７施設対抗で、「東海道五十三次踏歩」を行っている。この取組は職員の毎日の歩数を集計して実施しており、職員が身体を動かすきっかけ作りに寄与している。また、毎日の業務引き継ぎのミーティングはスタンディングで実施、ミーティング終了後には職員全員でラジオ体操を行い、職員へ運動の機会を提供している。

株式会社光和

現役アスリートの採用を通じ、 競技支援・スポーツ同好会支援

アスナビを通じて女子フェンシング・女子アイスホッケー競技のトップアスリートを雇用し、安心・安定して競技に打ち込めるように支援するとともに所属アスリートを応援することにより社内の一体感を醸成している。また、コロナ禍で実施ができなかったものの、社員の運動機会の提供のため社内スポーツ同好会活動を推奨。活動費用を支援することにより社員の健康増進と社員間の交流を深めている。

株式会社ゴールドウイン

～スポーツと環境を第一に考え、 スポーツを通じて豊かで健やかな暮らしを実現する～

当社東京地区運動会を、3年ぶりに開催した。新型コロナウイルス感染症対策を徹底して実施し、470名（従業員310名、そのご家族160名）が参加した。前日の雨もあがり、秋晴れの東京ベルディグランドでは、4チームに分かれてスポーツを楽しみ、従業員とその家族との懇親を深められた一日となった。

令和４年度 東京都スポーツ推進企業一覧（50音順）

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

ウォーキングイベント継続開催、アスリート社員の雇用と地域貢献活動

健康管理アプリを活用し、運動習慣確立とコミュニケーションの活性化を図るためウォーキングイベントを継続開催。

継続的に開催するウォーキングイベントが社員の運動習慣確立、自律的な健康保持・増進活動の一助となっている。

また、地域貢献活動としてカンパニースポーツクラブであるホッケー部員によるアスリート育成プログラムを実施。パラ・デフアスリートの競技活動を積極的に支援し、パラスポーツの認知度向上や障がいへの理解促進の取組を行っている。

国際ソフトウェア株式会社

歩数を競う歩け歩け大会や体重増加・腰痛改善のWEBセミナー実施

従業員の健康維持向上とコロナ禍により減ってしまった活動量を増やすため、毎年、2回、歩数を競う歩け歩け大会を実施。家の中でできる筋トレも加点の対象として、家庭の事情で外出する時間が取れない社員も参加できるように配慮。また、在宅ワークを行う社員が増え、体重の増加や腰痛の訴えが目立つようになったので、外部講師によるWEBセミナーを実施し、生活改善や室内での運動について学ぶ機会を設けた。

コニカミノルタ株式会社

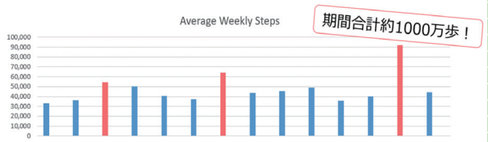
【新たなチーム戦】～好きな都道府県を応援しよう!!～

毎年定例開催しているウォーキングイベント（個人戦&チーム戦）に加え、新たに参加者個人が「好きな都道府県」を選んで参加登録する個人＆チームのハイブリット形式でのイベントを開催。好きな都道府県の選択理由は自由とし、さらに、掲示板を活用しながら自由なコメントを記載し合うなど、見知らぬ従業員同士の交流機会にもつながり、歩行習慣の活性化を実現。

株式会社コロプラ

パラアスリートの雇用と支援を通じた、社員が健康に働ける環境づくり

当社は"Entertainment in Real Life" エンターテインメントで日常をより楽しく、より素晴らしく」をMissionに掲げ、スポーツを通じた社会貢献活動の一環として、世界の舞台で活躍するアスリートを積極的に支援している。また、社員が長期的かつ継続的に活躍するためには心身ともに健康であることが不可欠と考え、生活習慣の改善サポート、ラジオ体操、ウォーキングイベント開催など、一歩踏み込んだ取組や、日常的に運動するための機会を提供している。



コグラフ株式会社

集まらなくても一緒にできる！

アプリを使って日々の歩数を自動集計。合計歩数に応じて会社がオフィスの緑化資金を提供。数名の有志で始めたこの企画。少しずつ参加者が増え、いまでは全社員の1/3程度が参加。社内にも定着。週末だけ比較的に歩数が増える人、コンスタントに1万歩越えの人、活動的と思いきや意外に5千歩も越えられない人など、仲間の生活が垣間見えるのも面白い。アプリさえ入れたら、あとは普通に生活するだけで緑化に貢献できる夢の企画。

コナミスポーツ株式会社

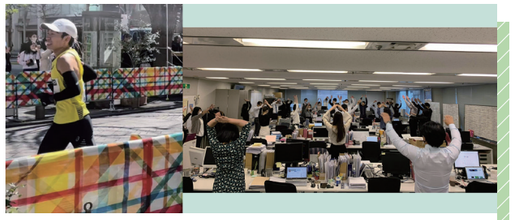
アスリートの社員雇用や運動ノウハウを生かしたスポーツの推進

水泳競技部と体操競技部の活動を通じて、スポーツ選手の育成・輩出に取り組み、次世代アスリートの育成や子供たちに指導を行うなど、競技と就労が両立できる環境整備を進めてきた。また、会員に向け、様々な大会・イベントを開催することでモチベーションの向上ならびに運動機会の創出を行い、グループ従業員に向けては、自社施設の利用料を会社が全額負担し、積極的な利用を促し、健康促進につなげている。

株式会社 KOMPEITO

アスリート雇用やY.S.C.C.横浜スポンサー契約・ストレッチ講習会を開催

F1リーグ所属「Y.S.C.C. 横浜」のプロフットサル選手や、ロードレーサー（自転車競技）などのアスリートを社員やアルバイトとして雇用。また、「Y.S.C.C. 横浜」とスポンサー契約を結んでいる。その他、コロナ禍においては感染症対策をした上でのフットサルの試合観戦や、自社社員のボディビルダーや理学療法士によるストレッチ講習会を開催している。また、自転車通勤の推奨などを通して継続的な運動習慣の推進に取り組んでいる。



サーチファーム・ジャパン株式会社

全社員参加のラジオ体操を実施 アスリート社員の雇用及び競技活動の支援

オフィス内にて朝礼時に全社員参加のラジオ体操を実施し、社員の健康意識や活力向上を推進している。

また、100km世界選手権や各種マラソン大会での優勝を目指すウルトラマラソンランナーをアスリート社員として雇用している。選手の成績や取組みの状況に応じて、大会参加費や遠征費等を補助し、競技活動を支援。大会後は、社内にて報告を行い、社員の競技に対しての理解を深め、相互の士気高揚を図っている。

サイショウ・エクスプレス株式会社

トラックの車内でもできる骨盤矯正トレーニングを実施

重いものを運んだり、長時間座ったままのことが多いトラックドライバー。社員の健康を図るため、骨盤矯正トレーニングや有酸素運動などをオンライン配信で実施した。この取組は「トラックに乗りながら健康になる」をテーマにトラックの車内でもできる動きを取り入れている。会社から離れた場所にいても心と身体をリフレッシュする機会を創出した。

株式会社坂根ホールディングス

ボルダリングイベント

従業員及び取引先とボルダリングを行った。

株式会社サニーサイドアップグループ

“たのしいさわぎ”の原動力！「幸せは歩いてこない」制度・「目指せ！A身体」制度などの福利厚生で社員メンバーの健康づくりをサポート

社員メンバーが健康であることが創造性や生産性の向上につながり、当社のスローガンである“たのしいさわぎ”の原動力となるという想いから、自主的なスポーツの機会を後押しする「クラブ活動支援」制度、「幸せは歩いてこない」制度、「目指せ！A身体」制度や、コロナ禍の働き方に合わせた「フィットネスレッスンの開催」など、社員メンバーの健康・生活に寄り添った環境づくりを進めている。

株式会社サンアメニティ

地域のスポーツイベント参加のほか、様々な機会を活用した小活動の積み重ねを推奨

社員の勤務地または、居住地域におけるスポーツイベントへの選手やボランティアスタッフとして自発的で積極的な参加を推奨。コロナ禍でイベント減少の中、個人での自主的なトレーニング実施のほか、少人数でのラジオ体操の実施、アプリを利用したウォーキング等の実施や、階段の利用、自転車通勤などの地道な小活動の積み重ねを推奨。これらの様子を社内ネットワークで情報共有して、個人個人の健康増進の意識を高め、スポーツ振興に反映。

株式会社 Sakupro

未来のアスリート達へ「食」のサポートを通し、社内を元気に

弊社が運営を行う、「CHICKENWORKS-SHIROKANE-」では、様々なスポーツの応援やサポートを行っている。2022年度は未来のアスリートを応援し、社内全体のモチベーションや心の豊かさを広げて行く活動を行った。様々なお力添えの元、小学生サッカー大会を開催し、社員が現地で子供たちの食事を作り提供した。子供たちの一生懸命な姿や食事中の笑顔に沢山の力をもらい、最高の事例を創ることができた。

サトーホールディングス株式会社

国内外ウォーキングイベント開催など「歩く！」に注力した健康づくり施策実践

2016年度より所属健保とタイアップした運動習慣者率向上策として全国規模でのウォーキングイベントを年に2回程度実施。毎回従業員の20%程度が参加している。

また、今年度より全世界拠点従業員を対象とした「ウォーキングイベント」を1か月にわたり開催。こちらも全従業員の20%程度が参加し、健康意識を高めた。

医療法人社団三医会 鶴川リハビリテーション病院

TOKYOナイトリレーin国立競技場 ～バトンでつなぐ挑戦～

2022年10月14日、東京都主催のナイトリレーイベントに鶴川リハビリテーション病院の職員4名を含めた10名1チームで大会に出場した。グループとしては10チームで参加した。

大会終了後も運動を続けている職員や、次年度の大会に意欲を見せる職員も多く、今後も活動の幅を広げる機会となった。

サンウィン株式会社

毎朝のラジオ体操を習慣に！社員・家族と一緒にスポーツ観戦会！

リモート業務が中心となったことによる運動不足の解消と健康への意識を高めるために、毎朝8時半から屋上に設けたストレッチ施設を利用して、ラジオ体操を実施し、運動不足の解消・心身のリフレッシュを図っている。

また、生活の一部にスポーツを取り入れるため、「週末スポーツ観戦会」として見るスポーツを楽しめる企画を毎月1回程度行っている。

三興塗料株式会社

三興塗料株式会社

プロスポーツチームのスポンサーとして、都民に愛されるチーム創りを応援する

サッカーJ1リーグ所属「FC東京」、バスケット女子Wリーグ所属「東京羽田ヴィッキーズ」のオフィシャルスポンサーとして、チーム活動及び試合観戦に来場するサポーターへ除菌用エタノールを寄付している。

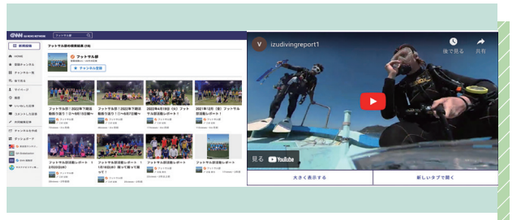
また、ＦＣ東京のチーム関係者・ボランティアスタッフ・スポンサー企業の皆さんと定期的に都内のゴミ拾いボランティア活動に参加している。

SUNTORY PASSION FOR CHALLENGE

サントリーホールディングス株式会社

サントリー チャレンジド・スポーツ アスリート奨励金

チャレンジド・スポーツの地域における普及・振興や、選手の育成・強化につながることを目的とし、47都道府県及び10の政令指定都市の障がい者スポーツ協会が推薦する若手アスリート及び、各協会または、各協会が指定する競技団体などの活動に対して奨励金を支給するもの。アスリートの活動費（義肢装具などの器具購入費、遠征費用など）や、各団体による競技振興のための費用（競技会・研修会の実施費用・参加費用など）に活用されている。



GA TECHNOLOGIES

株式会社 GA technologies

部活制度「GA Circle」と社内メディアを通じたコミュニケーション促進

当社には、「GA Circle」と呼ばれる部活制度がある。「GA Circle」では、スポーツを通じて業務上では関わりのない社員とも一緒に汗をかくことで、社員同士のコミュニケーションを促進している。

また、自社のイントラネット内で、活動のレポートや活動ムービー（動画）を公開することで、活動の雰囲気を伝え、参加の促進や、レポートを通じたコミュニケーションの活性化を図っている。

JKホールディングス株式会社

JK ホールディングス株式会社

アスリートとのスポンサー契約と社員の健康増進

プロゴルファーとスポンサー契約を結び、大会出場などのサポートを行っており、弊社ゴルフ部の活動やイベント等にも参加して、社員の健康増進のための活動をしている。また、社員の健康増進を図るため、毎朝の朝礼等でスタンディングミーティングを推奨・実施している。

シーイーシー健康保険組合

シーイーシー健康保険組合

スマートフォンアプリを使用したウォーキングイベントの実施

今年で4年目となるスマートフォンアプリを利用したウォーキングイベント【みんなのスマホ運動会】を実施。集まるのが難しいコロナ禍でもスマートフォンアプリを利用することで、継続してイベントを開催することができた。イベント期間中は、参加者のモチベーション維持のためにも目標を数段階設定し、目標達成者にはインセンティブをプレゼントしている。毎回大好評で回を重ねるごとに参加者も増加中。

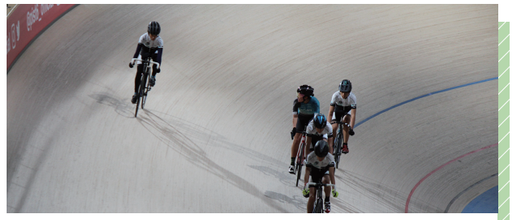
CAC 株式会社 CAC Holdings

株式会社 CAC Holdings

ボッチャの普及とその魅力を伝える活動を、グループを挙げて様々な角度から企画・実施

CACグループのボッチャ普及・支援活動7年目の今年、新型コロナ感染症拡大のため実開催を見送っていた、グループ社員が企画・運営する弊社主催のボッチャ大会「CACカップ」を3年ぶりに実開催。本社屋のボッチャコートの貸し出しや体験会の依頼も増え、弊社所属のボッチャアスリートも対外活動を再開した。

また、社内ボッチャサークルのメンバーは練習会や大会参加を、グループ所属審判員は各地の大会で審判員活動を継続している。



JPF Jump for Positive Future

株式会社 JPF

自転車競技を始めとしたスポーツ振興の輪を地域に広げる

コロナ禍で注目を集めた自転車は移動手段だけでなく、スポーツとしての側面も幅広い。弊社では運営を行っている競技場を始め、自転車競技の普及そしてスポーツ推進の場を各地で提供している。国際大会で活躍した選手を採用し、選手のネクストキャリアをサポートしながら次世代選手育成にも寄与。また社内部活動や自転車助成金制度を設け、社員全体でもスポーツに触れる機会を増やしている。

JPホールディングス

株式会社 JP ホールディングス　東京本部

部活動支援などにより社員の健康増進をサポート

従業員の健康的な体づくりを促進するため、社内交流をしながらスポーツを楽しむ、従業員主体のクラブ活動を支援する社内制度を設けている。

J-Workout 株式会社

パラダンスの世界への入り口としての統一団体をJ-Workoutは支援しています。

日本パラダンスポーツ協会（JPDSA）の趣旨に共感し、協会設立以来、練習会や指導者講習会等のサポートとしてトレーナーを派遣するなど、運営の支援を継続している。2023年8月には、WPDS公認の国際大会が代々木体育館で開催されることが決定している。

株式会社 JTB

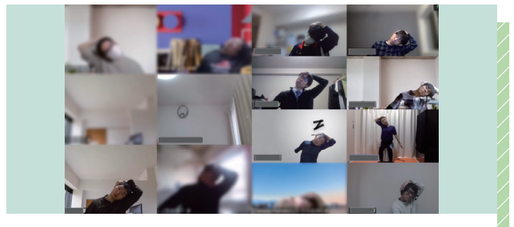
「見る・する・支える」観点でのスポーツ界への貢献と社員への健康サポート

「みる・する」というスポーツコンテンツに留まらず、JTBでは「支える」の面でも各スポーツ競技団体や大会への協賛貢献を始め、フェンシング日本代表の松山恭助選手や、パラアルペンスキーのアスリートの小池岳太選手も雇用しており、スポーツ選手のサポートにも力を入れている。さらに、社員へ健康促進として、松山選手が教える簡単ストレッチの動画の全社配信や、ウォーキングラリー等も開催し、社内でのスポーツを通じた健康支援も続けている。

システム・エナジー株式会社

スポーツの力でエナジー全開！ウォーキングイベントと部活動

活動が盛んな各クラブ。フットサル部、野球部、テニス部、ゴルフ部、ウィンタースポーツ部など多様なラインナップ。新入社員歓迎会はボウリング大会でお出迎え。また、社員とその家族が参加するウォーキングイベント「エナジーウォーク」を開催。各自がスマホに歩数計アプリをインストールし、自宅周辺を歩いて歩数を競い合う。個人戦に加えて部門対抗もあり、社員同士の結束力向上を図っている。



株式会社ジップス

オフィスヨガレッスンの実施

全社会議の場で、オンライン配信によるオフィスヨガレッスンを実施。オフィスチェアに座ったままでできるヨガポーズを中心に、身体の凝り・浮腫みを改善するストレッチや自律神経を整える呼吸法などをプロ講師に教わっている。

シグマアテンドサービス株式会社

日々の体操とチャリティーマラソン参加

コロナ禍でも日常にできる体操からスタートし、郊外で出来るスポーツに取組み、さらに所外スポーツへの取組も含みチャレンジをしてきた。

今後はさらに誰でもできるスポーツに取組み、お手伝いをしながら、交流を深めていきたいと思っている。

株式会社じげん

社内スポーツ活動支援に加え、3x3のプロチームを新設

2022年度より、「学生の町」と言われる京都に新オフィスを立ち上げ、京都を本拠地とした3人制プロバスケットボール（3x3）チーム「じげんアップデーターズ」を新設。チームスローガンは「UPDATE the YOUTH」～若者の挑戦を応援していく～。選手陣は京都に所縁のあるメンバーが集結し、現役大学生も所属。運営には学生インターンを巻き込み、多方面のステークホルダーと連携した活動を実践している。

清水建設株式会社

パラスポーツの普及によるインクルーシブな社会の実現

全国各地で子供たちを対象にしたパラスポーツ体験会を開催し、パラスポーツの魅力を発信。体験会では、パラスポーツの体験に加えて、パラアスリートの講演や交流の場を設けて、様々な角度からパラスポーツへの理解を深める機会を提供。また、社員も運営ボランティアとして参加することで、ボランティア意識の醸成を促進。今後も引き続きパラスポーツの普及を通じ、誰もが輝き続けられるインクルーシブな社会の実現に寄与。

株式会社シモン

社員が楽しく健康づくりができる環境を提供できるよう心がけている！

- **朝のラジオ体操**　毎週水曜日の朝にラジオ体操音楽を本社ビルに流し全社員でラジオ体操を行っている
- **階段推奨**　なるべく階段を使うように推奨している。10段ごとに消費カロリーと応援メッセージを表示している。
- **わーくわくウォーキング**　各部門から参加者を募集し、2か月の歩数を競い合っている
- **スポーツ補助金**　有志が集まりスポーツをする場合の申請手続きを行うと、1人につき1,000円を支給している。

令和４年度 東京都スポーツ推進企業一覧（50音順）

株式会社JALスカイ

株式会社 JAL スカイ

Wellnessリーダーが中心となりオンラインと対面の両方でスポーツ活動を推進

コロナ禍において、ITツールを活用しての情報発信や、オンラインでのフィットネスレッスン、ラジオ体操など、密を避ける工夫をしながらイベントを行い、身体づくりを実践した。特に、運動習慣を身に付けることを目的としたウォーキングイベントでは、社内でチーム対抗形式にし、上位チームを表彰するなど、楽しく運動促進できるように取り組んだ。

Jalux

株式会社 JALUX

「ちょこっと運動」、文体会活動を積極推奨し、健康経営を推進

運動不足対策として、お昼休みを活用し、バレーボールを使った「ちょこっと運動」を継続実施。リレー＆リレー方式で多くの社員が「ちょこっと運動」に参加している。

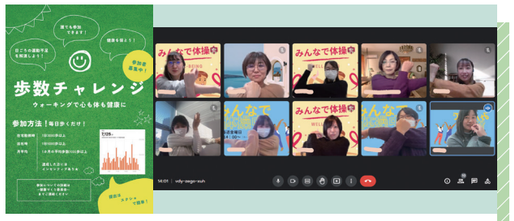
また、運動機会増進と地域活動を合わせたウォーキングイベントや地域清掃活動へも積極的に参画。社員の活力や組織の活性化を図ると共に、文体会活動の推奨・支援も行い、社員同士のコミュニケーション強化を促進し、スポーツを通しても良好な関係を構築している。

出版健康保険組合

健康保持増進のためスポーツ大会の実施とスポーツ環境の提供

野球、テニス、卓球、バスケットボール等各種大会を実施し、健康保持増進に努めている。

また、スポーツクラブと契約し身近に運動ができる環境作りに取り組んでいる。さらに、さいたま市に所有する野球場・テニスコートについては、有効活用となるよう一般貸出を行っている。



SCHWAN

株式会社シュヴァン

ウェルビーイング向上のため社員の健康づくりを支援！

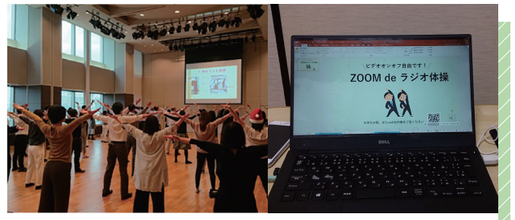
在宅勤務中に毎日3,000歩（出社の場合は5,000歩）の目標を設定し、社員の運動不足解消を促進。毎月、達成した者にはインセンティブを支給する取組を1年以上、継続中。健康維持と気分転換をテーマにGoogleMeetを利用したオンラインでの体操を毎週金曜日に実施。Slackにフィットネスチャンネルを開設し、運動動画を共有することで社員全体のウェルビーイング向上を図っている。

JAPAN AIRLINES

株式会社 JAL ナビア

運動不足解消のために様々な運動イベントを実施し健康増進を目指す

肩こり・頭痛に悩まされる社員が多いため外部講師を招いて、ヘッドマッサージセミナーを実施。参加者は各部を代表するウェルネスリーダーで、セミナーを受けたリーダーは部署のスタッフへ会議などを利用して伝授。また、運動不足解消のため社内ウォーキングイベントを全社員に呼びかけて実施。JALナビアにてオリジナルで作成した、WEB会議の隙間時間に、座ったまま2分でできる目・首・肩の凝り解消に効く体操の継続実施と椅子ヨガを実施。



JALPAK

株式会社ジャルパック

できることから始めよう続けよう、スポーツを通して心身ともにリフレッシュ

全社一斉のラジオ体操を毎週の恒例行事として実施し３年間となります。出社の人、在宅勤務の人ともに参加できるようオンライン形式で、任意参加であるものの当日はお互いに声をかけあいながら取り組んでいる。心身のリフレッシュの他、一斉に行うことで社内の一体感醸成にも繋がっている。やはりスポーツは無理なく続けることが大切！。今後とも社員の健康増進のためにも継続したい。

Enjoy Car Life JOYCAL

株式会社ジョイカルジャパン

～人生100年時代～社員に健康を。自身の将来を見据えて

健康経営を目指し、ただ運動をするのでなく食生活の知識向上を兼ねてプロジェクトチームや衛生委員会を設置。テレワーク導入から外出機会が減り、社員が運動不足を実感し、体の不調に危惧をした。

そのため福利厚生の一環でプロのトレーナーをお呼びして運動不足の解消、さらにコミュニケーションを図ることにも成功。

休日も登山やフットサル等の運動を楽しみながらできるよう「ハピホリ」制度を導入し、現在も取り組んでいる。

Johoku Shinkin 城北信用金庫

城北信用金庫

アスリートの雇用・地元チームの応援を通じた地域社会への貢献

当金庫にはこれまで8名のアスリート職員が在籍し、競技と両立しながら講演会やスポーツ教室などを通じて地域住民と交流している。現役引退後の選手も各部署にて活躍しており、アスリートがセカンドキャリアを含めて長く地域社会に貢献していける環境となっている。また、女子プロサッカーチーム「日テレ・東京ヴェルディベレーザ」をコーポレートパートナーとして応援しており、同チームと共に親子向けイベントの開催などを行っている。

SHIRO GYM

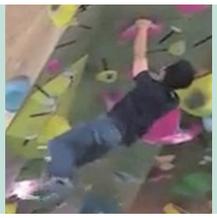
シットビクスを発案、実施。身体の快活を共有して仕事効率UP！

スタッフやお客様の身体の情報、悩みを共有してスタッフ同士で改善策を考え、実施をしている。（オンラインでも実施）例えば肩こり解消には棘上筋をほぐすシットビクスの実施、運動不足の場合は、ウォーキングをしてから出社するなど実施。

株式会社シンカーミクセル

「自宅／個人単位での運動を推奨」しつつ、「社員同士でつながる」ことに着目！

テレワーク、Web会議、対面イベント自粛など社員同士の繋がりが実感しにくい環境の中、「新しい生活様式」下でのスポーツ推進活動を社員と試行錯誤しながら進めている。今回の対象期間では、ウォーキングアプリイベントに参加し、参加前後で社内報に活動の様子や感想を共有することで、社員同士の繋がりを育んだ。また、年間を通じて健康管理やスポーツに関する情報を配信し、その内容は社内Wikiに集約し社員向けに公開している。



新宿税理士事務所

みんなでボルダリング

従業員及び取引先と一緒にボルダリングを実施した。

株式会社 THINK フィットネス

仕事と競技が両立できる環境づくり

部活動として、男女硬式野球部、男女陸上競技部、男女バスケットボール部などがあり、精力的に活動を行っている。会社として、アスリートが働きながら競技を続けることができる環境をつくり、全社をあげて支援している。また、各部活動は、試合結果や日々の活動をＳＮＳなどを通じて社外のファンへも発信しており、クラブチームとして各種大会等で好成績を上げている。

株式会社シンク

「防災スポーツ」を社内実施、スポーツチーム･イベントへ協賛及び従業員参画

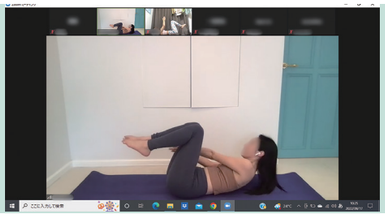
スポーツで災害に強くなる「防災スポーツ」の体験プログラム「防リーグ」や「防災ウォーク」を社内で実施した。スポーツとして取り組むことで防災意識を高めると共に、健康意識を高め、日常のスポーツ実施につなげた。また、コロナ禍におけるスポーツ活動を促進するため、会社のある千代田区のバレーボールチーム「東京スリジエ」や「マスターズ甲子園」といったスポーツチーム･イベントへの協賛を行い、従業員やその家族も積極的に参加した。

シンコースポーツ株式会社

社内共有ツールを利用し、健康情報や自社開発プログラムの動画配信

社内共有ツールを利用し「健康情報」を掲載する取組を実施した。健康情報活動を通して、勤務時間中や自宅での簡単な運動、日常生活に欠かせない食事･栄養等の情報を提供。

また、従業員向け動画配信ツールを利用したストレッチや自社開発運動プログラムの動画配信、勤務前のラジオ体操の実施を通して従業員の健康意識を高める活動を行っている。



株式会社スタイル・エッジ

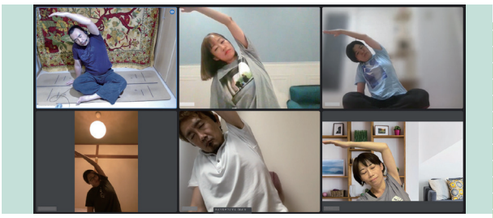
全従業員が参加できるオンラインヨガの開催

2020年9月よりプロのヨガ講師を招聘し、ヨガイベントをオンラインにて開催している。2021年11月から2022年9月までで計87回を実施。自社だけでも計195名が参加。グループ会社及びクライアントの方々にもご案内することで累計266 名の参加となりました。他にも、社内掲示板を通じて「健康意識の向上を目的とした取組」の一環として「健康と運動に関わるプチ 情報」を全従業員に配信している。

株式会社スパイス

良い姿勢を意識できる椅子「ジェリーフィッシュチェア」

社員の椅子に「ジェリーフィッシュチェア」を導入している。この椅子に座ってバランスをとろうとすると、無意識に普段使わない筋肉を使い自然に腹筋・背筋を鍛えられる要素がある。また、バランスをとろうとすることで自然に正しい姿勢に導かれる。ながらエクササイズとして、無理なく継続的に続けられる。



株式会社 Sprocket

オンラインも活用した運動と コミュニケーションの機会を創出！

Sprocketでは、コロナ禍以前から在宅やリモートワークが定着しているため、社内の部活もオンラインとオフラインを交えて実施している。ヨガ部は誰でも参加できるようにと、夜にオンラインで実施。

また、ゴルフ部はアクティブにオフラインで活動している。運動を通した社内コミュニケーションと健康維持を目的としている。

株式会社スヴェンソンホールディングス

卓球関連イベントの開催･協賛を実施、卓球選手へのサポート支援

日本卓球協会とオフィシャルサプライヤー契約を締結し、卓球男子日本代表･パラ卓球男女日本代表へのウェア提供を実施。卓球男子日本代表 丹羽孝希選手と所属契約。卓球関連イベントを定期的に開催し、幅広い世代に卓球を浸透させる取組を実施。

SpoWell Lab 株式会社

スポウェルスイヨウビ

毎週水曜日には何かしらのスポーツを「する、みる、支える」という活動を実施している。弊社はスポーツ：ウェルネスを通じて社会に新しい価値創造をもたらすことを生業にしている企業。スポーツやヘルスケア系で従事している人が最も健康的に働いてほしいと思っている。健康経営優良法人と並び、このような認定は積極的にとってほしいし、そのような風潮を生み出して行きたい。

株式会社スポーツインダストリー

次世代ゴルファー（ジュニアゴルファー）の応援･支援

次世代ゴルファー（ジュニアゴルファー）にもっとゴルフを楽しんでいただくために、ジュニアリーグの応援･支援をしている。13歳以下の男女を対象にゴルフを通じて、学び楽しむため、団体の中で共に行動し「チームで勝利する」という同じ目標に向かうことを応援している。

スポーツコミュニティ株式会社

社内のスポーツ活動の奨励や活動に対する補助金の支給

社内のスポーツ活動に対する推進を、毎日の朝礼や毎週の全体会議で促進している。コロナ禍で引き続き支援活動は制限されているが、野球･フットサル･バレーボール･ゴルフなど少しずつではあるが活動を再開している。1年先に開催を延期することになった、社内スポーツ大会は2023年度の開催に向けて企画を進めている。

株式会社スポーツビズ

社員スポーツ活動への支援

社内スポーツ活動促進制度を実施（テニス･野球･ゴルフ等を中心にいろいろな競技での社内スポーツ活動や、社外スポーツイベント等への参加が対象）。発起人が開催ごとに全社員へメールで開催日時や内容を告知して参加者を募集したうえで、毎週の全社朝礼で参加を呼び掛けるほか、各部署の責任者は部員がより多く参加できるように業務の調整を心がけている。また、施設利用等の費用の一部を会社で負担するなどして、社員のスポーツ活動を支援している。

株式会社スポーツフィールド

スポーツに関する活動、アスリートに向けたキャリア支援

野球部をはじめとした部活動、スポーツイベントの参加推奨、大学部活動と協力し大会を開催するなど、スポーツに関するイベントの参加、企画･運営など行っている。また、アスリート向けのビジネス研修など、スポーツに関する支援に取り組んでいる。デュアルキャリアアスリートとして活躍する社員が在籍しており、自らが経営理念の「スポーツの価値可能性を様々なフィールドで発揮する」活動を行っている。

株式会社スポスル

オールジャンルのスポーツを通して社内外交流！

スポスルは「スポーツを通して人々の人生を輝かせる」という壮大な夢を持ち続け、弊社サービスを通じてスポーツチーム･スクール･教室へのDX推進を目指している。

働く社員たちにも社内チーム･サークル活動普及の支援を行ったり、マインドスポーツとしてボードゲーム大会を開催したり、スポスルカップという冠大会を開催し、フットサルやドッジボールの大会を主催している。

令和４年度 東京都スポーツ推進企業一覧（50音順）

住友ゴムグループ
株式会社 住ゴム産業

株式会社住ゴム産業

毎週月曜日の健康増進と社員のスポーツ関連活動

東京本社では毎週月曜日の朝礼前にラジオ体操を行ってから始業している。

また、スポーツ人工芝を手掛ける部署があり、その縁で神宮球場に社員が好きなカードを申請して（抽選で）観戦に行くことができる。

さらに、サッカー好きが集まって休日にフットサル大会に出場することもある！コロナ禍で停滞していた行事も徐々に復活させている。

あなたの未来を強くする
住友生命

住友生命保険相互会社

ウォーキングイベント継続／parkrunの推奨／親子スポーツイベント開催

各部署でチームを作り平均歩数を競うウォーキングイベントを継続実施。スマホアプリ「kencom」を導入し、励まし合いながら楽しく取り組んでいる。スニーカー通勤も推奨中。また、毎週土曜の朝、公園等でウォーキング、ジョギング、ランニングまたはボランティアができる無料イベント「parkrun（パークラン）」に協賛し、職員の参加も推奨している。その他、トップアスリートによる親子スポーツイベントをオンラインで実施している。

信頼される安心を、社会へ。
SECOM セコム医療システム株式会社

セコム医療システム株式会社

対面でもリモートでも！運動習慣定着と生活習慣改善の健康支援

オフィスでもテレワークでも従業員の健康を支援すべく、アプリで記録した歩数や食事などから算出される「健康スコア」を競い合う健康チャレンジキャンペーンを開催した。顧問医師によるオンラインでの「健康ミニ講座」では「肩こり解消」や「足腰と心を鍛える」などをテーマに、肩こり･転倒予防のための体操や筋トレを実施。本年は、コロナ禍で控えていた登山イベントも開催し、秋晴れの高尾山登山が心身のリフレッシュにつながった。

Z HOLDINGS

Z ホールディングス株式会社

全社員対象のオンライン体操･健康イベントの実施

Zホールディングス株式会社は代表取締役社長 Co-CEOの川邊健太郎が「健康宣言」を行い、働く人の心身のコンディションを最高の状態にすることが最大のパフォーマンスにつながり、働く人自身とその家族の幸せにつながると考えている。健康増強月間として10月のイベント「UPDATEコンディション月間」ではパラアスリートによるオンラインストレッチ講座やアプリを活用したインセンティブ付与型のウォークラリーを健康保険組合とともに開催。社員の健康保持･増進に努めている。

住友不動産エスフォルタ株式会社

住友不動産エスフォルタ株式会社

社内部活動の自主トレーニングへの切替え/アスリート社員に対する活動支援

コロナ禍で、各スポーツ部門の大会が中止となったため、感染防止を第一に考えながら各社員自主トレーニングに切替えて実施した。

アスリート社員に対しては、競技成績や取り組みに応じて、大会参加費や遠征費の補助を実施している。

また、勤務シフトの調整や担当業務の分担を工夫することで、練習機会の確保と大会参加を推進しており、お客様や若手社員のロールモデルにもなるため、支援制度を設けている。

医療法人社団 せいおう会
鶯谷健診センター

医療法人社団　せいおう会

階段利用促進やスポーツクラブ会費助成等による活動量UP！

新型コロナウイルス感染症対策も踏まえ、エレベーターの利用を控え、階段を積極的に利用するよう推奨している。全ての階に、階段昇降による消費カロリー表を掲示しており、活動量UPへの士気を高めている。

その他、健康イベント情報の社内周知、スポーツクラブ利用者への月額会費補助により健康増進活動を支援している。

zetton inc.

株式会社ゼットン

クリーン活動で社員間のコミュニケーションと健康を促進

神奈川県片瀬海岸西浜、葛西海浜公園内、渋谷周辺それぞれの箇所で月に1度程度のクリーン活動を実施。定期的にクリーン活動をを行う事による地域への社会貢献だけでなく、早朝から自らの意志で社員が参加する事により、清掃活動を兼ねたウォーキングによる健康促進や心のリフレッシュ、社員間でのコミュニケーションの場にもなっている。

Cerrotorre

セロトーレ株式会社

スポーツ事業者として、社員自身がスポーツを楽しむ姿勢を応援

自社で手がける朝のスイムセッションやオンライントレーニングの無料開放、社外イベントの参加費補助、地方自治体と連携して開催しているスポーツ合宿と合わせてのワーケーションも実施。社員自身が日常的にスポーツを楽しみ、健康増進と自社事業のサービス向上につなげている。

セントラル警備保障株式会社

職場でのラジオ体操、運動部活動奨励制度の取組

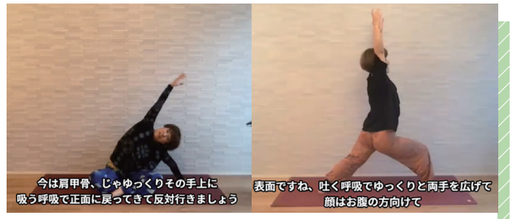
本社及び各支社では、定時（本社は15時）に仕事を中断して、ラジオ体操でリフレッシュを図っている。

また、剣道部、柔道部、空手道部、居合道部、及び合気道部の5武道部を会社の公認運動部として応援、支援しており、部員数は年々増加している。経験がない社員や復帰希望社員の体験入部も奨励して、社員への普及や各部の活動拡大を図っている。

セントラルスポーツ株式会社

世界に通用するアスリートの育成･雇用、パラスポーツ普及･推進、着衣水泳教室の実施

世界に通用するアスリートの育成と雇用を行い、スポーツの素晴らしさや価値について伝えていけるようスポーツの普及･推進をしている。海や川などでのレジャーが盛んな日本では、水難事故防止は重要な社会課題となっている。重大事故となる危険性を回避できるよう地域貢献活動の一環として、近隣小学校等に指導員を派遣し、水中で衣服を着用した状態の体験や命を守る方法等を伝える「着衣水泳教室」や「机上講習」を無償で実施。



ソフトバンク株式会社

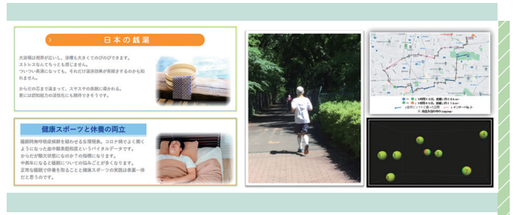
「健康経営」を掲げ、社員の健康維持のための取組を推進

社員一人ひとりが心身共に健康であることが、会社と社員のビジョンを実現する原動力であると考え、社員の健康維持･向上を重要な経営課題の一つと位置づけて、健康経営に取り組むことを宣言している。ヨガやストレッチ動画等を内製化し、在宅でも簡単に運動できるように社内イントラネットにて公開。月1回の全社朝礼開始前にもヨガを実施するなど運動の習慣化を促すイベントを開催し、社員の健康維持･増進に取り組む。

株式会社ソフマップ

従業員の健康維持、増進につながる持続的な軽運動の推進「階段利用の促進」「スタンディングミーティングの実践」

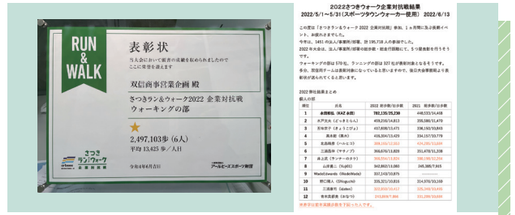
厚労省が職員の健康づくりと運動習慣改善のために実施した同キャンペーンを当社でも促進。通勤時、勤務時間中の移動はできるかぎり階段を利用して、運動不足の解消、運動習慣化の意識向上を図った。また、短時間の打ち合わせ、相談などはスタンディングテーブルの利用を推奨。会議室と違い予約不要で直ぐにミーティングを開始できる、起立しての業務は集中できる、リフレッシュできるとメンバーにも好評。



株式会社 SOily

健康スポーツの効果を高める試み

健康スポーツの効果を高める方法を探求する。有酸素運動（ジョギング）負荷の度合いや、休養（睡眠, 入浴）の取り方を比較。効果の指標として、認知トレーニングのスコアや血管年齢の変動等に着目する。各人に最適と思われる健康維持･増進法の継続に結び付ける。



双信商事株式会社

全社員参加型で企業対抗戦などに参加と日々の健康管理

「さつき･ラン＆ウォーク企業対抗戦」、2022年5月の1か月間に走った距離や歩いた歩数をアプリ上で競う企業対抗型のオンラインイベントに参加。2チームで参加し、1日･1人平均歩数目標を10000歩に設定、両チームとも目標をクリアすることができた。営業企画チーム　31位/1451社　13,385歩/日管理チーム　48位/1451社　11,985歩/日

損害保険ジャパン株式会社

「安心･安全･健康のテーマパーク」の実現に向け、夢と希望を与えるスポーツ支援

パートナー契約中のホッケー日本代表の国際親善試合への協賛をはじめ、将来を担う子供たちを対象としたスポーツ向けホッケーイベント「夢見るホッケー教室」や「ＳＯＭＰＯボールゲームフェスタ」への協賛をし、幅広い世代にスポーツの素晴らしさを体感する機会を提供。また、「足が速くなるダンス」や「脳が活性化するダンス」を開発し動画を公開するなど、社員だけでなくあらゆる人へ気軽に運動する機会を提供。

ダイアモンドヘッド株式会社

社内スポーツ活動の奨励やプロスポーツチームへの支援及びアスリート雇用

今年度は、弊社がスポンサードしている、サッカーJ1リーグ所属の「北海道コンサドーレ札幌」のご厚意で、J1リーグ公式戦が行われる『札幌ドーム』の芝グラウンドで、東京と札幌のフットサル部メンバーやその家族が集まり、『社内フットサル大会』を開催しました。また、今シーズンもバスケットボールB.LEAGUE所属の「レバンガ北海道」のオフィシャルTOPパートナーとして継続支援している。

一生涯のパートナー
第一生命
Dai-ichi Life Group

第一生命保険株式会社

QOLism（キュオリズム）アプリでウェルビーイング向上！

オーダーメイドの健康サポートが得られるQOLism（キュオリズム）アプリを活用し、健康活動（歩数・体重・食事の記録等）を通して獲得したポイントを健康グッズ等に交換できる社員インセンティブ（ヘルスケアポイント）制度を実施している。また、アプリのイベント機能を活用し全社的なウォーキングイベントを開催、運動習慣の醸成につなげている。さらに、健康取組（ヘルスケアポイント）とCO2削減の環境取組（エコポイント）の合計に応じて寄付等を行う「カラダと地球に、やさしく！楽しく！QOLism！」を全社で展開し、健康増進と地域貢献に取り組んでいる。

DAII

株式会社第一テクノ

運動を積極的に心掛け、毎日ラジオ体操、野球部は大会第3位

社員全員が毎日始業前にラジオ体操を、15時には館内放送される音楽に合わせてストレッチ体操を実施している。また、館内を移動する際は、上へは2階まで、下へは3階まで階段を利用している。さらに、部活動の積極支援を行うことで社員のスポーツ推進・健康増進を図っている。定期的に練習・試合を行っている野球部は地域や健康保険組合の大会などの各種大会に出場し、大会第3位などの好成績を収めている。

たてものを、いきものに
LIVZON

大成温調株式会社

毎朝のラジオ体操で社員の健康増進

毎朝、全部署でラジオ体操を行い、社員の健康増進に取り組んでいる。また社内サークル活動を支援し、社員のスポーツ推進と健康を図っている。今年度は、健康保険軟式野球大会に野球部が出場し優勝。

近年は地域開催のスポーツごみ拾いにも参加している。また、毎年春、秋にウォーキングキャンペーンを実施、3か月平均1日8,000歩以上歩いた従業員を表彰し、社内で使えるポイントを付与している。

大東建設不動産株式会社

新たにスポーツ事業部を設け活動をさらに、広げている

昨年に引き続きクリケット単独の体験会や交流会も継続的に開催しながら、マイナー競技と呼ばれる競技の合同体験会を今年度も複数回開催した。さらに、競技数も前年度の数倍増やし実施。各競技の認知度向上に加え、今年もコロナ禍で運動不足になりがちな小学生から高齢に至るまでの各世代に楽しんでいただける企画は今後も継続して開催していく予定。

大樹生命
日本生命グループ

大樹生命保険株式会社

ウォーキングイベントや毎日のラジオ体操を実施し、従業員の健康な体づくりを推進

職場毎に始業時等にラジオ体操や当社オリジナル体操を継続実施している。

また、健康増進として「歩くこと」を推奨している。ウォーキングアプリを利用し年に２～3回の社内イベントを開催しており、歩くことで健康増進を図るだけでなく、部署内で歩数を競ったり、歩くことが話題になる等、部署内のコミュニケーションの活性化にも活用されている。

Daisho

株式会社ダイショウ

ラジオ体操の継続実施で健康づくり

社員の健康と運動習慣の定着化を目指し、開始した朝礼時のラジオ体操は、2016年から毎日実施。この他ストレッチ紹介のポスターをオフィス内に掲示。肩こり・腰痛防止やリフレッシュの一環として活用することを推奨している。

秋にはスマホアプリを利用したウォーキングイベントを実施。イベント期間中は社員同士で順位を確認するなど、目標達成に向けて声を掛け合うことも多く、社内コミュニケーションの活性化にも役立っている。

大東建託

大東建託株式会社

アスリート交流によるスポーツ促進、健康運動指導士によるオンライン運動動画配信

アスリート交流によるスポーツ促進、毎朝の一斉ラジオ体操等を継続実施。新たに社内アンケート結果を基に、日頃の運動不足解消のため「健康運動指導士によるオンライン運動動画配信」を実施。営業職など時間が調整しにくい社員も視聴できるよう、昼休憩の時間に生配信を開始。健康運動指導士から手軽な運動方法や、症状別（腰痛・肩こりなど）予防・改善方法を学ぶ機会を提供。またリアルタイムでの質疑応答の時間を設け、主体性を高められるよう工夫した。

大東建託パートナーズ

大東建託パートナーズ株式会社

アプリを活用した運動促進イベントや、従業員データに基づいた施策を実施

毎朝9時から実施しているラジオ体操や、健康増進アプリを活用したウォーキングイベントを通じ、運動促進に取り組んでいる。また、2022年度定期健康診断の問診結果のデータから、割合の高かった肩こりに対して、午後の始業前に有線にて肩こりのストレッチ放送を開始した。さらに、2015年度から陸上競技の大宅選手の支援を継続しており、大宅選手の活躍を共有することで、スポーツに対する意欲向上に努めている。

大同生命保険株式会社

ウォーキングキャンペーンの開催 パラスポーツの継続的支援

健康支援ツール「KENCO SUPPORT PROGRAM」を全従業員に提供し、健康診断結果や日々の歩数を確認することで、健康増進やヘルスリテラシー向上を後押ししている。年３回実施するウォーキングキャンペーン時には、個人ランキングやチーム対抗戦を行い、楽しみながら運動に取り組んでいる。また、「全国障害者スポーツ大会」への特別協賛や、パラスポーツイベントへのボランティア参加等を行っており、パラスポーツを継続的に支援している。

大日本印刷株式会社

ウォーキングイベントやエクササイズ動画で 従業員の運動習慣獲得を支援

ウォーキングイベントは、密を避けるために「集合型」をやめ、参加者が日程を自由に選んで参加できるよう、当社開発スマホアプリを活用した「スタンプラリー形式」に変更し開催した。

また、コロナ禍により増加した在宅勤務者の運動不足解消・心身の健康サポートを目的に、簡単エクササイズ動画やヘルスケア情報を社内サイトにて公開し、定期的に更新している。

株式会社立飛ホールディングス

「アリーナ立川立飛」「ドーム立川立飛」「タチヒビーチ」等を拠点とするスポーツチームへの協賛

地域の皆様がスポーツを楽しめるようアリーナ立川立飛やドーム立川立飛、タチヒビーチ等を造り、それらの施設を拠点とするプロスポーツチームを中心に協賛やスポンサードゲームを開催。地元で一流のスポーツに触れる機会を創出することで地域スポーツ振興に取り組んでいる。

また、アスリート雇用やセカンドキャリア支援を行い、スポーツを通じた社内の一体感醸成や主に小中学生への指導等を通じた地域貢献を積極的に実施している。

タツミ産業株式会社

毎週水曜日の出社時に階段（3階）使用／ フットサルを通して健康促進

本部･関東事業部･家庭用品部が職場である全従業員が対象に、毎週水曜日の出勤日に事務所のフロアーがある3階まで階段を使って出勤している。

また、週末には運動不足解消のため、取引先と有志の社員メンバーで定期的にフットサルを行い、健康促進とコミュニケーションの活性を図っている。社長自ら率先垂範し、社員のスポーツ推進活動への理解と健康向上を目的に活動している。

太陽生命保険株式会社

クアオルト健康ウオーキングによる 健康寿命延伸への取組とスポーツ支援

疾病予防･健康増進に効果のある「クアオルト健康ウオーキング」を活用したプログラムに従業員が参加し、健康づくりを行っているほか、「太陽生命クアオルト健康ウオーキングアワード」を開催し、日本全国へクアオルト健康ウオーキングを普及している。

また、競技環境の整備･強化の支援や、青少年の健全な育成を目的に女子スポーツ（ラグビー、アイスホッケー）や学生のスポーツ大会に協賛している。

株式会社タクト・マシン・サービス

社員の健康増進を目的としてウォーキング イベントなどに参加し、運動の習慣化を推進

コロナ禍での運動不足改善のため、毎年参加しているウォーキングイベント「スマ歩ウォーク」に今年度も参加。途中経過などを展開し、社内順位によって表彰することでモチベーション向上に繋げている。

また、社内運動推奨期間を定期的に実施し、運動の習慣化を目指している。

TANAKA ホールディングス株式会社

オンライン観戦等を取り入れた パラスポーツの支援･応援活動

各種スポーツ大会の「オンライン観戦」の呼びかけや、従業員のブラインドサッカーへの興味喚起、理解促進を目指したオンライン社内講演会を実施した。

また、スポーツイベント等で、ブラインドサッカー体験会ブースを出展し、多くの方々が気軽にブラインドサッカーを体験し、競技の魅力を知るきっかけづくりを行うなど、感染症対策を講じながら、オンライン･リアルを織り交ぜフレキシブルに活動を実施した。

株式会社タニタヘルスリンク

社員への活動量計兼社員証の配付による 歩数競争や定時体操による運動機会創出

オフィスセキュリティ等と連携できる活動量計を社員証として社員に配付し、日々の歩数や活動量を計測。

また、ゲーミフィケーションといった楽しみながらできる健康づくりとして、WEB上で国内外の名所旧跡を巡るバーチャル歩数イベントやランキング表示をしたり、数名のチームを作り、チームごとの合計歩数を競い合うチーム対抗戦を実施。さらに、1日2回の定時体操では、オンラインを活用して在宅勤務者の運動機会を創出。

株式会社玉川ホールディングス

従業員のスポーツ活動を推進 女子サッカーやプロゴルフも協賛

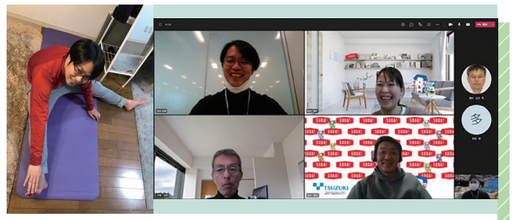
玉川グループでは、創業の地･世田谷で活動するなでしこリーグ一部･スフィーダ世田谷FCを2018年から支援。

また、事業所のある福島県白河市で行われるプロゴルフトーナメントへの協賛も長年実施している。更に、社内報などの媒体で社員のスポーツ活動を紹介。日ごろからスポーツに取り組む社員に特製タオルを配付して活動を促進している。玉川グループでは今後も従業員とお客様が快適に過ごせる環境づくりに取り組んでいく。

多摩冶金株式会社

18歳～82歳まで！全員で毎朝 ラジオ体操を実施。10年以上継続中！

毎朝、始業時間とともに役職員全員でラジオ体操を実施。18歳の若年層から82歳まで社員一体となって健康増進に取り組んでいる。体を動かす現場の社員にはウォーミングアップとしてケガの防止に有効。また、骨や関節、筋肉をまんべんなく動かすことができるラジオ体操は、デスクワークの社員にとっても健康増進の効果を期待。コロナ禍でもソーシャルディスタンスを守り、10年以上継続中。1日3分のラジオ体操だが、心身の健康状態を良好に保ち、仕事にも生活にも好影響。



都築電気株式会社

多様な働き方に対応し、オンラインを 組み合わせた運動の習慣化の推進

在宅勤務の増加により、社員の日々の運動･身体活動量の低下がみられたため、多くの社員がコロナ禍であっても身体づくりができるよう、そのきっかけづくりを支援した。スポーツインストラクターを招いてオンラインセミナーを開催し、食事の基本知識、運動や健康習慣を定着させるための秘訣を学んだり、カメラを通してともに体を動かしながらトレーニングをしたり、座学と実践を融合させた形式で実施した。

株式会社つなひろワールド

障害者スポーツへの積極的参加！”見る” だけでなく”する”ことにより感じることも

総合障害者スポーツチームの「Glitters」では、車椅子ソフトボールを中心に様々な競技に取り組んでいる。社員も障害者スポーツへの理解を深めるためにチーム練習に参加し、今年度は4回の国内大会に出場した。新型コロナウイルス感染症対策として、室内練習の際はこまめな換気、手指の消毒の他に、晴れの日には外で練習を行った。

チューリッヒ生命保険株式会社

カヌースラローム羽根田卓也選手と 共に取り組む社員の健康促進プロジェクト

社員のウェルビーイング向上を目的に、当社スポンサードアスリートの羽根田選手も参加した、皇居ランやフットサルなどを社員向けに開催。羽根田選手とのスポーツを通した交流により、心身ともにリフレッシュする機会を創出。企業としてアスリートを支えることで、アスリートからも社員が元気をもらえるというシナジーを生み出した。また専用アプリを利用し、アジア地域全体で横断型運動月間を設け、海外拠点の社員も運動に取り組んだ。

通信機器産業健康保険組合

毎朝のラジオ体操及びウオーキング イベント「通さんぽ」の実施

健康保険組合として、加入員及び職員の健康保持･増進を目的とした活動に取り組んでいる。

職員全員で毎朝、ラジオ体操やストレッチ等を実施している。

また、当健保組合主催のウオーキング大会に職員全員で参加し、独自の表彰を行うことでモチベーション向上に努めている。大会中は、街散策等をしながら歩くイベント「通さんぽ」を実施し、歩数増加及び職員間の交流を図っている。

コロナ禍で大人数での活動は難しいが、部活動の発足を通して、少人数での運動機会を促進している。

株式会社ツネミ

健康増進、ケガの予防のため、 全従業員で毎朝ラジオ体操を実施！

健康増進、業務中のケガの予防を目的として、2017年から実施しているラジオ体操を、今年からパート従業員も参加できるよう、時間を変更して毎朝実施している。3分間のラジオ体操が、運動不足解消、腰痛、肩こり解消の一役を担っている。コロナ禍のため、換気や間隔をとる等感染症対策を施して実施している。

また、神奈川県民球団「FUTER　DREAMS」のスポンサー企業として、スポーツ活動の支援にも協力している。

T&D フィナンシャル生命保険株式会社

障害者スポーツ及び従業員の 社内クラブ活動を支援

日本ろう者サッカー協会とオフィシャルパートナー協定を締結し、ろう者サッカー･フットサルの発展と普及をサポートしているほか、障害者アスリートを雇用し、競技活動を支援。従業員の障害者スポーツへの理解促進を図っている。また、T＆Dフィナンシャル生命健康保険組合が、継続して社内クラブ活動の費用を一部補助。さらに障害者アスリートが気軽にできるストレッチを紹介する等、従業員の健康増進を図っている。

令和４年度 東京都スポーツ推進企業一覧（50音順）

株式会社ティーガイア

ウォーキングイベント開催や スポーツ活動の支援で社員の健康を促進

コロナ禍の運動不足解消等を目的に仮想の東海道五十三次を歩く「企業対抗ウォーキングイベント」に参加。「歩く量が増えた」と参加者の「運動機会の増進」に繋がっている。

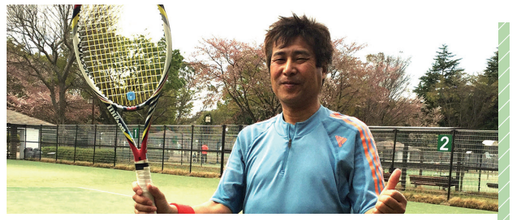
また、スポーツクラブの活動費用や大会参加費の一部を助成して、社員の「スポーツ活動を支援」している。

その他、JPSA オフィシャルサポーターとして、「パラスポーツの推進」に取組むとともに、当社で働くパラアスリート社員の活動を支援している。

ティーペック株式会社

ウォーキング促進のための 『T-PECウォークシリーズ』実施

歩くことは健康づくりの第一歩との思いから『T-PECウォークシリーズ』という社内運動を実施し、ウォーキングを楽しんでいる。希望者へはウェアラブルデバイスを配付し、日々の社内ランキングをアプリ上でチェック。個人の表彰の他にも、配偶者の参加や所属チームのランキング表示、参加者の総歩数に応じた金額が会社から患者団体へ寄付される仕組みを設けること等でモチベーション維持を図っている。

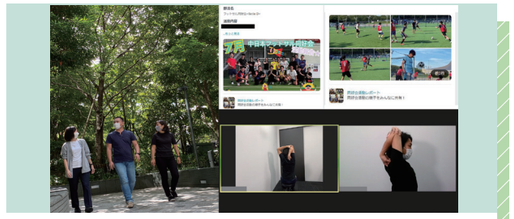


株式会社ティップ

従業員の継続的な 健康促進施策

従業員の健康意識の向上と健康管理のために会社でスポーツジムの会費を全額負担。週2回以上のスポーツジム通いを奨励。定期的に体力測定を行うことで社内コミュニケーションの活性化を図るとともに従業員自身の体力向上意識の醸成。

また、マラソンやテニスなどの従業員が希望するスポーツイベントなどに積極的に参加することを奨励している。



ディップ株式会社

社内SNSを活用した、オフィス･部署の 垣根を超えた運動プログラムの実施

「心と体を整える」というコンセプトの元、体を動かすきっかけの一つとして、2021年よりプログラムを開始。一つは健康相談アプリを利用した、チーム･個人対抗ウォーキングプログラム。もう一つはヘルスキーパーを講師に、オフィスでも自宅でも参加可能なオンラインストレッチプログラム。全国から参加者がおり、参加した従業員からは意識して体を動かすいい機会になっているとの声が挙がっている。また、感染防止のため凍結していた同好会活動を2022年度から再開。フットサル、野球、サイクリング等の部活が活動をおこなっている。

株式会社 DYM

全社運動会や社内部活動の実施 協賛しているアスリートの試合観戦の機会を提供

毎年開催している社内運動会では、部署や役職をまたいだチーム編成となっており、社内の交流の場となっている。

他にも、サッカー部や野球部、ヨガ部等社内部活動も豊富で、社員が率先して運動できる機会を設けている。

また、社会貢献の一環としてアスリートやスポーツチームを協賛し、社員に試合観戦の機会を提供している。

帝人株式会社

社員の健康増進のため、ウォーキング大会などの 健康イベントを春･秋と年２回継続して実施

帝人では、帝人グループで働く社員とその家族を対象に、毎年春には生活習慣、改善のイベント、秋には健康ウォーキング大会を企画し、健康イベントを通じて生活習慣獲得のきっかけ作りを提供し、社員とその家族の健康意識の向上に努めている。また、これらのイベントを通して、社員とその家族のコミュニケーションの向上にも寄与している。

デサントジャパン株式会社

気軽に行える運動や動画配信･マスク寄贈で 『スポーツを遊ぶ楽しさ』を提供

従業員の健康増進のため、個々が気軽に継続的に運動を行えるよう、支援アプリを利用したウォーキングイベントを春と秋の年２回実施。社外に向けては、従来のスポーツ活動支援や訪問形式の運動教室に加えて、ホームページ上でなわとび検定等の動画を配信。

また、コロナ禍での運動にも利用してもらえるよう、近隣の3小学校（計920名）に機能性マスクを寄贈。教育行政への寄与として豊島区教育委員会より感謝状を拝受。

株式会社テセック

自転車通勤推進や部活動等、 スポーツを通じて健康増進・地域貢献

「自転車通勤推進企業」として、自転車通勤者向けに室内駐輪場、更衣室等完備の他、通勤距離に応じた自転車通勤手当も支給するなどの環境整備を行っています。

また、社内部活動（野球部、テニス部）への補助金支給の他、始業前のラジオ体操などスポーツを通じて社員への健康増進を進めています。

さらに、今年から地元のプロバスケットボールチーム「立川ダイス」とスポンサー契約を締結し、スポーツを通じた振興、地域貢献活動にも努めています。

株式会社デュアルタップ

スタンディングミーティング、リモート運動、クラブ活動支援、スポーツ大会協賛

働く社員の健康状態を良好にし、生産性を高めることを目的としてスタンディングミーティングを推奨。ニューノーマル時代の新たな取組として、WEB会議システムを利用し、ヨガやストレッチを在宅勤務中の従業員同士で実施。また、地域との交流や従業員の価値創造や知識を深めるための活動推進を目的としたクラブ活動。2022年度からは骨髄バンクチャリティーの空手道選手権大会へ協賛をするなど、活動の幅を増した。

テルモ株式会社

達成者に果物が届くWEBウォーキング大会を実施し楽しく運動習慣改善

歩いた歩数をWEBサイトに入力すると、ポイントに応じ画面上で果物が育っていき、達成者には育てた本物の果物が自宅に届く「WEBウォーキング大会」を、毎年春・秋の2回開催。在宅勤務の拡大など、コロナ禍で働き方や生活環境が大きく変化し、運動不足等の課題を感じる社員も多いが、家族や同僚と一緒に楽しみながら、自主的に運動習慣改善に挑戦することができ、参加人数も年々増加している。

東亜道路工業株式会社

日常の中で最も身近なスポーツから始める健康増進のきっかけ作り

東亜道路工業では、社員の健康のために10月、11月（北海道･北陸地区は9月、10月）の61日間で、1日1万歩を目標に、61万歩以上あるくウォーキング大会を開催。

普段なかなかスポーツに取り組めない社員にも、「歩く」という身近なスポーツから始めることで健康増進を図るきっかけとなっている。

東海東京フィナンシャル･ホールディングス株式会社

参加者1,000名越え！ウォーキングイベントで「経営陣との歩数競争」開催

今年度、初めてグループ内で開発した歩数計アプリを活用し、「経営陣との歩数競争（打倒！合田社長）」を実施。イベント初日に社長が38,000歩でランキング1位に登場するという経営の本気の取り組みが、社員のモチベーションアップの後押しに。1,000名以上がエントリーし、大いに盛り上がり、運動効果のみならず、共通の話題としてグループ全体のコミュニケーション活性化にもつながった。

株式会社 TENTIAL

社員のアクティビティ･アスリート活動を支援

TENTIALでは社員同士の健康増進やスポーツに関する活動を補助する「ウェルネス･アクティビティ応援制度」を実施。ゴルフやフットサルなど複数名で行える活動に会社から資金を援助し、スポーツなどを通じてコミュニケーションを促進する活動を積極的に実施した。

また、フルフレックス制度を導入し、社員の活動を支援。現役アスリートとして活躍する社員も複数名在籍し、ビジネスとスポーツの両面での自己実現をサポートしている。

東亜ディーケーケー株式会社

階段利用の促進、歩数競争大会の実施、社員クラブ活動の支援

運動不足解消として階段利用を奨励し、本社及び事業所の各階に消費カロリーポスターを掲示している。歩数競争大会（チーム賞･個人賞･8000歩賞）を実施し、毎週の集計結果をかわら版として発行し、健康意識の向上と社内コミュニケーションの促進を図っている。また、野球部などのクラブ活動に補助金を支給し社員のスポーツ活動を支援するほか、グループ会社がある山形県のJ2サッカークラブ「モンテディオ山形」の正会員になっている。

東急建設株式会社

多言語でのラジオ体操を制作し、コミュニケーション活性化･健康促進

国内5方言（標準語･東北弁、名古屋弁、大阪弁、博多弁）、海外6か国語7種類（英語、中国語（広東語＋北京語）、タイ語、インドネシア語、ミャンマー語、ベトナム語）でガイドナレーションする計12パターンのラジオ体操を制作･配信。（企業HP･YouTubeにて）多様な就業者が混在する建設現場において、始業時の慣習となっているラジオ体操を用い、関係者のコミュニケーション活性化･健康促進のきっかけとすることが目的。

株式会社東急スポーツオアシス

夢に向かって練習に取り組む選手及び社員に、充実した競技活動が継続できるような支援制度

Well-being First!を企業ミッションに掲げ【アスリート支援制度】を設けてプロスポーツで活躍する選手の社員雇用･練習環境の提供･遠征費支援やスポーツの国際大会に出場する社員の活動費支援を行うとともに、K-1、トライアスロン、パラスノーボードなどで活動するアスリートに練習環境を提供し夢の実現を支援している。

東急スポーツシステム株式会社

従業員と地域の皆様へ
コミュニケーション機会と運動機会を提供

企業対抗ウォークラリーへ参加し、従業員の健康意識を刺激、運動機会の創出や、コミュニケーションを活性化。また、運営する東急SレイエスFCのホームタウン活動『Reyes BONDS Action』を通じ、地域の方々と共に、地域社会の課題解決や活性化の取組を継続的に実施。さらに運営するスイミングスクールでは障害を持つお子様の水慣れや水泳指導の機会「プール開放」など実施。さらに渋谷区での活動を認められPLAY渋谷区の認定取得。

一般社団法人東京ヴェルディクラブ

総合クラブとして、様々なスポーツを
体験するイベント等を開催

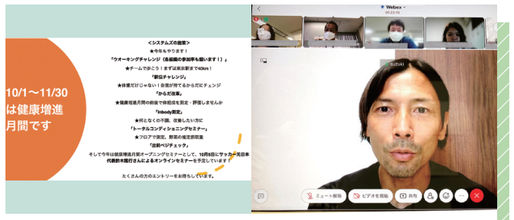
一般社団法人東京ヴェルディクラブは、15競技17チーム（東京ヴェルディ株式会社運営の男女サッカーチーム含む）からなる総合クラブとして活動しており、子ども達を中心に様々なスポーツを体験してもらうイベントや教室を都内各地で開催･参加している。多様なチームを運営し、育成･普及環境を充実させる事で、多くの方にスポーツに触れる機会を提供し、生涯スポーツ社会の実現や、健康で文化的な地域社会の構築を目指している。

東京海上日動火災保険株式会社

障がい者スポーツ支援活動
～「知る」「見る」「体験する」～

東京海上日動は障がい者スポーツの支援を通じて、誰もがお互いの人格や個性を尊重して支え合う「共生社会」の実現を目指し、障がい者スポーツを「知る」「見る」「体験する」を軸として取組を続けている。

また、2020年度よりオンラインも活用しながら「障がい者スポーツの応援観戦」、「障がい者スポーツの体験会」、「アスリートと一緒に障がい者スポーツを通じて多様性を学ぶ学習ツールの展開」などを行っている。



東京海上日動システムズ株式会社

『「自分でつくろう、自分の健康」をテーマに
ライフスタイルを見直す「きっかけ」に』

部署ごとに歩数を競い合うウォーキングチャレンジや合計距離を競い合う駅伝チャレンジ、個人やチームで減量等の目標に取り組むからだ改革を開催。健康増進月間の前後ではInbody測定会も開催し、楽しみながら運動する機会を提供している。また、在宅からでも一体感を持って取り組めるようにオンラインセミナーによる講演会を実施。基調講演として、サッカー元日本代表FW鈴木隆行さんを招き、運動習慣の大切さ等について語っていただく企画を実施した。

株式会社東京アスレティッククラブ

自宅でできるオンラインフィットネスサービス
を活用し、従業員の健康増進を実施

グループ会社が運営するオンラインフィットネスサイト「MOVE＋」を従業員向けに公開し、コロナ禍において従業員とその家族を含め、自宅で閲覧・実践できる運動プログラムを提供することで、従業員とその家族の健康保持増進を図っている。

東京海上ディーアール株式会社

スポーツを通じた健康づくりと
社内コミュニケーション活性化

毎朝社内衛星放送のラジオ体操を放映、職場で実施。また、10月･11月は健保主催の「健康増進月間」、12月は当社独自の「ＴｄＲ健康増進月間」を実施。「ＴｄＲ健康増進月間」では、アプリを活用した各種エクササイズや歩数イベント、毎朝メールで告知する「みんなdeラジオ体操」、オンラインの肩こり･腰痛予防セミナーなどを実施した。在宅勤務でも同じ時間に一緒に取り組むことで社内コミュニケーションの活性化にも寄与している。

東京海上日動事務アウトソーシング株式会社

運動の機会を通じて、社員一人ひとりの
健康増進&組織コミュニケーション活性化

健康保持・増進に向けた取り組みとして、毎朝始業前に実施しているラジオ体操に加え、5月には事業所対抗ウオーキングイベントを開催。10月・11月は全員参加型の健康増進イベント「健康増進月間」を実施した。各事業所の健康経営キーパンソンを中心に取り組みを盛り上げ推進したことで、社員の”運動のきっかけ”はもちろんのこと、組織の活性化にもつながっている。

東京ガス株式会社

健康維持向上のための
社内ウォーキングイベントを実施

2022年10月から健康管理アプリを使った部対抗東海道五十三次ウォークラリーを実施し、全75チーム約4,550名が参加した。総合1位の部所の合計歩数は778,764歩となり、これは所属員の半数以上が「日本橋」から最終地点の「三条大橋」に到達したことになる。期間中は担当者による「東海道五十三次宿場町跡レポート」を社内イントラに掲載し活動を盛り上げた。この活動を通じ部内の健康づくりとコミュニケーション機会の創出につながった。

東京システムハウス株式会社

サークル活動やウォーキングイベントを通して、コミュニケーションの活性化

従業員のコミュニケーション活性化や健康促進などを目的に、社内サークル「駅伝・ゴルフ・テニス・フットサル・野球・スキー&スノボ」が活動している。また、不定期で社員企画によるウォーキングイベントを開催。サークル活動及びイベント開催で、運動機会が増えたとともに、業務で関わりの少ない従業員同士が交流する機会が増加し、社内コミュニケーションの活性化につながっている。

東京地下鉄株式会社

社員向けの運動促進イベントや実業団選手の支援を実施

社員向けの運動促進イベントとして、オリエンテーリング大会やバーチャル駅伝大会を実施した。
また、その他にも、車いすフェンシング選手等による、パラスポーツ体験会を開催し、パラスポーツの普及活動を実施した。女子駅伝部チーム及び車いすフェンシング選手へトレーニング設備の整備や競技運営に関する支援を実施した。

東京都職員共済組合

清瀬運動場のテニスコート及び野球場を一般に開放

東京都職員共済組合が保有する清瀬運動場のテニスコートと野球場を広く一般の方に開放している。また、近隣の保育園、幼稚園に野球場の芝生部分を開放し、天然芝の上を走り回る楽しみを味わってもらっている。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、施設内の飛沫感染予防対策を徹底しているほか、利用者の方には、消毒セット（手指用消毒液、設備用消毒液、タオル）を貸出し備品等の消毒をお願いしている。

東京都鉄二健康保険組合

健康づくりは１日８,０００歩・速歩２０分で、みんな元気！！

毎日、勤務開始時刻に全職員でストレッチを行い、昼休憩後にラジオ体操を行っている。
また、全職員が活動量計を携帯しており、活動量計を活用した中強度運動（速歩２０分）を意識してウォーキングを実施。活動量計のデータ取込で１日の平均スコア等を算出している。

株式会社東京ドームスポーツ

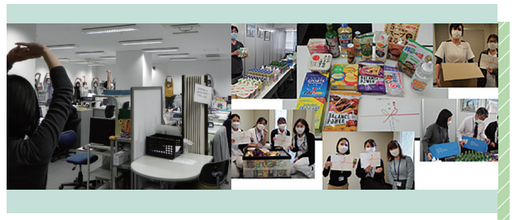
障害者スポーツ教室の開催 地域にラジオ体操会場を提供

日本バスケットボール選手会と連携し、障害児を対象に、様々なスポーツに挑戦する機会を提供し可能性を広げるキッカケをつくるとともに、選手と触れ合うことによって普段できない体験をしてもらい、「できること・好きなこと」を増やすことを目的に開催。また、地域の方を対象に自社グループ敷地内で夏休みラジオ体操会を社員とともに実施し、運動継続習慣の啓発に貢献している。

東京都公立大学法人

学生、教職員及び都民に向けて『パラスポーツ』を広く普及促進

東京都立大学では、パラスポーツ事業の２本柱として体験教室及び動画配信を実施。令和２年度及び令和３年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から体験教室の実施を見合わせていたが、今年度より徐々に再開。また、令和2年度より開始した動画配信は、本学パラスポーツ事業を全国に広く配信する有効な手段として今後も継続して行うとともに、2025年に東京で開催される「デフリンピック」に向け、デフスポーツに注力した企画も実施。



公益財団法人東京都予防医学協会

運動習慣の定着化を目指し「FUN　BODY　CHANGE」

ウォーキング＆運動キャンペーン「FUN　BODY CHANGE」や健康運動指導士による「ストレッチ教室」を実施。「ウォーキング＆運動キャンペーン」では、ウエラブルの活動量計やストレッチポールなどを参加賞として配付。また、目標歩数を各人が決め、達成割合により達成賞を進呈。スタンディングデスクの活用、スマートミール弁当の利用、近隣散歩コースのウォーキングやひと駅歩いての出退勤でさらなるポイントを付与。一層の運動習慣の促進を図った。

株式会社 東京メディカルサービス

マラソン大会への参加を通じて、運動不足の解消と社内コミュニケーションの向上へ

最近、運動不足を感じている社員が多く、何か会社として運動を促進できる取組はないかと考えていた際に、運動が苦手な人も取組やすく、また練習の成果がわかりやすいものをと考え、マラソン大会への参加を開始した。去年よりタイムが良くなることを目標に毎年同じ大会参加し、また出場する大会も増やしていけたらと考えている。

令和４年度 東京都スポーツ推進企業一覧（50音順）

東阪電子機器株式会社

ラジオ体操で心身共にリフレッシュ！ ウォーキングにも積極的に参加！

従業員の健康増進を図るために、毎日始業開始時にラジオ体操を実施している。2019年より4年連続で経済産業省「健康経営優良法人」に認定され、2023年の認定も申請中。ウォーキングイベントにも毎年参加し、従業員のコミュニケーション活性化にもつながっている。今年は、心のストレスケアのためメンタルヘルス講習会の実施も決定し、心と体の健康維持、増進のため今後さらに取組を進めていく。

東武鉄道株式会社

少年野球･サッカー大会を通じた 次世代を担う少年少女の育成支援

（一財）東武博物館主催の東武線沿線地域の少年野球･サッカー大会に、東武鉄道がボランティアスタッフを派遣し、次世代を担う健やかな少年少女の成長を支援。なお、2021年度は少年サッカー大会の一部試合を除いて中止。しかし、参加賞の贈呈や「出場チーム紹介」駅貼りポスターの掲出、抽選での東京スカイツリー･東武動物公園への無料招待を行う等、コロナ禍で活動の場を奪われている子供たちを応援する取組を実施。

凸版印刷株式会社

スポーツ専従社員の雇用や パラスポーツサイト運営などの取組

スポーツ専従社員が出場するラグビーワールドカップ2021（2022）大会に向けた壮行会を実施。また国内で行われたテストマッチには約50名の社員、家族が応援にかけつけた。また、パラスポーツの認知拡大･普及･発展を図るサイト（SPORTRAIT）を運営。ウェブだけでなく連動したイベント、写真展の実施、パラスポーツの認知拡大･普及･発展に寄与している。

トッパン・フォームズ株式会社

毎朝のラジオ体操の実施･ 社内の部活動（スポーツ関連）へ支援継続

毎日始業前に、ラジオ体操を社内放送で流し、積極的に実施している。また、毎年社内で従業員とその家族が参加できる野球大会やフットサル大会を実施している。本年は大会の実施はできなかったが、大会を企画･運営する野球部やサッカー部を始めとする社内のクラブに対し、活動支援を継続して行った。スポーツを通じて従業員とその家族の健康増進も推進している。

株式会社トーシンパートナーズ

朝のラジオ体操実施、サッカー部･ 野球部の活動、ウォーキングイベントの実施

全社員を対象に万歩計を配付し、ウォーキングイベントを実施した。チーム達成賞を設け、達成したチームには商品を贈呈し、イベントを通じて社員全体が盛り上がった。コロナ渦で運動する機会が減った中、ウォーキングイベントを実施することにより、歩く習慣が定着した。また、毎朝のラジオ体操やサッカー部･野球部の活動を継続して実施している。

株式会社ドクタートラスト

ウォーキングイベント、 ラジオ体操を今年も継続！

前年同様、健康管理アプリを活用したウォーキングイベントを開催。コロナ禍の運動不足解消とともに、部署混合チーム戦にすることで社内コミュニケーションの促進につながった。また15時にラジオ体操を実施。デスクワークから解放されるリフレッシュの時間として、加えて体操中に会話が生まれることから、社員交流の時間としても大いに機能している。さらに、大手スポーツジムと法人契約し、積極的な運動機会を提供している。

株式会社トップワイジャパン

運動不足解消に加え、定期ミーティングを スタンディング形式で実施

コロナ渦で外出自粛、運動不足の状態が続く中で、「体力が減った」との声が従業員から相次いだ。毎週一回、部門ごとに社内ミーティングを行っていたが、着座形式からスタンディング形式へ変更することで従業員の健康保持増進に役立てている。「新しい日常」の中で、社員間で十分な距離をとることや、ミーティング前後の実施部屋の消毒、手洗いうがいの徹底をしながら継続して取り組んでいる。また、健康保持増進を目的とし、スポーツ等を実施するよう全社員に通達している。

株式会社利根川産業

ごみ拾いを通じて街をきれいに 身体も健康に

チーム戦で制限時間内にごみを拾い、ごみの量と質でポイントを競い合う大会方式のイベントを実施。ごみ拾いをすることで楽しく身体を動かすことができる。街もクリーンにすることができて、運動習慣がない従業員の歩くきっかけとなり、コミニケーションの促進にも効果があった。

トヨタモビリティ東京株式会社

トランポリン競技森ひかる選手を支援・ウォーキング大会で運動機会を提供

・トランポリン競技森ひかる選手（TOKIOインカラミ所属）を支援
当社従業員の子女であることから、その競技活動を支援。トランポリン練習場への移動等に活用する車両（トヨタ・RAV4）を1台貸与。

・ウォーキング大会を開催
従業員が通勤時や仕事の合間に実施できる「Let'Sエンジョイ♪ウォーキング大会」を開催。運動習慣のない従業員に運動のきっかけを提供し、習慣化づけることが目的。アプリを用いて各自が設定した目標歩数の完歩を目指し、社員同士が歩数を競い合ってウォーキングを実践した。

株式会社トラック

陸上競技アスリートの正社員雇用

当社はTRACK TOKYOランニングクラブを運営してる。社員は全員が陸上実業団選手です。ニューイヤー駅伝出場を目指し、練習に取り組んでいる。

普段はランニングインストラクターとしても活動し、市民ランナー向けにランニングレッスンを提供している。

株式会社ナレッジクリエーションテクノロジー

新しい日常下での3密を避けた運動意識の向上と健康増進への取組

自社での階段利用の推奨、ラジオ体操などの体を動かすことへの啓発活動を行い、社員全員が参加できる仕組み作りにより、健康経営を推進している。

緊急事態宣言解除後、屋外でのスポーツ活動（ゴルフ、フットサルなど）等を行っている。テレワークなどで対面でのコミュニケーションが減っていたので、屋外スポーツでメンバーが揃うことで、より良いコミュニケーションを図ることができた。

株式会社 NISHI SATO

お揃いのスマホショルダーでオンラインウォークイベント！

誰でも日常的に継続してできる運動としてウォーキングに着目。株式会社グッピーズ様のスマホアプリで企業対抗型ウォークイベントに参加した。参加にむけて社長から全員にお揃いのスマホショルダーが贈られ、チームとしての意識とモチベーションが高まった。歩数を気に掛ける習慣が身に付き、従業員間でウォーキングが日常の話題となった。仕事でもプライベートでもない会話でコミュニケーションが図れる良い機会にもなった。

株式会社ナウイエンタープライズ

社内エクササイズとウォーキング、スクーバダイビング実施補助制度で運動意識向上

健康運動実践指導者の資格をもつ社員の指導の下、朝礼時に社内でできるエクササイズを行っている。

通勤時、昼休みを利用してのウォーキングは社員が自発的に継続している。事業では、スクーバダイビングのCカード（通称：ダイビングライセンス）の発行を行っているため、全社員スクーバダイビングの資格を所持している。自己のスキル向上、研鑽、リフレッシュを兼ねてプライベートでのスクーバダイビングにかかる費用の一部を補助している。

ナガセケンコー株式会社

軟式野球・ソフトテニス・ソフトボールを中心としたイベントへの協力、社内ボッチャ大会の開催と社員によるボッチャクラブの大会参加

都内だけでなく、全国で行われている軟式野球・ソフトテニス・ソフトボールのイベントへ物品等の協賛を行い、大会の成功と競技の普及に協力している。

また、ボッチャの社内大会を実施して、健康増進と社内コミュニケーション作りに取り組んでおり、社員有志によるボッチャクラブは都大会へ出場している。

西松建設株式会社

年2回のウォーキングイベントを4年間継続中プロスポーツや自治体にも協賛

健康アプリを全社に導入し、年2回開催されるウォーキングイベントへの参加を会社が推奨している。その結果、各職場における主体的な健康作り（ヨガ・マラソン大会・登山など）への取組が社内報に掲載されるようになり、全社的にスポーツの輪が広がっている。

また、プロバスケットボールチームへの協賛や、港区が主催するマラソン大会への協賛など、スポーツ活動の支援にも力を入れている。

株式会社ニチレイ

従業員体験型健康支援プログラム『ニチレイ健康塾』で運動のきっかけづくり！

健康づくりの実践の場として『ニチレイ健康塾』を毎月開催している。健康運動指導士による運動実践のほか、保健師による病態生理の講義 、管理栄養士による食事改善等をセミナー形式で実施。2020年度からは、新型コロナ感染症対策のためオンラインで実施し、全国どこからでも参加できるようになった。様々な勤務形態の方が参加しやすい様、テーマや実施方法を工夫し、2016年から2021年度末までに延べ3,791名が参加し、健康意識の変容や生活習慣の改善につながっている。

株式会社日刊工業コミュニケーションズ

目標月平均8,000歩！ ウォーキングで楽しく気軽に健康増進！

コロナ禍での巣ごもり、テレワークがきっかけで生まれたウォーキング奨励制度。スマホの歩数計で月平均8,000歩を超えた社員には、毎月奨励金を支給。普段歩く習慣のない社員にも気軽に参加してもらえるよう、非参加者限定で目標歩数を少なめに設定したり、役員と歩数を競い合う等のキャンペーンも定期的に行っている。「先月歩数いくらだった？」といった、社員同士の会話も増え、社内コミュニケーションにもつながっている。

日産化学株式会社

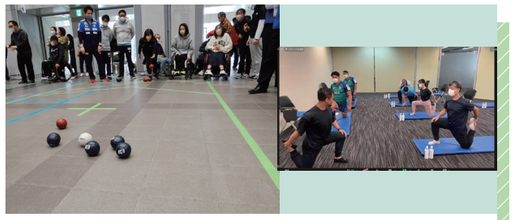
体操やストレッチの実施、スポーツ活動の支援を通じて、健康づくりを推進

当社は、従業員の健康が「健全な企業の成長を支える基盤」と考え、従業員の運動奨励に力を入れている。毎日の体操に加えて、毎月インストラクターによるストレッチ等のレッスンをオンラインで実施し、運動習慣の実践と定着、生産性の向上を目指している。また、今年度より開催したウォーキング大会は、健康増進に加えて、従業員のコミュニケーション促進にも寄与した。スポーツ活動の支援については、社内でのクラブ活動の情報発信を強化して、取組を継続している。

日本化薬株式会社

各種イベントを通じ、従業員の健康づくり・活気ある働き方をサポート

各部署で毎日15時にマスクを着用して、ラジオ体操を実施した。また、１か月の実施期間を設けて、会社内や日常生活、運動など16項目について、実践した項目に点数をつける「全社健康管理コンクール」を実施し、意識的な健康管理に取り組んだ。その他、オフィシャルパートナーとして支援している、卓球Tリーグの試合を従業員が観戦する機会を提供した。これらを通じて、社員が健康を維持し、活気ある働き方ができるように取り組んでいる。



日本電気株式会社

オンラインとリアルを組み合わせたハイブリッドな活動に進化

NECグループでは、主に社員とその家族を対象にした健康推進活動や、地域の皆様と社員が一緒になって開催するパラスポーツ大会等のパラスポーツ推進活動を、リアルとオンラインを組み合わせながらハイブリッドで全国を対象に推進することで、誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指す。

日清食品ホールディングス株式会社

社員の運動不足解消支援や、スポーツ大会の協賛

チャリティーウォーキングイベント「WFPウォーク・ザ・ワールド」に協賛し、社員と一般の方にウォーキングの機会を提供しつつ、飢餓問題の啓発に取り組んでいる。　また、「食とスポーツは健康を支える両輪である」という創業者理念のもと、「“日清食品カップ”全国小学生陸上競技交流大会」に協賛している。今後も未来を担う子供たちの健やかな成長や挑戦を応援していく。

日都産業株式会社

オンラインイベントも活用して身体を動かすことを習慣化

始業前のラジオ体操を継続実施中。昨年に続き、1ヶ月間に走った距離や歩いた歩数を競うオンラインイベント「さつき・ラン&ウォーク企業対抗戦」に参加。これを機に同様のイベントに個人でエントリーするようになった社員もいる。その他2022年は各地で再開されたサイクリングイベントやマラソン大会に参加する等、社員の間で身体を動かすことが習慣化しつつある。今後も社員の健康維持・増進、社員同士のコミュニケーション活性化を目指し、ひとりでも多くの社員が参加できる取組を実施していく。

日本郵政株式会社

自社福利厚生施設の利用提供

近隣にお住まいの方などからの利用申請に基づき、自社の福利厚生施設である高井戸レクリエーションセンターの野球グラウンド、テニスコート及び弓道場を利用提供している。

商工組合　日本医療機器協会

感染対策を徹底し野球大会を開催、職員の健康づくりも継続推進中

今年度は感染対策を十分にして野球大会を開催、残念ながらボウリング大会は見送りとしたがコロナ禍であっても安全を第一に考え、少しずつイベント開催を進めている。また、継続して従業員の健康づくりを目的とした朝の体操や階段利用、ストレッチ運動を実施し、コロナ禍における健康維持増進に取り組んでいる。今後、新型コロナウイルス感染症が収束した際にはボウリング大会等を再開する予定。

特定非営利活動法人日本ウォーキングセラピスト協会

姿勢維持ストレッチ

　メンバー間に於いて、定期的ストレッチを実施。ネットを利用し、参加率アップを図っている。
　また、健康ウォーキングに必要な足指強化と姿勢維持のストレッチセミナーを随時実施し、運動習慣のない方々にも実施しやすい内容を導入し、運動習慣の誘導につなげ、健康意識を高める活動を行う。

日本航空株式会社

健康推進プロジェクト「JAL Wellness」と「JAL本気の！ラジオ体操」の実践

　世界･日本各事業所における「Wellnessリーダー」は約550名、リーダーを中心にウォーキングやヨガ、ラジオ体操など、各職場の健康課題に見合ったWellness活動を実施している。JAL GRP社員に根付いているフィットネストレーナー考案の「JAL本気の！ラジオ体操」は、来年7月で10周年を迎える。10周年イベント第1弾として令和4年10月羽田航空機格納庫にて飛行機の前で社員約100名が「JAL 本気の！ラジオ体操」を圧巻の実施。

一般財団法人日本サイクルスポーツ振興会

サイクルスポーツの普及･文化の醸成

　バランス感覚を鍛えられるマウンテンバイク、BMXの体験会や初心者イベントを首都圏にて多数行い、サイクルスポーツの普及に注力。
また、青少年育成の一環として、子供向け自転車アカデミーを行い、自転車競技の技術的な指導のみならず、SNS活用方法といった社会的教育を実施。さらに、引退した自転車競技選手を積極的に雇用し、アスリートのセカンドキャリアもサポートしている。

日本シグマックス株式会社

社員のスポーツ活動支援制度「スポサポ」を中心に活動サポート

　社員一人当たり年間最大16,000円（３ヶ月ごとに4,000円×４）の支援金を支給し、社員は各種スポーツ活動や健康づくりのための用具購入で活用。利用実績を社内ポータルサイトで報告し、応援コメントを送りあうなど、より多くの社員の利用を促すように情報発信している。

日本交通株式会社　赤羽営業所

本年も感染予防しながらのスポーツ大会の実施

　ソフトボール大会、フットサル大会を年間行事として、本年も感染予防をしながら社員同士コミュニケーションを図っている。運動不足解消のため、仲所長、大森教官が先頭に立ち、社員一人ひとりが明るく楽しく元気よく運動できる環境づくりに取り組んでいる。

日本国土開発株式会社

毎日の生活時間の中で、“少しでも”を大切に、従業員の主体的な運動活動を推進！

　アプリを利用し、毎月目標歩数を達成した従業員には、抽選で健康グッズ等を贈呈。「競い･楽しみ」ながら運動を習慣化する取組を通年で実施。2019年に35名でスタートした、自ら健康に対する目標を宣言し、職場における健康推進の先駆者として活躍する健康経営サポーター制度には現在488名の従業員が賛同し参加。また全国にバドミントンや登山等の運動サークルもあり、部署間交流も楽しみながら現在260名が活動をしています。※昨年同様活動費の支援を実施。

一般社団法人日本スポーツサポートベース

従業員と家族、地域住人の方々に運動支援

　拠点を置いている場所で従業員や家族と共に地域住人の方達と共に地域ぐるみで健康への意識を高めて行くために、ウォーキングや走り方、陸上など地域の皆さまと「こんな事をしたい！」とサークルのような感覚で楽しみながら運動を行えるように従業員が計画を立て勤務時間内に実践した。
　また、従業員だけの取組として、競技大会に出たいスタッフもおり、そのようなスタッフにも勤務時間内にトレーニングができる時間を捻出できるように取り組んでいる。子供たちの運動指導前後に施設も利用でき、個々のレベルアップにも役立つように、それぞれが自主的に取り組んでいる。

日本生命保険相互会社

明るく活力のある地域･社会づくりを目指し、全国で地域に根差したスポーツ取組を実施

　次世代を担う子供たちに、「体を動かす楽しさ」の体感や「夢や希望を持つきっかけ作り」のため、かけっこ教室や野球教室、卓球教室等、様々なスポーツ教室を開催（2022年度は全国で63回開催、約7,500名が参加）
　また、共生社会の実現への寄与を目的に、従業員のパラスポーツ観戦や、車いすバスケットボール体験会を実施。

令和４年度 東京都スポーツ推進企業一覧（50音順）

日本郵船株式会社

健康増進、世界の医療援につながる「チャリティRUN+WALK+α」の実施

身近なランニング等の運動を通して社員の健康増進、社会課題解決への意識向上を目指し2017年から開始した3か月限定のイベント。今年は社内ボート運動会の再開を受け、ボートと筋トレを対象運動へ追加。参加者は専用アプリに各自が行った運動を登録、その総計をコンテナ船で表す他、個人･団体別ランキングを掲載する等、参加者が一体感を持って取り組めるように工夫。イベント参加費に加えて、全体の運動量に応じたマッチングギフトを会社が上乗せして「国境なき医師団」に寄付。

株式会社ニュー・オータニ

従業員の健康増進の為、各職場毎の労働環境に合わせたストレッチ体操の指導

職場毎の労働環境に応じた館内会員制クラブ･ゴールデンスパ･ニューオータニの専門インストラクターによるストレッチ体操の巡回及び教育する事で、職場内で日々実践できるストレッチを奨励。内勤スタッフも着座で実践可能なストレッチマニュアルを各職場へ配付。ホテル業の為、様々な部門毎に必要なストレッチ体操部位等が変化するため、職場環境に合わせた内容で実施、教育する事で、毎日続けられる活動として奨励している。

株式会社ネットラーニングホールディングス

スポーツ活動を通じて、社員の健康を進め、タテヨコナナメのコミュニケーション！

新型コロナウイルス感染症予防対策として、在宅勤務を行う社員も多く社内コミュニケーションの取り方も変化する中、スポーツ＆コミュニケーションを企画。オンライン会議ツールを利用した「ヨガ、ストレッチ、筋トレ」を実施し、グループ社員間のコミュニケーション活性化を図った。

また、自宅で過ごす時間が多くなり、運動不足を感じる社員や、長時間のデスクワークで筋肉のコリや痛み感じる社員にとって良い刺激とリフレッシュになった。

株式会社 nobitel

自社開発のストレッチウェル体操を毎月17日に実施。社内スポーツ習慣を継続中！

「Dr.stretch」が監修した、動きの根源にある運動神経を活性化させる体操「ストレッチウェル体操」を毎月17日（10と7で柔軟）に朝礼でやり、社内習慣化させている。自社開発した社内通貨アプリではストレッチという運動習慣を継続できる福利厚生制度で、運動不足対策だけではなく社内コミュニケーションを活性化させる様な取組をしている。

ネグロス電工株式会社

専門インストラクターによるオフィスヨガを毎月開催

月に１度、外部のヨガ講師を本社に招き、1時間のヨガレッスンを実施している。Zoomでのライブ配信、見逃し配信も行っているため、希望する全従業員が参加可能。1回あたりの参加者は約50～100人。レッスンでは、「肩こり」や「腰痛」の改善が期待できるポーズや、バランス感覚を養うためのポーズなど様々なメニューで行っている。

ねづクリニック

スポーツで健康維持を推進する医療機関

コロナ禍によりスポーツがなかなか生活に取り入れられない環境が増える中、身の回りの小さな運動から健康増進につなげるよう、指導できる医療機関でありたいと思って活動している。

どんな薬よりもどんな治療よりも運動が健康に及ぼす影響は大きく、その啓蒙者でありたいと願っている。

野村不動産パートナーズ株式会社

パラアスリートの雇用、従業員への運動機会及びスポーツ観戦機会の提供

雇用パラアスリート2名の競技に関わる費用や、競技に集中できる勤務体系による仕事と競技の両立を支援。

また、雇用パラアスリートが出場する大会を社員が観戦･応援及び大会運営のボランティアを実施。さらに、社員の運動機会提供のため、フィットネスクラブの利用促進、及びスポーツ同好会活動の支援を実施。

野村不動産ライフ＆スポーツ株式会社

地域に健康を！初めてでも楽しめるスポーツを推進

子供たちに向けて、地域の小学校と連携し、水難事故防止を目的とした「着衣泳教室」や、泳ぎが苦手な子どもを対象にした「水泳教室」の開催、親子でできる運動教室などを無料で開催し、延べ893名以上が参加した。その他、お化け屋敷、縁日、運動会やスポーツイベント開催し、8,896名が参加した。

野村ホールディングス株式会社

社会貢献と役職員の健康促進を主な目的に、バーチャルチャリティイベントをグローバルで開催

役職員の健康促進と社会貢献活動への寄付を主な目的とした、バーチャルチャリティイベントを2020年よりグローバルで年に1回、1か月ほどの期間で実施。コロナ禍において実際に集まって行うボランティア活動の開催が難しい中、社会貢献活動への寄付と、役職員の健康促進を主な目的に実施。参加者は、期間内の任意の時間と場所で健康促進につながる様々なエクササイズに取組み、参加料の代わりに寄付を行う。毎回1,000人を超える役職員が参加。

株式会社ハイクラス

全世代が、スポーツ健康科学情報に触れながら楽しく行う環境づくり

社内や社外のスポーツ･健康科学の指導を行う人材が自分たちの知識向上だけでなく、人的交流を促進するための勉強会及び交流会を開催している。さらに、この輪を広げるための情報発信や実際の活動なども徐々に再開し、実施している。対面とオンラインをミックスさせ、継続性を持たせながら実施している。

株式会社長谷工コーポレーション

オンラインによるチーム対抗駅伝の開催

役職員の健康増進と社員の一体感の醸成を目的とした、ランニングアプリを利用した長谷工グループ合同のオンラインチーム対抗駅伝を５月と10月に開催。それぞれ約750名が参加。北海道から沖縄までの日本各地を始め、ベトナムで勤務する社員も参加。全国の社員が同じ時間にマラソンを行うことで日頃会えない仲間同士の頑張りを感じながら長谷工グループの一体感を醸成し、健康的なかからだづくりにもつながるイベントとなった。

株式会社パソナグループ

スポーツを通じた「キャリア×社会貢献･地方創生×健康×コミュニケーション」を推進

パソナグループの仕事は「人を活かす」こと。あらゆる人々の心身ともに健康で心豊かな生活の実現を目指して、アスリートや社員のスポーツを通じた「キャリア支援」、スポーツと社会貢献を組み合わせた活動や、スポーツ大会の運営ボランティア等の「社会貢献･地方創生」、スポーツ機会を創出し、社員の健康をサポートする「健康増進」、社員同士のグループ内での横断的なつながりを形成する「コミュニケーション促進」等、スポーツを通じた多方面からの取組を全社的に推進している。

株式会社バイタルエリア

サッカー×ＩＴ×スポーツ 社会人としての成功と夢を諦めない姿を応援

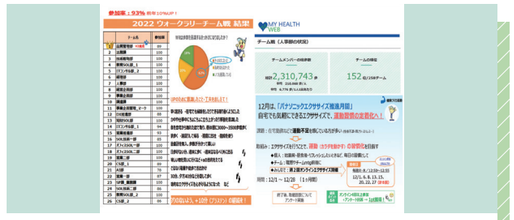
スポーツに本気で取り組んできたIT未経験者を積極的に採用＋育成。IT未経験者が0から始めて自分の技術で稼げるようになることを目指し、仕事とスポーツの両立ができる環境づくりをしている。今年度は新卒で関東学院大学サッカー部、日本大学陸上部マネージャーを採用。中途で3x3プロバスケットボール選手、海外でプレー経験のあるサッカー選手を採用。ほかにもトライアスロンで国体出場を目指している社員への支援など。

長谷川体育施設株式会社

アスリートの雇用、社員の健康のため、朝のラジオ体操とスポーツサークルの補助を実施

雇用アスリートが陸上教室の講師をするなど社会貢献活動を行っている。雇用アスリートの出場する陸上競技大会は現地応援は少数で、多くはオンラインで観戦応援を行った。

また、社員の健康のため、密を回避しながら朝のラジオ体操を毎日行っている。さらに、スポーツサークル活動を支援し、スポーツに親しむ･参加する機会を設けている。



パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社

パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社

運動イベントを通じ、社員のスポーツ実施率向上とコミュニケーション活性化を推進

毎年ウォークラリー月間を設定し、１か月間に歩く歩数を競い合っている。組織単位でのチーム対抗形式をとることで、歩数を伸ばすよう取組を進め、職場のコミュニケーション活性の目的としても活用している。

また、パナソニックオリジナルのエクササイズを導入し、自宅でも実施できる環境を提供することで、仕事開始前の心身の準備、昼食後、リフレッシュしたいときなど、毎日の習慣として取り組んでいる。

株式会社 KNOWELL（旧株式会社バリケイ）

社員のウェルビーイングを高める企業内保健室を運営！

リモートワーク中の顧客企業社員様に、オンライン上でヨガ･ストレッチ･フィットネスクラスを毎週定期的に実施。運動習慣や健康意識が高まるだけでなく、孤立しがちな社員様の心のケアやコミュニケーション活性化に役立てている。また、同時に社内スポーツイベントを定期的に開催して「あえて出社する」機会を創出。これまでオンラインでしか交流のなかった社員様同士がリアルの場で顔を合わせる事で、よりつながりが強化された。

株式会社バリュー HR

自社事業「くうねるあるく+ふせぐ」で コロナ禍での運動不足解消への取組

当社主催の共同開催事業「くうねるあるく」のコンテンツを活用し、当社のほか24団体の方々と一緒に運動不足解消に取り組んでいる。ウォーキングでは「歩数アップ」を、また、リフレッシュ運動動画や1か月間毎日配信するメールマガジン掲載の1分間動画では「座ったままできるストレッチ」を推奨している。「くうねるあるく」への当社の社員参加率は97%（前年94%）と非常に高い。年に2回の「くうねるあるく」を通じて運動習慣定着化を推進している。

PHC 株式会社

社員の「健康意識」向上を 目的とした健康イベントを企画

新型コロナウイルス感染症予防の観点から、引き続き個人単位でも参加可能なことを重視した健康イベントの企画を行った。

特にウォークラリーは、自己の状況に適した目標を柔軟に設定できること、場所を問わず参加できること、さらに、3密が起きにくい利点もあるため、積極的に開催した。また、休憩時間に卓球や野球（バッティング、キャッチボール）が気軽にできる場所を社内に設け、スポーツを通じた健康意識の向上に努めている。

株式会社ビックカメラ

アスリートの雇用及び普及推進活動、 従業員向け健康促進の提案

従業員がスポーツに触れる機会向上への取組を積極的に実施している。ソフトボール選手を雇用し活動を支援するとともに、従業員が参加できる応援ツアーを開催。また、市区と連携し、小学生を対象にしたボール投げ教室を行い、基礎体力構築に向けて取組んだ。

また、従業員には階段利用の促進・スタンディングテーブルを設置するなど持続的な軽運動を取り入れている。

株式会社 VIDWEB

リモートワークの導入で、 本来かかっていた通勤時間を有効利用

株式会社VIDWEB（ビッドウェブ）では、リモートワークを導入することにより、本来かかっていた通勤時間をウォーキングやジム、その他運動に費やすことを推進してる。山や街中でのウォーキング、マウンテンバイク、ジョギング、水泳等、どんな運動でも健康促進につながるものであればなんでもOKとしている。

株式会社ピーエスシー

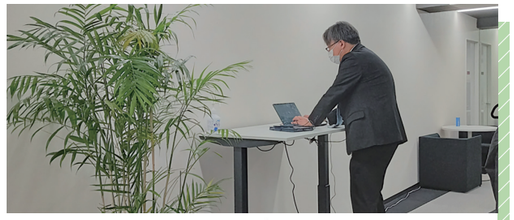
健康維持増進、スポーツを 通じて社員間の交流を活性化

フットサル・テニス・ゴルフ等、計9つのスポーツサークルについて、月1回活動を実施。ITS健康保険組合主催の大会にも参加。今年も毎月最大5,000円の補助金が支給され、運動促進補助制度を継続。スポーツ全般で自身の体を動かすことが支給対象の条件で、自宅でのオンラインスクールの利用やストレッチ/マッサージも対象。社内ブログサイトにて活発な運動報告あり。

BSP 社会保険労務士法人

安全衛生優良企業認定企業！ スポーツで健康経営

毎日デスクワークのため腰痛に苦しみ、メタボへの懸念もあったため、毎日歩くこと（隣駅下車や階段使用推奨、休日の外出・運動奨励）を推奨した。取組やすい運動で、皆が今まで以上に元気になってきた。

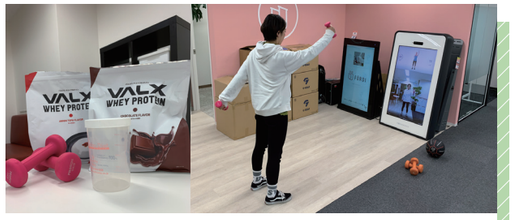


ヒューマンデジタルコンサルタンツ株式会社

リモートワーク、デスクワークで凝り固まった 身体をリフレッシュ。仕事をしながら運動できる環境

日常生活や通勤時にできるだけ身体を動かす工夫の一つとして、階段利用を促進。社内に足踏みステッパー・スタンディングデスクを設置し、仕事をしながら運動できる環境を整備することで、デスクワークで凝り固まった身体をリフレッシュ。

また、社内共有で健康だよりを発信。社内でも、自宅でもできる簡単な運動、ストレッチの促進に関わる情報を提供し、従業員の健康促進を実施。



株式会社 FURDI

運動／プロテインのチカラで 健康を維持しよう！

人工知能搭載の弊社保有マシンを活用して、社員用トレーニングを開始。カリスマトレーナー厳選の15のメニューからなる「疲労回復プログラム」で、デスクワーク・長時間のパソコンの使用による疲労の軽減や1日の始まり・終わりのリフレッシュを目指している。

また、休憩スペースでは、飽きないようフレーバーを変えてプロテイン飲用を無料で実施。運動×プロテイン効果の力で、従業員の運動機会創出を目的とした健康保持増進活動を行っている。

株式会社ファミリーマート

みんな参加、WEB健康イベント！健康増進･職場活性化を目指す

毎年春秋2回、全社員対象で1か月間に1日1万歩を目指すイベントを開催。「個人達成賞」や参加者全員で合計10億歩を目指す「みんなで達成！ファミマ賞」等を設け、意識して歩数を増加させることにも工夫している。安全衛生委員会、健康ニュース、社内ポータルサイトを通して、当社の歩数の現状、歩くことの重要性、保健師によるウォーキングのワンポイントアドバイスなども発信し、社員が習慣的に歩くことの定着を目指している。

VAJ デジタルデザイン株式会社

スポーツを通じてコミュニケーションの促進と社員の健康意識向上を支援

従業員がスポーツに触れる機会を積極的に導入している。業務中や休憩時間など、近くに運動器具がある事で気軽に自発的にストレッチや軽い運動を行う事で健康増進、リフレッシュ、コミュニケーションの増加につながっている。

従業員にアンケートをとりながら毎年運動器具を増やし活性化させている。

藤倉コンポジット株式会社

社内部活動でいきいきコミュニケーション

2022年4月より社内サークル規定を制定。従業員の文化活動または,スポーツ活動を支援。登山やヨガ、アウトドア、筋トレ、ボルダリングなど15の部活動が発足し、終業後や昼休み、休日などに「好きなコト」でつながり、職場を超えた様々な人とのコミュニケーションを楽しむことができる。

富士ネットシステムズ株式会社

スポーツ活動の応援、アスリート及び指導者の積極的な雇用の推進

学校説明会などを積極的に活用し、アスリートの雇用を推進している。

アスリート選手や指導者の練習日や試合日や指導日に関して、全従業員はもとよりお客様の理解を得る職場環境の構築に取り組んでいる。

アスリート社員の試合などの出場の時は、当社の従業員や従業員の家族は試合会場に行き応援を行っている。

株式会社フォーイット

従業員の健康促進を目的としたラジオ体操や社内部活動を実施

就業環境の変化による社員の健康障害等を解消するため、毎朝全支店でのラジオ体操の実施や、運動促進のため社内部活動の活動費援助を実施している。運動効果だけでなく、気分転換や社員同士のコミュニケーションの場としても活用され、心の健康（メンタルヘルス）にも良い影響を与えている。

株式会社フォーバル

離れていても、オンラインでつながるこころとからだの健康UPマラソン

チーム戦や結果の共有により、離れていても連帯感が感じられるWEBマラソン大会を実施。パルスサーベイを導入し、日々のコンディションをセルフチェックし、ストレッチ等の動画にて運動機会を提供11月に開催されたNIPPON IT チャリティ駅伝では、フォーバルグループから45名のランナー、27名のボランティアが参加。東京2020パラリンピックのボッチャペア銀メダリストであるフォーバル所属の高橋和樹選手が2022年度も様々な大会で優勝を果たしている。

ブリヂストン健康保険組合

毎日の歩数を個人やチームで楽しく競いながら記録するウォーキングキャンペーン

個人またはチームで、１日5,000歩を目標に、約２か月間の歩数を記録して、参加者全員に参加賞ポイントを付与するほか、目標達成した個人とチームには、抽選でボーナスポイントを付与した。

ブリヂストンスポーツ株式会社

スポーツ休暇を導入し、社員がスポーツに触れる機会を提供

社員がスポーツを通じて健康作りへ積極的に取り組む時間を休暇として提供している。年間3日まで取得可能。テレワークによる運動不足の解消にもつながっている。

株式会社フルタイムシステム

競技大会で社員の親睦を図り「チームワークと自主性」を育成

毎朝ラジオ体操を全事務所で実施し、社員の健康とやる気をアップ。そして、熱海にある当社の研修所に於いて定期的に研修会を実施。そのなかで卓球、ドッジボール、大縄跳び、綱引き、ボッチャなどの競技を行い、競い合うなかで交流を深め、当社のモットーである「チームワークと自主性」を育成。また、東京ヤクルトスワローズのオフィシャルスポンサーとしてプロスポーツを応援し、2022年にはつば九郎ハウ巣にフルタイムロッカーを導入。

フロンティアコンストラクション＆パートナーズ株式会社

～スポーツ活動促進！身体を動かし、リフレッシュ～

クラブの団体活動を促進する取組をしております。クラブ活動のコミュニケーションの場をSNS上にて創出し、活動機会が減ったコロナ下でも、メンバー同士交流をはかっております。ワンダーフォーゲル部は、定期継続し活動しているクラブのうちの一つです。メンバーで登山の計画を立て、全国の山に挑戦するほど、本格的な活動です。活動の集合写真は自然な笑顔があふれるものが多く、スポーツ交流の大切さがあらわれているよう感じます。

株式会社ベネフィット・ワン

職場内での体操の実施や、アスリート社員の雇用･活動支援

健康維持を図る取組で、毎週月曜日の朝礼時にオリジナルのストレッチ体操を実施中。適度に体をほぐし、朝でも脳や身体をしっかり動かすことができるようになっている。また、愛媛ＦＣ･愛媛FCレディースのスポンサー契約･社員の雇用及びプロダンスリーグ「D.LEAGUE」で活躍する「Benefit one MONOLIZ」のチームオーナーとして社員一丸となって応援することで、社内のコミュニケーション促進にもつながっている。

株式会社ベルエアー

日常的な運動をポイント制にし、相当額分の自社製品を福祉団体へ寄付

昨年度の取組を見直し、従業員へ徒歩通勤と階段の促進をするだけではなく、運動活動も推進し、日常生活に運動を習慣づけた。徒歩数と運動時間をそれぞれポイント設定し、併せて1日最大10ポイントとし、各自が毎日集計表に記入した。合計1,587ポイント貯まり、約31,740円分で購入できる自社製品（健康食品）を東京都赤い羽根募金を通じて若年女性の自立を支援している福祉団体（法人名：BONDプロジェクト）へ寄付した。

文化シヤッター株式会社

自社実業団チームによるスポーツ教室の開催や障害者スポーツ支援

アルティメット競技の実業団チーム「文化シヤッターBuzz Bullets」によるフライングディスク体験教室を文京区と協働開催。その他、障害者福祉施設のドッチビーチームに講師として選手を派遣するなど、次世代育成や障害者スポーツ支援を中心に活動を進めている。また、アスリートのセカンドキャリア支援にも力を入れており、従業員として働く元アスリートは、優秀セールス賞を受賞するなど、スポーツで培った経験を活かして活躍している。

平和不動産株式会社

北海道マラソンへの参加･協賛を通じ、社員の運動意識が向上

「北海道マラソン2022」へゴールドパートナーとして協賛し、社内外からランナーを募集し、複数の社員が参加した。マラソン練習会などを開き、社員の運動意識向上に寄与した。また、大会前に開催された「北海道マラソンEXPO」に企業ブースを出展し、本大会に関わる全ての方々を応援･サポートするために、来場者にオリジナルのスポーツタオルを配付した。

株式会社 VOIX

スタンディングデスクの導入

社内の短時間での打ち合わせ様にスタンディング可能なデスクを導入。

デスクワーク中心の職場でなるべく同じ姿勢をとらないようにする目的で、利用しているクライアントや職員にも好評。

ホグレル株式会社

野球を通じて社会貢献できる形を追求するHogrel Baseball Club

Hogrel Baseball Clubは、2017年創部、2019年「JABA（日本野球連盟）東京都野球連盟」に正式加盟、社会人野球チームの一員として、情熱を持って活動している。

ホグレル株式会社での仕事、そしてHogrel Baseball Clubでの活動、両方にベストを尽くしながら、野球を通じて社会貢献できる形を追求している。

株式会社保健同人フロンティア

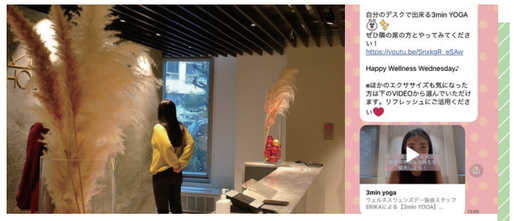
働くだけでWell-beingを実現する会社を目指し、様々な施策を実施！

オフィスに社内の医療専門職の知見･スキルを結集して具現化した25の健康施策を導入。既製のツールだけではなく、オリジナルの様々な仕掛けによって、働きながらWell-being度を高めるための工夫を散りばめ、利用促進活動を実施。この「健康経営オフィス」を拠点に運動に関する講座等を実施、今後も様々な施策を実施していく。

株式会社マースグループホールディングス

毎朝のラジオ体操や階段利用･徒歩通勤の推奨 健康奨励金を支給し、社員の健康促進を支援

毎朝のラジオ体操を始めて二十数年。役員を含め、全国各拠点の社員が参加している。また、日頃からの運動促進のため、エレベーターの内外等にポスターを貼付し、階段利用を推奨。感染症対策のための時差出勤や、徒歩通勤も推奨している。その他、社内イベントとして、歩数計アプリを利用したウォーキングイベントやソフトボール大会を実施。社員の健康目標と実績を確認し、健康維持者には年２回の健康奨励金を支給している。



株式会社マッシュホールディングス

参加型＆オンライン上でのエクササイズで、運動をする機会を提供

毎週水曜日を中心に、ヨガインストラクターによる短時間の参加型エクササイズを就業時間内に社内で開催。グループ社員に向けては短時間でできるエクササイズの案内を配信し、気軽に運動ができる機会を創出した。また、業務上参加ができない社員には、デスク周りで実践できるような内容のエクササイズ動画をオンライン上で配信し、各社員のタイミングに合わせて就業時間だけでなく、休憩時間や自宅でも実践できるような取組を行った。

株式会社松永製作所

日本車いすバスケットボール連盟の競技用車いすのサポートなど 障害者スポーツの普及･発展に寄与

2013年から日本車いすバスケットボール連盟に対して協賛を行い、2014年から男子日本代表、2019年から女子日本代表の国際大会に社員を派遣。

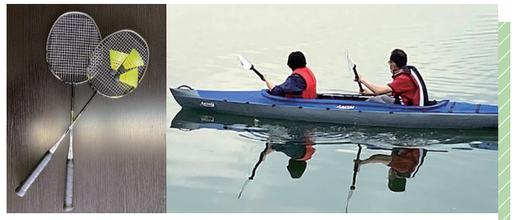
また、2022年12月に車いすバスケットボールを行っているジュニア選手に向けに、国際大会出場選手、ジュニア選手、健常者を一つのチームとし、リーグ戦を行った。

株式会社マーストーケンソリューション

毎朝のラジオ体操実施や階段利用推奨等で社員の運動不足解消に！

毎朝ラジオ体操を流し、出勤者全員で実施している。

また、社員の運動不足解消やエレベーターでの３密を防ぐためにも社内に階段利用推奨ポスターを掲示し、社員の階段使用を促進している。さらに、スマートフォンを用いたウォーキング大会や社内ソフトボール大会を実施。その他、半年に1回社員の健康状況について確認を行い、健康を維持した社員に対して奨励金を支給するなどの健康増進支援を行っている。



真韻株式会社

出勤時の自転車通勤、カヌー、バドミントンによる交流

社員の健康増進として、組み立て式カヌーに続き2022年より新たにバドミントンを購入し、屋外または、屋内においてもスペースがあれば気軽に楽しめるスポーツとして、社員だけではなくその家族も活用している。コロナ禍で運動不足とならぬよう、引き続き自転車通勤、ストレッチ体操、社内や駅構内の積極的な階段利用を推奨実行しており、全社員の活動量ｱｯﾌﾟに取り組んでいる。

株式会社丸井グループ

社員主体の運動の取組と ブラインドサッカー日本代表のサポート

社員による主体的な健康の取組を目ざすため、全社のWell-being推進プロジェクトメンバーを「手挙げ方式」で公募している。各事業所にもWell-being活動を推進するプロジェクトがあり、ウォーキングやストレッチ、ラジオ体操などの運動の取組を企画･実践している。また研修センター敷地内に設置した国内初のブラインドサッカー専用コートが、パラリンピック競技ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点に指定されるなど、スポーツ支援にも取り組んでいる。

マルハニチロ株式会社

SAKANA×SPORTS 魚の力で社員の健康とスポーツチームを支援！

創業以来、魚とともに歩み“世界においしいしあわせを”お届けするマルハニチロでは、魚の多様な価値を発信し、可能性に挑み続けるアクション「サカナクロス」の中でスポーツも支援している。SAKANA×SPORTSの取組として、社員自ら運動目標を設定し全社公開、歩数競争を行い当社商品を食べ、健康診断結果の改善に挑戦する「well-Bチャレンジ」を実施。また、DeNAスポーツのオフィシャルパートナーとして、横浜DeNAベイスターズ、川崎ブレイブサンダース、JSC相模原のサポートを行っている。

美津濃株式会社

従業員のスポーツ実践奨励及び地域のスポーツ振興活動の実施

従業員の健康増進の一環としてスポーツの実践を奨励し、ウォーキングアプリを用いた企画を全社展開するなど、いつでも･どこでも･誰でも、スポーツに取り組める施策を展開している。また、競技人口拡大や普及発展に寄与していくことを目的とした競技チーム、ミズノトラッククラブ･ミズノスイムチームを結成している他、アスリートOB/OG による実技指導「ミズノビクトリークリニック」の開催等、スポーツの振興活動に取り組んでいる。

三井不動産株式会社

健康への意識や社員間コミュニケーションを促進する取組

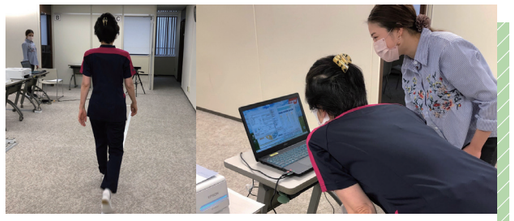
多様な人材が持てる力を最大限に発揮するためには、社員一人ひとりの健康と安全が重要な経営課題と捉えており、健康経営に積極的に取り組んでいる。健康に関心を持つきっかけを提供するリアルな「場」での健康イベント（各種測定会等のフェスタ、チーム単位での歩数対抗戦イベント、スタジオプログラム等）の実施やオンラインコンテンツ（ヨガやピラティス、体幹強化等の動画配信）の充実を通じて、社員の健康保持･増進とともにコミュニケーションの活性化にも努めている。

武蔵野コーポレーション株式会社

社員の健康維持･増進のため様々な施策を実施

スタンディングミーティング、スタンディングワークの実施。

また、休憩室には、誰でも使用可能なトランポリンを設置。その他徒歩通勤、自転車通勤の奨励等を実施。



一般財団法人 明治安田健康開発財団

運動イベント開催だけで終わらせない、取組評価と進捗共有を含めた継続的な健康増進施策

従来から継続しているウォーキングや座りすぎ防止の施策に加え、本年度からヨガ教室や歩行姿勢測定のイベントを開催。職種によって、業務形態が大きく異なるため、開催日時や参加方法など事前アンケートを実施。その結果、参加率90％を記録し、当社健康づくりの指標として活用できた。また、イベント開催で終わらず、オリジナル結果用紙を作成するなど、次年度に向けた当社の健康づくり施策につながる活動となった。

三井不動産レジデンシャルサービス株式会社

社内外での活動を通し、従業員のコミュニケーション促進･健康増進！！

新型コロナウイルス感染拡大の影響で活動が縮小していた部活動の再開や、ZOOMを活用した社内ヨガイベントを実施している。部活動では、社内のみの活動にとどまらず、外部の大会に参加するなど徐々に、活動の幅を広げている。社内ヨガイベントでは、昼休みの時間を有効に使い、短時間･非対面でも社員間の交流を図ることができるよい機会となった。部活動やヨガイベントを通し、部署･年齢の垣根を越えた交流を深め、コミュニケーションの促進と健康増進を図っていきたい。

公益財団法人三菱養和会

自社スポーツ施設の開放によるスポーツの支援

東京都が行なう「TOKYOスポーツ施設サポーターズ事業」の目的に賛同し、2019年10月1日より当会が保有する調布グラウンド（調布市）の一部施設を地域開放している。2021年11月から2022年10月までの1年間では、延べ10団体 275人が利用した。

公益財団法人 明治安田厚生事業団

【ラン活＋リレーマラソン】で運動を習慣化

地域のリレーマラソンに参加し、42.195kmをタスキ繋ぎ。練習は終業後に職場の敷地内 でラン活「坂ダッシュ」。普段は運動していなかった職員も、イベントをきっかけにラン活やウォーキングを各自習慣化。楽しく、爽快なひとときを体験できた。

明治安田生命保険相互会社

「ひとに健康を、まちに元気を。」スポーツ支援･健活で心身の健康づくりを楽しく継続

人々の「健康づくり」と 豊かな「まちづくり」。持続可能な社会の実現に向けて、明治安田生命は「みんなの健活プロジェクト」と「地元の元気プロジェクト」に取り組んでいる。従業員自ら率先して健康づくりを推進する「健活」に取り組むとともに、自治体との協働による健康増進セミナーやＪリーグ･日本女子プロゴルフ協会との協働を通じ当社独自のスポーツイベントを開催する等、地域の橋渡し役として「社会的なつながり」の提供や「健康づくり」にも注力している。

明和地所株式会社

従業員専用のトレーニングジムを開放し、気軽にスポーツに取り組める環境を整備

従業員の健康維持と活力増進を目的に、就業前･昼休み･就業後に自社内に設置したトレーニングジムを開放し、従業員が気軽にスポーツに取り組める環境を整えている。また、特別協賛している小学生を対象としたサッカー大会「ジュニアフットボールフェスタCLIO CUP」では、社員が会場設営やライブ配信、写真データの提供などの運営補助を行い、専用WEBサイトやインスタグラムで情報発信をしている。

株式会社メディカルネット

健康経営を目指し、スポーツ委員会を設立！フットサルや登山などを実施中！

健康経営優良法人の取得を目指し、昨年からスポーツ委員会を設立。メディカルネットだけでなく、グループ会社の社員も参加できるように企画。サッカー好きが多いので隔月でフットサル。合間の月に登山や皇居ランなど別のイベントも実施中！若手からベテラン、グループ会社の取締役、時には社員の家族も交えて開催。常連のメンバーから初参加のメンバーまで幅広く参加している。

ヤフー株式会社

パラアスリート雇用の支援/全社員対象のオンライン体操･健康イベントの実施

パラアスリートを雇用し、スポーツ選手としての活動と業務において努力し、夢に挑戦することを応援。東京2020パラリンピック競技大会では、所属するパラバドミントンの杉野明子選手が女子シングルスと混合ダブルスで銅メダルを獲得。健康増強月間として独自に設けた10月のイベント「UPDATEコンディション月間」では社長とオンラインラジオ体操イベントやアプリを活用したウォークラリーを開催。社員の健康保持･増進に努めている。

山本光学株式会社

毎朝のラジオ体操や歩数イベントの実施で身体を動かす習慣が定着

朝礼時のラジオ体操、階段昇り降りの促進、社内外問わず開催するチーム対抗歩数イベントの実施等、身体を動かす機会を設ける事で、社員の健康に対する意識の向上、社員間のコミュニケーション強化に役立っている。また、アスリート社員の採用や、スポーツ選手への製品サポート等により、当社製品使用による活躍を通じて、社員のモチベーション向上、社内の一体感創造につながっている。

矢崎総業株式会社

クラブ活動の支援、在宅でも参加できるオンラインウェルネスを週2回開催！

就業時間外の運動クラブ活動では、積極的に運動へ取り組めるよう活動を支援。運動を通して従業員同士の良好な関係構築となっている。また、コロナ禍による運動不足軽減のため、毎週月･水曜日の就業時間内に10分間オンラインエクササイズを継続中。社外のインストラクターが座ったままできるストレッチなどをLIVE配信。従業員の心身のリフレッシュを図るとともに、コミュニケーションを増やす機会にもなっている。

ヤスマ株式会社

全事業所で毎朝ラジオ体操実施健康増進イベントへの参加

毎朝始業前に各事業所でラジオ体操を実施している。
また、自席や席を立った際に社内で簡単にできるストレッチ運動を推進。肩こり･腰痛予防や運動不足の解消につなげている。その他に、グループ企業内の生活習慣の改善を目的とした健康イベントに参加。1か月間チームで声をかけあいながら目標達成に向けて取り組んでいる。社員の健康づくりはもちろん、社員同士のコミュニケーションの活性化にも役立っている。

株式会社 USEN-NEXT HOLDINGS

BUKATSU･Special Activity Worker制度による健康促進

社員なら誰でも創部･参加ができる社内部活制度があり、会社が活動費用を補助している。フットサル、ゴルフ、トライアスロンなど様々な部活が誕生しており、社員のワークライフバランス向上や社員同士の交流機会になっている。
また、当社で働きながら自己成長や自己実現のために社会貢献活動やスポーツ活動などを行っている社員の支援を行うSpecial Activity Worker制度があり、プロアスリートが業務とスポーツを両立して活動している。

株式会社ゆうちょ銀行

健康イベント参加で心身ともに健康に！

健康増進とコミュニケーション促進を目的として、社員及び関連会社の社員も対象とした「ウォーキングフェスタ」を2022年10月～11月に開催。健康管理アプリを活用し、チーム対抗戦などを取り入れながら、歩数を競い、全国から2,318名が参加。その他、社内ポータルサイトに、ラジオ体操、ストレッチ動画等を掲載。今後もウォーキングフェスタは定期的な開催を予定している他、習慣化を目指した健康増進施策を実施予定。

株式会社ユカ

各支店対抗の野球大会の実施！

各支店が参加する野球大会を毎年実施している。この取組を通じて、社員の健康増進、スポーツ推進はもとより、コミュニケーションに円滑化を図っている。各支店の対抗戦なので、支店の仲間との絆が深まり、普段話す事のない他支店の人とのコミュニケーションも取ることができた。

株式会社ユナイテッドリバーズ

オンラインラジオ体操の実施

株式会社ユナイテッドリバーズでは完全在宅勤務（フルリモートワーク）を導入していますが、その課題である運動不足を解消するために、定期的なラジオ体操を実施しています。週一回の定例会議の際に、従業員全員をオンライン会議ツールでつなぎ、各自の自宅でラジオ体操を実施している。今後も運動機会を提供し、従業員の健康促進につなげていく。

ヨネックス株式会社

スポーツを通じたイベントの開催、様々なサポートの実施

スポーツを愛する全ての人に寄り添う存在として、アスリートを雇用し、競技と業務とともにサポートしている。

また、社員の健康増進のため、感染予防対策を実施の上で、ラジオ体操やバドミントンの練習等を行ない、スポーツイベントを通じ、社外の幅広い年代の方へスポーツの楽しさを広げる活動も行っている。

ライトウェイプロダクツジャパン株式会社

スポーツ自転車を用いた自転車通勤を推奨 安全講習会や消耗品費も支給

健康増進のため毎日の通勤に公共交通機関に代わり、自転車通勤を推奨している。また、自転車通勤へ取り組みたくなる自転車通勤規定を作成。自転車安全利用管理者を定め、自転車の安全利用に関する講習を実施。自転車通勤者には特別通勤手当･自転車保険への加入補助手当･消耗品の購入補助手当を支給。警視庁と協力し、より自転車を安全に利用できる自転車通勤規定は無料で公開し、他社での導入も推奨している。

横河電機株式会社

ウオーキングイベント開催や社員の同好会活動･スポーツチームの支援

アプリを使用し、組織対抗のウォーキングイベントを開催。場所や時間に縛られることなく運動が行える環境を提供することで運動習慣の定着を図っている。

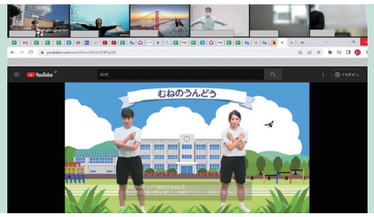
また、社員の同好会活動やサッカーチーム「東京武蔵野ユナイテッド」、ラグビーチーム「横河武蔵野アトラスターズ」「横河武蔵野アルテミ･スターズ」への支援も行い、スポーツ振興に貢献している。

株式会社ヨネイ

スポーツイベントの参加費の一部補助や、運動イベントを実施

社内コミュニケーション、社員の健康意識の活性化を促すべく、スポーツや運動とふれあう機会を増やす事に注力し、トライアスロン大会等のスポーツイベントの参加費や、スポーツジム等の会費を会社が一部補助する奨励金の支給を行った。

また、さらに、社員の運動機会を増やす施策として、1日8,000歩以上歩くことを目標とした2か月間に渡るチーム対抗のウォーキングイベントや、集合型のエクササイズイベントを実施した。



株式会社ライフィ

働く場所にとらわれず、全社員で取り組める運動施策を実施中

コロナ禍で全社的にテレワークを推進したことで懸念される社員の運動不足解消のため、様々な取組を実施している。毎日15時のストレッチタイムや、朝礼後にZoomを用いて全従業員が一緒に実施するラジオ体操など。また、平時より実施していた全社員での歩数競争は、社員により出社/テレワークの頻度が異なることに鑑み、個人のライフスタイルに合わせて目標値を選べるようにした。（毎日8,000歩、土日で20,000歩など）その結果、1日当たりの平均歩数は500歩増加した。

ラディックス株式会社

スポーツで「健康で活力のある会社」を従業員で作っていく！

新型コロナウイルス感染症拡大で思うような活動はできていないが、十分に対策をしながら可能な限りの活動を行い、従業員同士の交流も多くできた。

RUNクラブも新たに動き出し、大会に参加し好成績を残すことができた。健康経営優良法人として引き続き従業員が運動をする場を設けていこうと考えている。

令和４年度 東京都スポーツ推進企業一覧（50音順）

株式会社　ランドピア

ラグビーの普及･環境整備のため、東京都中学校ラグビー大会を支援！

ワールドカップでの日本代表の活躍により人気に火がついたラグビー。その一層の普及や選手人口の増加を目指している。また、激しいぶつかり合いが魅力であるが故にケガ等の危険度もあるスポーツのため、特に若年層の選手やその保護者が安心して活動ができるような活動環境の整備･充実を推進したい。その実現に向けて当社が出来るサポートとして、複数年にわたり連続して東京都中学校ラグビー大会の支援･協賛を実施している。

リーフラス株式会社

リーフラスが取り組む新たな生活様式におけるスポーツ活動！

弊社は、企業理念として『スポーツを変え、デザインする。』を掲げ、社会課題をスポーツで解決するソーシャルビジネスカンパニー。スポーツスクール事業において、指導員は子供たちとスクール内にて十分な運動を行っているが、管理部門の社員はデスクワークやテレワークのため、各部でのミーティングにてストレッチや体操の運動を実施。またパラスポーツの普及活動にも力をいれており、弊社社員のパラアスリートによる講演会･体験会活動を実施している。

株式会社 LainZ

日本で一番健康意識の高いエンジニア集団になる！

多数のスポーツイベントを開催し、職業柄運動不足になりがちな社員の運動機会を少しでも多く提供。毎年の社員が集まる全社会での運動機会、毎週、ラジオ体操＆LainGym（レインジム）という名でリモートで運動機会提供。今年は［LainZ歩数バトル］という1か月で歩いた歩数を社員同士で競うというイベントも開催。他にもコミュニティ活動（部活動）で運動部も多く存在し、休みの日に体育館を借りたり、雪山へ滑りに行ったり等、社員同士の仲も良く、楽しく身体を動かしている。

株式会社ローソン

スポーツ大会と元気チャレンジを毎年実施し健康増進と運動を推奨している

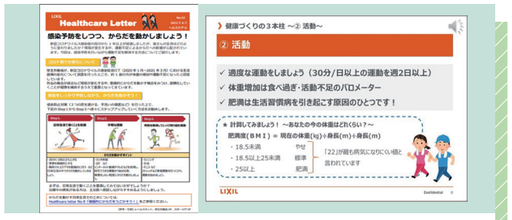
2020年度からコロナ禍のため、過去11年間毎年実施のリアルスポーツ大会（運動会やソフトボール大会など）を、健康アプリ（食事･運動･睡眠管理）を利用した健康増進策「元気チャレンジ！」と連動して「リモートスポーツ大会」をしていたが、2022年度はリアルを再開。大人数での集合企画ではなく、「大縄跳び　動画チャレンジ！」として、5人から8人のチームで大縄跳びを跳べた回数を競う企画とし、58チームがエントリーし盛り上がった。

LE.O.VE 株式会社

毎朝のラジオ体操で交感神経活発化･1日のパフォーマンス向上

交感神経の活発化･1日のパフォーマンス向上のため、毎日朝礼時に全社員でラジオ体操を実施。

また、例年であれば全社員参加のスポーツ大会を行っていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で実施することができなかったため、代替案としてラジオ体操の時間にダンスエクササイズを導入した。



株式会社 LIXIL

全従業員を対象としたヘルスケア研修の実施や社内SNSによる健康情報発信

ヘルスリテラシー向上を目的に全従業員を対象に運動習慣の重要性等、健康づくりの基本を伝える内容の研修を実施。e-ラーニングや集合での動画視聴等 働き方に合わせた実施方法とした。また、社内SNSを活用し保健師が定期的に「健康コラム」を発信。「コロナ禍で体を動かすポイント」や「ウォーキングの効果」等をテーマとして取り上げ、音声でも説明を入れることで、従業員に分かりやすく伝わるよう工夫した。

ログリー株式会社

仕事の息抜きをしながら運動不足を解消

フリースペースに、バランスボールや腹筋ローラー、懸垂マシンといった自由に使えるグッズを常備している。週の半分は在宅勤務の社員が多いが、出社した際はバランスボールに座って仕事や打ち合わせをする光景が見られる。オフィスには卓球台もあるため、仕事の息抜きに卓球をしながらメンバーとコミュニケーションを取ったり、運動不足も解消することができる。

株式会社 LOHASTYLE

スポーツを通じたコミュニケーションを

テレワークにおける運動不足解消を目的として、定期的な皇居ランニングを実施している。また、社内コミュニケーションの更なる活性化を図るため、フットサル大会も企画。部署を跨ぐ交流会になった。職場では見られない一面との出会いもあり、従業員と地域の皆様とのコミュニケーションを取る機会になっただけではなく、スポーツ振興の輪を地域に広げる機会となった。

株式会社 Wiz

スポーツ×DX×地方創生～プロバスケチームをセンターピンとする経済循環モデル～

プロバスケットボールチーム「鹿児島レブナイズ」のオーナーとして、スポーツ文化の継承･発展に尽力している。レブナイズを中心とする鹿児島経済圏を作り上げ、DXサービスの提供、鹿児島エリアでの新規事業立ち上げに伴う新たな雇用創出など、地域の繁栄につながる様々な取組を行っている。また、2022年度は十分な感染対策を行いながら、社内の大運動会も実施。スポーツを通じた社内コミュニケーションの活性化、チームビルディングの強化を積極的に図っている。

湧永製薬株式会社

ハンドボールチームを通じて社員･地域社会のスポーツ機会増加･健康増進に貢献

当社のハンドボールチーム選手は「一流のスポーツマンは一流の企業人であれ、社会人であれ」という熱意を持ち、日々トレーニングに励んでいる。また、当社は一人でも多くの方の「元気」で「いきいき･わくわくとした毎日」を応援したいという思いから、アンプティサッカー（主に上肢又は下肢の切断障がいを持った方々により行われるサッカー）を応援しており、レオピン杯の冠名で、アンプティサッカーの大会に協賛している。

株式会社 ONE COMPATH

自社アプリ「aruku&」活用したウォーキングイベントで健康意識向上

自社アプリ「aruku&」を活用したウォーキングイベントを開催。テレワーカーの運動機会創出を目的として法人向けにも無料で展開する企業対抗ウォーキングイベント「1day3000」を今年も開催。期間中毎日3,000歩の達成を目指し、社内のグループや企業対抗で競い合った。2022年7月の開催回では202社5,960名が参加しアンケートで97%が「また参加したい」と回答。社外も巻き込み、多くの方の健康意識向上に貢献している。

東京都スポーツ推進企業　認定マーク

東京都
スポーツ推進大使
ゆりーと

TOKYO
東京都スポーツ推進企業
2022 認定

令和４年度 東京都スポーツ推進企業一覧（50音順）

企業名	頁
東京都スポーツ推進殿堂入り企業	
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	6
令和４年度東京都スポーツ推進モデル企業	
エームサービス株式会社	8
ジェイレックス・コーポレーション株式会社	10
株式会社 JAL サンライト	12
SOMPO ひまわり生命保険株式会社	14
明治ホールディングス株式会社	16
株式会社メディヴァ	18
ケイアイスター不動産株式会社	20
中外製薬株式会社	22
三井住友海上火災保険株式会社	24
株式会社ルネサンス	26
認定企業	
あ行	
株式会社 IHI インフラ建設	28
株式会社 IHI エスキューブ	28
株式会社 IHI ビジネスサポート	28
税理士法人アイ・タックス	28
アキレス株式会社	29
アクサス株式会社	29
アクサ生命保険株式会社	29
アクシス株式会社	29
アクトライシステム株式会社	30
株式会社浅野製版所	30
アサヒ飲料株式会社	30
旭化成株式会社	30
株式会社朝日新聞社	31
朝日信用金庫	31
株式会社アシックス	31
株式会社アスポ	31
一般社団法人アスリートネイル協会	32
株式会社アセットリード	32
株式会社アップセール	32
有限会社アテイン	32
株式会社アドックインターナショナル	33
アドバンスソフト株式会社	33
株式会社アドバンテッジリスクマネジメント	33
アビームコンサルティング株式会社	33
アフラック生命保険株式会社	34
アフラック保険サービス株式会社	34
株式会社 Avenir	34
アボクリート株式会社	34
株式会社アミックグループ	35
株式会社アメディア	35
株式会社 ALIGHT	35
アルケア株式会社	35
株式会社アルティネット	36
アルフレッサ株式会社	36
株式会社アレックスソリューションズ	36
株式会社アロー	36
株式会社 ANSIN-LINK	37
株式会社イーウェル	37
E.OCT 株式会社	37
イオン・シグナ・スポーツ・ユナイテッド株式会社	37
株式会社イズミ・コンストラクション	38
いちご株式会社	38
いちよしビジネスサービス株式会社	38
出光ユニテック株式会社	38
伊藤忠エネクス株式会社	39
伊藤忠テクノソリューションズ株式会社	39
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	39
株式会社イトー	39
株式会社イトーキ	40
INSIGHT LAB 株式会社	40
株式会社インテック	40
株式会社ヴィクトリア	40
一般社団法人ウェルネスウェンズデー協会	41
ウェルネス・コミュニケーションズ株式会社	41
ウェルネス・ブランド・コーポレーション	41
株式会社内田洋行	41
AGC 株式会社	42
株式会社 HS コーポレーション	42
一般社団法人 A-wear 協会	42
ANA テレマート株式会社	42
株式会社エコ・プラン	43
株式会社エスエーティ	43
株式会社 NSD	43
NOK 株式会社	43
NTT クラルティ株式会社	44
株式会社 NTT 東日本・南関東　東京事業部	44
株式会社エフピコ	44
MS&AD インシュアランスグループホールディングス株式会社	44
株式会社 MPandC	45
エモーショナルリンク合同会社	45
青梅信用金庫	45
株式会社オーエンス	45
大塚製薬株式会社	46
一般社団法人鬼ごっこ協会	46
オリンパステルモバイオマテリアル株式会社	46
か行	
株式会社カーブスジャパン	46
鹿島建設株式会社	47
株式会社かんぽ生命保険	47
株式会社キープレイヤーズ	47
株式会社キャプティ	47
株式会社キャリアコンサルティング	48
株式会社　協栄	48
株式会社ぎょうせい	48
共同カイテック株式会社	48
株式会社 協和	49
株式会社きらぼし銀行	49
株式会社きらぼしコンサルティング	49
錦城護謨株式会社　東京支社	49
クーリード株式会社	50
株式会社久慈設計東京支社	50
株式会社グッピーズ	50
株式会社クボタ東京本社	50
株式会社 Criacao	51
株式会社グリーンハウス	51
株式会社グリーンハウスフーズ	51
株式会社クレオ	51
株式会社クレハ	52
株式会社スパイス	52
ケアパートナー株式会社	52
ケアプロ株式会社	52
KNT−CTホールディングス株式会社	52
京王観光株式会社	53
計機健康保険組合	53
株式会社ケー・ティー・システム	53
南東北グループ医療法人財団 健貢会 総合東京病院	53
株式会社健康体力研究所	54
医療法人社団涓泉会　山王リハビリ・クリニック	54
高栄警備保障株式会社	54
公益財団法人江東区健康スポーツ公社	54
広友サービス株式会社	55
広友物産株式会社	55
株式会社光和	55
株式会社ゴールドウイン	55
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	56
国際ソフトウェア株式会社	56
コグラフ株式会社	56
コナミスポーツ株式会社	56
コニカミノルタ株式会社	57
株式会社コロプラ	57
株式会社 KOMPEITO	57
さ行	
サーチファーム・ジャパン株式会社	57
サイショウ・エクスプレス株式会社	58
株式会社坂根ホールディングス	58
株式会社 Sakupro	58
サトーホールディングス株式会社	58
株式会社サニーサイドアップグループ	59
株式会社サンアメニティ	59
医療法人社団　三医会　鶴川リハビリテーション病院	59
サンウィン株式会社	59
三興塗料株式会社	60
サントリーホールディングス株式会社	60
シーイーシー健康保険組合	60
株式会社 CAC Holdings	60
株式会社 GA technologies	61
JK ホールディングス株式会社	61
株式会社 JPF	61
株式会社 JP ホールディングス　東京本部	61
J-Workout 株式会社	62
株式会社 JTB	62
シグマアテンドサービス株式会社	62
株式会社じげん	62
システム・エナジー株式会社	63
株式会社ジップス	63
清水建設株式会社	63
株式会社シモン	63
株式会社 JAL スカイ	64
株式会社 JALUX	64
株式会社 JAL ナビア	64
株式会社ジャルパック	64
出版健康保険組合	65
株式会社シュヴァン	65
株式会社ジョイカルジャパン	65
城北信用金庫	65
SHIRO GYM	66
株式会社シンカーミクセル	66
株式会社シンク	66
シンコースポーツ株式会社	66
新宿税理士事務所	67
株式会社 THINK フィットネス	67
株式会社スタイル・エッジ	67
株式会社スパイス	67
株式会社 Sprocket	68
株式会社スヴェンソンホールディングス	68
SpoWell Lab 株式会社	68
株式会社スポーツインダストリー	68
スポーツコミュニティ株式会社	69
株式会社スポーツビズ	69
株式会社スポーツフィールド	69
株式会社スポスル	69
株式会社住ゴム産業	70
住友生命保険相互会社	70
住友不動産エスフォルタ株式会社	70
医療法人社団　せいおう会	70
セコム医療システム株式会社	71
Z ホールディングス株式会社	71
株式会社ゼットン	71
セロトーレ株式会社	71
セントラル警備保障株式会社	72
セントラルスポーツ株式会社	72
株式会社 SOily	72
双信商事株式会社	72
ソフトバンク株式会社	73
株式会社ソフマップ	73
損害保険ジャパン株式会社	73
た行	
ダイアモンドヘッド株式会社	73
第一生命保険株式会社	74
株式会社第一テクノ	74
大樹生命保険株式会社	74
株式会社ダイショウ	74
大成温調株式会社	75
大東建設不動産株式会社	75
大東建託株式会社	75
大東建託パートナーズ株式会社	75
大同生命保険株式会社	76
大日本印刷株式会社	76
太陽生命保険株式会社	76
株式会社タクト・マシン・サービス	76
株式会社立飛ホールディングス	77
タツミ産業株式会社	77
TANAKA ホールディングス株式会社	77
株式会社タニタヘルスリンク	77
株式会社玉川ホールディングス	78
多摩冶金株式会社	78
チューリッヒ生命保険株式会社	78
通信機器産業健康保険組合	78
都築電気株式会社	79
株式会社つなひろワールド	79
株式会社ツネミ	79
T&D フィナンシャル生命保険株式会社	79
株式会社ティーガイア	80
ティーペック株式会社	80
株式会社 DYM	80
帝人株式会社	80
株式会社ティップ	81
ディップ株式会社	81
デサントジャパン株式会社	81
株式会社テセック	81
株式会社デュアルタップ	82
テルモ株式会社	82
株式会社 TENTIAL	82
東亜ディーケーケー株式会社	82
東亜道路工業株式会社	83
東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社	83
東急建設株式会社	83
株式会社東急スポーツオアシス	83
東急スポーツシステム株式会社	84
一般社団法人東京ヴェルディクラブ	84
株式会社東京アスレティッククラブ	84
東京海上ディーアール株式会社	84
東京海上日動火災保険株式会社	85
東京海上日動システムズ株式会社	85
東京海上日動事務アウトソーシング株式会社	85
東京ガス株式会社	85
東京システムハウス株式会社	86
東京地下鉄株式会社	86
株式会社東京ドームスポーツ	86
東京都公立大学法人	86
東京都職員共済組合	87
東京都鉄二健康保険組合	87
公益財団法人東京都予防医学協会	87
株式会社 東京メディカルサービス	87
東阪電子機器株式会社	88
東武鉄道株式会社	88
株式会社トーシンパートナーズ	88
株式会社ドクタートラスト	88
凸版印刷株式会社	89
トッパン・フォームズ株式会社	89
株式会社トップワイジャパン	89
株式会社利根川産業	89
トヨタモビリティ東京株式会社	90
株式会社トラック	90
な行	
株式会社ナウイエンタープライズ	90
ナガセケンコー株式会社	90
株式会社ナレッジクリエーションテクノロジー	91
株式会社 NISHI SATO	91
西松建設株式会社	91
株式会社ニチレイ	91
株式会社日刊工業コミュニケーションズ	92
日産化学株式会社	92
日清食品ホールディングス株式会社	92
日都産業株式会社	92
日本化薬株式会社	93
日本電気株式会社	93
日本郵政株式会社	93
商工組合　日本医療機器協会	93
特定非営利活動法人日本ウォーキングセラピスト協会	94
日本航空株式会社	94
日本交通株式会社　赤羽営業所	94
日本国土開発株式会社	94
一般財団法人日本サイクルスポーツ振興会	95
日本シグマックス株式会社	95
一般社団法人日本スポーツサポートベース	95
日本生命保険相互会社	95
日本郵船株式会社	96
株式会社ニュー・オータニ	96
ネグロス電工株式会社	96
ねづクリニック	96
株式会社ネットラーニングホールディングス	97
株式会社 nobitel	97
野村不動産パートナーズ株式会社	97
野村不動産ライフ＆スポーツ株式会社	97
野村ホールディングス株式会社	98
は行	
株式会社ハイクラス	98
株式会社バイタルエリア	98
長谷川体育施設株式会社	98
株式会社長谷工コーポレーション	99
株式会社パソナグループ	99
パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社	99
株式会社 KNOWELL（旧株式会社バリケイ）	99
株式会社バリュー HR	100
PHC 株式会社	100
株式会社ピーエスシー	100
BSP 社会保険労務士法人	100
株式会社ビックカメラ	101
株式会社 VIDWEB	101
ヒューマンデジタルコンサルタンツ株式会社	101
株式会社 FURDI	101
株式会社ファミリーマート	102
VAJ デジタルデザイン株式会社	102
株式会社フォーイット	102
株式会社フォーバル	102
藤倉コンポジット株式会社	103
富士ネットシステムズ株式会社	103
ブリヂストン健康保険組合	103
ブリヂストンスポーツ株式会社	103
株式会社フルタイムシステム	104
フロンティアコンストラクション＆パートナーズ株式会社	104
文化シヤッター株式会社	104
平和不動産株式会社	104
株式会社ベネフィット・ワン	105
株式会社ベルエアー	105
株式会社 VOIX	105
ホグレル株式会社	105
株式会社保健同人フロンティア	106
ま行	
株式会社マースグループホールディングス	106
株式会社マーストーケンソリューション	106
真韻株式会社	106
株式会社マッシュホールディングス	107
株式会社松永製作所	107
株式会社丸井グループ	107
マルハニチロ株式会社	107
美津濃株式会社	108
三井不動産株式会社	108
三井不動産レジデンシャルサービス株式会社	108
公益財団法人三菱養和会	108
武蔵野コーポレーション株式会社	109
一般財団法人 明治安田健康開発財団	109
公益財団法人 明治安田厚生事業団	109
明治安田生命保険相互会社	109
明和地所株式会社	110
株式会社メディカルネット	110
や・ら・わ行	
矢崎総業株式会社	110
ヤスマ株式会社	110
ヤフー株式会社	111
山本光学株式会社	111
株式会社 USEN-NEXT HOLDINGS	111
株式会社ゆうちょ銀行	111
株式会社ユカ	112
株式会社ユナイテッドリバーズ	112
横河電機株式会社	112
株式会社ヨネイ	112
ヨネックス株式会社	113
ライトウェイプロダクツジャパン株式会社	113
株式会社ライフィ	113
ラディックス株式会社	113
株式会社　ランドピア	114
リーフラス株式会社	114
LE.O.VE 株式会社	114
株式会社 LIXIL	114
株式会社 LainZ	115
株式会社ローソン	115
ログリー株式会社	115
株式会社 LOHASTYLE	115
株式会社 Wiz	116
湧永製薬株式会社	116
株式会社 ONE COMPATH	116

令和４年度東京都スポーツ推進モデル企業選定委員会

令和４年度東京都スポーツ推進モデル企業選定委員会委員名簿

	氏　名	役　職
1	木村　和彦	早稲田大学スポーツ科学学術院教授
2	初瀬　勇輔	一般社団法人日本パラリンピアンズ協会理事
3	丸山　正	公益財団法人日本レクリエーション協会評議員
4	城戸口　隆俊	東京商工会議所ビジネス交流部長
5	上山　亜紀子	東京都生活文化スポーツ局スポーツ総合推進部 スポーツ総合推進部パラスポーツ課長
6	播磨　あかね	東京都福祉保健局保健政策調整担当部長 （保健政策部健康推進課長事務取扱）

委員からの主なコメント

○ デフスポーツをはじめ、障害者スポーツ・アスリートを中心に多面的に支援している点がよい。
○ 子供の外遊びが減り、転び方も知らない人が増えている中で、「ころびかた教室」の開催は非常に特徴的でよい。
○ 障害児への運動機会の提供や、マイナーなパラスポーツにも目を向けるなど今後の拡がりに期待できる。
○ 障害疑似体験やデュアルキャリア雇用など、パラスポーツの支援の多さや内容に特徴があることが評価できる。
○ アスリート、シニア、障害者など多様な対象への支援を実践しているのがよい。

令和４年度東京都スポーツ推進企業取組事例集

令和５年３月発行

印刷番号（４）95

発　　行　東京都生活文化スポーツ局スポーツ総合推進部スポーツ課
〒163-8001　東京都新宿区西新宿二丁目８番１号
電話：03（5320）7847
ホームページ　https://www.sports-tokyo-info.metro.tokyo.lg.jp/

編　　集　株式会社ヒト・コミュニケーションズ
(令和４年度東京都スポーツ推進企業認定制度事務局)
〒170-0013　東京都豊島区東池袋一丁目９番６号
電話：03（5957）9572
ホームページ　https://hitocom.co.jp/

印　　刷　正和商事株式会社
〒161-0032　東京都新宿区中落合一丁目６番地８号
電話：03（3952）2154　　FAX：03（3952）2158